

令和元年度

主要施策の成果



©青山剛昌/小学館

目 次

○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	1	農業委員会	47
総務課	4	産業振興課	50
企画財政課	14	観光交流課	66
町民課	19	地域整備課	70
福祉課	24	教育総務課	73
健康推進課	33	生涯学習課	87
環境エネルギー課	42		

○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	105	大栄歴史文化学習館特別会計	116
介護保険事業特別会計	107	後期高齢者医療事業特別会計	118
住宅新築資金等貸付事業特別会計	112	水道事業会計	119
農業集落排水事業特別会計	113	下水道事業会計	121
栄財産区特別会計	114	風力発電事業会計	123
合併処理浄化槽事業特別会計	115		

○ 資料編

令和元年度各会計別決算状況	126
令和元年度普通会計決算状況	132
財政状況・財政指標の推移	136
財政健全化判断比率	140
地方債の状況(目的別)	141

※表紙写真

上段左／地域おこし協力隊による「ぶどう栽培の担い手」育成

上段右／子育て中の親を対象とした「笑育(わらいく)講座」

下段左／町マイクロバス更新

下段右／カラーオブジェ「小さくなった名探偵」完成

款	1 議会費	項	1 議会費	予算現額	決算額
		目	1 議会費	98,301千円	97,884千円

①議員経費事業 1,662千円

(1)本会議の開催状況

区分	令和元年(平成31年)							令和2年	
	第3回 臨時会	第4回 定例会	第5回 臨時会	第6回 定例会	第7回 臨時会	第8回 臨時会	第9回 定例会	第1回 臨時会	第2回 定例会
招集日	4/18	6/18	8/20	9/5	10/24	11/15	12/9	1/30	3/3
会期	1	14	1	21	1	1	12	1	16
会議日数	1	5	1	6	1	1	5	1	6
議案	町長提出	6	16	4	27	3	1	21	29
	委員会提出	0	2	0	2	0	0	2	5
	議員提出	0	0	0	1	0	0	1	0
一般質問	—	8人	—	10人	—	—	8人	—	10人
	—	14問	—	19問	—	—	16問	—	21問
傍聴者数	0	14	0	31	1	0	32	0	20

(2)委員会、全員協議会の開催状況

区分	全員 協議会	議会運営 委員会	広報広聴 常任 委員会	総務教育 常任 委員会	民生経済 常任 委員会
会議日数	16	16	21	5	5

区分	特別委員会			
	道の駅整備	北条川放水路	懲罰(第3号)	懲罰(第4号)
会議日数	1	0	3	2

(3)請願・陳情状況

区分	受理件数	審査件数	その他
請願	3	3	0
陳情	19	20	0

(4)意見書提出状況

提出件数 9件

(5)調査研究活動及び議員研修旅費 415千円

【議員研修】

- ・町村議会議員特別セミナー(滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所)【議員3人】
- ・町村議会議長・副議長研修会(東京都 東京国際フォーラム)【議長・副議長】
- ・鳥取県町村議会広報研修会(三朝町)【広報委員】
- ・鳥取県人権研究集会(倉吉市)【議員2人】
- ・中部町議会議員研修(湯梨浜町 水明荘)【全議員】
- ・鳥取県町村議会議員研修会(三朝町)【全議員】
- ・北栄町議会議員研修(北栄町 北栄町役場)【全議員】

(6)議長交際費 167千円

議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に要した経費
慶弔費等 17件

(7) 議会報告会(議会出前座談会)開催状況
4回 (西園、岩坪、緑ヶ丘、国坂浜)

(8) 高校生議会
鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会13人の
高校生が参加し、一般質問(14問)を実施。
議長(1名)・高校生議員(12名)



(議会出前座談会)

(9) 議会だより発行业業 1,080千円
議会の情報公開を図った。
発行回数 年4回 発行部数 5,400部

【成果】 議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行った。
議会報告会を開催し、町民との意見交換の場を設け、町民参加を推進した。
また、議員研修に参加することで、自己研さんと資質の向上を図り、適正で
効率的な町政運営の確保に努めた。
高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうよう努めた。

② 事務局経費事業 5,268千円

・会議録調製並びに検索システム委託 3,170千円
定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。



(議員研修)

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。
(議長交際費の公開、会議結果の公表、視察報告等)

③ 議会関係負担金事業 1,761千円

・県議長会負担金 1,719千円
・中部議長会負担金 42千円



(高校生議会)

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予算現額	決算額
		目	1 監査委員費	1,256千円	1,249千円

①監査委員事業 1,249千円

(1) 監査委員 2人

- ・識見監査委員(代表監査委員)
- ・議会選出監査委員

(2) 活動状況

○検査

- ・例月現金出納検査 12回(毎月1回)
- ・現金及び現金等価物実査 (年1回)



(現金等価物実査)

○監査

- ・定期監査 (年2回)

5月

- ・町有財産取得、処分、貸付状況について
- ・指定管理者監査について
[公園施設(チュウブ)・スポーツ振興(北栄スポーツクラブ)、
中央公民館大栄分館(まちづくりネット)]



(定期監査 調書の聞き取り)

11月

- ・補助金状況について
- ・遊具安全点検について

○審査

- ・決算審査 (12会計)
- ・基金の運用状況審査 (17件)
- ・普通会計の財政健全化審査 (11件)
- ・公営企業会計の経営健全化審査 (1件)



(定期監査 現地確認)

○各種研修会

- ・鳥取県町村監査委員研修会(湯梨浜町 水明荘)
- ・中部町村監査委員協議会研修会 (湯梨浜町 水明荘)

【成果】 年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保のため、計画的に監査を実施した。監査結果は講評や町長報告によりフィードバックを行ったほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

また、地方自治法の改正に伴い、監査制度の充実強化を図るため、新たに北栄町監査基準を策定し、町及び議会に通知し、告示やホームページで公表し、監査の目的や範囲、方法等を体系化し明らかにした。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																												
		目	1 一般管理費	1,019,189千円	978,410千円																												
<p>①一般管理事業 92,209 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修関係 3,743 千円 団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独で財政研修等を実施した。 (研修参加の状況) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央研修</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>実務研修(県外)</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>県自治研修</td> <td>47人</td> <td>49人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>町単独研修</td> <td>1,302人</td> <td>649人</td> <td>693人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 町長交際費 1,190 千円 (交際費の支出件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出件数</td> <td>123件</td> <td>122件</td> <td>117件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員制度導入委託 1,980 千円(繰越) 職員健康診断経費(ドック含む) 4,754 千円 <p>【成果】 職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。</p> <p>②電算処理委託事業 61,115 千円</p> <p>事務の効率化を目的に整備した公会計、住基、税務、上下水道、介護保険、給与、農業行政、国民健康保険、保育料、特別医療、後期高齢、選挙、町営住宅などのシステムを維持管理した。</p> <p>システム運用委託:(株)鳥取県情報センター</p> <p>【成果】 各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。</p> <p>③一般管理関係負担金事業 2,367 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 県、中部町村会負担金 2,341 千円 行政不服審査会共同設置負担金 24 千円 <p>【成果】 各種団体等への負担を行い、事務運営等の効率化を図った。</p> <p>④事務用品一括購入事業 2,495 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務用品等消耗品費 2,495 千円 <p>【成果】 事務用品等を一括購入することで経費節減を行った。</p> <p>⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業 23,250 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理費(一般管理費、議会費、監査委員費等) 20,089 千円 休日急患診療所及び病院群輪番制病院運営費 3,161 千円 <p>【成果】 負担により、休日急患診療所等の運営を行った。</p>						年度	H29年度	H30年度	R1年度	中央研修	6人	7人	6人	実務研修(県外)	2人	3人	8人	県自治研修	47人	49人	65人	町単独研修	1,302人	649人	693人	年度	H29年度	H30年度	R1年度	支出件数	123件	122件	117件
年度	H29年度	H30年度	R1年度																														
中央研修	6人	7人	6人																														
実務研修(県外)	2人	3人	8人																														
県自治研修	47人	49人	65人																														
町単独研修	1,302人	649人	693人																														
年度	H29年度	H30年度	R1年度																														
支出件数	123件	122件	117件																														
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																												
		目	3 会計管理費	252千円	229千円																												
<p>①会計管理事業 229 千円</p> <p>銀行オンラインシステム回線使用料、事務用品の購入に要した経費</p>																																	

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額	
		目	4 財産管理費	525,502千円	155,230千円	
		①町有財産管理事業(総務課所管分) 19,402千円 (現年+繰越)				
		・町有建物災害共済保険料 6,244千円				
		・町有施設電気設備保安委託料 4,104千円				
		・緑ヶ丘地区法面对策工事等 8,407千円(繰越)				
		②大栄庁舎管理事業 22,041千円				
		大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。				
		・修繕費(トイレ等修繕) 415千円				
		・委託料(清掃、冷暖房機保守、植木管理など) 5,685千円				
		・庁舎南側窓枠サッシ改修工事 1,983千円				
		・庁舎LED照明化工事 4,499千円				
		・備品購入費(事務イス、書類ケースなど) 866千円				
		【成果】 点検・管理・修繕を行い、業務の円滑な推進に寄与した。				
		③公用車管理事業 8,149千円				
		(大栄庁舎集中管理車両)				
		区分		H29年度	H30年度	R1年度
		普通乗用自動車		3台	3台	3台
		軽自動車		11台	11台	9台
		【成果】 適切な管理を行うことにより、安全かつ円滑に運営した。				
		④コナン駅前広場等管理事業 1,870千円				
		コナン駅前広場及び旧鳥取県運転免許試験場の維持管理を実施。主な経費は次のとおり。				
		・光熱水費 659千円				
		・修繕費(建物・設備) 156千円				
		・清掃委託料 837千円				
		⑤防災無線維持管理事業 4,774千円				
		防災行政無線の維持管理等を行った。主な経費は次のとおり。				
		・防災無線保守点検業務委託料 2,616千円				
		・備品購入費(個別受信機46台) 1,679千円				
		(個別受信機の設置状況)				
		区分		H29年度末	H30年度末	R1年度末
		一般家庭		4,871台	4,898台	4,910台
		企業等		57台	59台	59台
		自治会・公共施設		136台	136台	136台
		【成果】 防災行政無線設備を維持管理することにより、情報伝達手段の確保を図った。				
		⑥天神いこいの広場管理事業 772千円				
		天神いこいの広場の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。				
		・光熱水費 148千円				
		・修繕費(遊具修繕等) 243千円				
		・維持管理委託料(みどり2区)、トイレ清掃委託料 375千円				
		⑦天神桜づつみ管理事業 315千円				
		天神桜づつみ(2か所)の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。				
		・維持管理委託料(江北/東新田場)、桜枝伐採 315千円				

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	5 北条庁舎管理費	7,946千円	7,272千円

②北条庁舎管理事業 7,272 千円

旧北条庁舎の維持管理、必要な修繕、事務等を行った。

・光熱水費	4,735 千円
・委託料(警備、冷暖房機保守、植木管理など)	1,362 千円
・施設等修繕工事費(2F空調機設置等)	1,149 千円

【成果】 点検・管理・修繕を行い、業務の円滑な推進に寄与した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	6 北条支所管理費	27,622千円	24,378千円

①北条支所管理事業 10,362 千円

北条支所として総合窓口業務を行うとともに北条健康福祉センターの維持管理を行った。

・施設修繕等工事費(空調設置工事等)	6,861 千円
・備品購入費(キッズサークル)	184 千円

(窓口取扱件数の状況)

年度	H29年度	H30年度	R1年度
窓口取扱数	15,473件	13,467件	14,559件
うち現金取扱数	5,981件	5,630件	5,665件

(北条健康福祉センターの利用状況)

年度	H29年度	H30年度	R1年度
回数	446回	445回	364回
利用者	7,571人	7,330人	6,381人

②北条地区振興事業 330 千円

毎月1回住民有志が集い、北条地区の振興について自由に語り合い、振興活動を実施した。

(主な経費)

・消耗品費(会議消耗品)	37 千円
・印刷製本費(チラシ・広報紙製作)	262 千円

【成果】 「あつまらいや北条」との協働により、11月3日、「第2回北条ふるさとまつり」を実施。賑わいの創出・住民交流の場を提供した。
また、小学校児童対象「もち米作り体験」、「鳥取城北高校相撲部との交流」等を実施。地域住民等の協力のもとさまざまなふるさと感じながら体験する機会を提供した。



山菜の里へこども園卒園記念植樹

③公用車管理事業 13,685 千円 (現年+繰越)

(北条支所集中管理車両)

区分	H29年度	H30年度	R1年度
マイクロバス	1台	1台	2台
軽自動車	2台	1台	1台

【成果】 バス予約・運転手手配等の手続きを北条支所に一元化し、事務の効率化を図りながら適切に管理・運営した。



新たに導入した町マイクロバス

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額												
		目	7 北条改善センター費	5,629千円	5,337千円												
<p>①北条改善センター管理事業 5,337 千円</p> <p>(主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 2,116 千円 ・施設修繕費(大研修室照明LED化等) 1,156 千円 ・委託料(空調更新工事設計委託業務) 1,320 千円 <p>(センターの利用状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>262回</td> <td>233回</td> <td>238回</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>12,546人</td> <td>11,837人</td> <td>13,502人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 多くの方に安全に施設を使っていただけけるよう、適切な維持管理を実施した。</p>						年度	H29年度	H30年度	R1年度	回数	262回	233回	238回	利用者	12,546人	11,837人	13,502人
年度	H29年度	H30年度	R1年度														
回数	262回	233回	238回														
利用者	12,546人	11,837人	13,502人														
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額												
		目	8 大栄改善センター費	11,072千円	10,633千円												
<p>①大栄改善センター管理事業 10,633 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕費(網戸補修など) 170 千円 ・青年研修室改修(工事費、監理業務) 9,167 千円 <p>(センターの利用状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>941回</td> <td>1,037回</td> <td>1,331回</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>19,231人</td> <td>19,959人</td> <td>23,578人</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="949 891 1391 1187" data-label="Image"> </div> <p>改修で広がった青年研修室</p> <p>【成果】 多くの方に安全に施設を使っていただけけるよう、適切な維持管理を実施した。</p>						年度	H29年度	H30年度	R1年度	回数	941回	1,037回	1,331回	利用者	19,231人	19,959人	23,578人
年度	H29年度	H30年度	R1年度														
回数	941回	1,037回	1,331回														
利用者	19,231人	19,959人	23,578人														
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額												
		目	10 自治会活動促進費	14,441千円	14,122千円												
<p>①自治会総合交付金事業 14,122 千円 ※風のまちづくり事業充当1,920千円</p> <p>(1)自治会運営交付金 12,116 千円 自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。</p> <p>(2)防犯灯維持管理交付金 982 千円 61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。</p> <p>(3)再生可能エネルギー交付金 1,024 千円 63自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。</p> <p>【成果】 行政(町)と地域(自治会)との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。</p>																	
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額												
		目	11 交通安全対策費	4,754千円	4,508千円												
<p>①交通安全対策事業 2,379 千円</p> <p>交通指導員を配置し、街頭監視及び交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導員出動手当 970 千円 ・交通安全指導員制服等 158 千円 																	

(交通指導員等の状況)

年度		H29年度	H30年度	R1年度
交通指導員数(定員22名)		18人	20人	20人
活動 延人数	研修長時間指導	40人	36人	36人
	啓発パトロール等	362人	344人	390人

(本町で発生した交通死亡事故等の状況)

年度		H29年度	H30年度	R1年度
交通事故死亡者数		0人	0人	2人
交通事故件数(人身事故)		32件	31件	30件

【成果】 全国交通安全運動期間の取り組みを中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施した。

②交通安全施設維持管理事業／交通安全施設整備事業 1,911 千円

カーブミラーの修繕、整備を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度	H29年度	H30年度	R1年度
カーブミラー修繕	33基	26基	26基
カーブミラー設置	1基	2基	1基

【成果】 カーブミラーの新設・修繕により、町内の交通安全に寄与した。

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 217 千円

- 交通安全協会倉吉地区協会負担金 6 千円
- 交通安全協会北条支部活動費補助金 189 千円

【成果】 交通安全協会への負担金・補助金の交付により、高齢者宅訪問、街頭啓発、町内パレードなどの交通安全普及活動が実践された。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	87,404千円	86,122千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業 86,122 千円 (現年+繰越)

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成、農業構造の改善を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

(主な経費)

- 光ファイバーネットワーク機器使用料、機器保守料 17,029 千円
- FTTHサーバー更新、センタースイッチ更新 46,052 千円(繰越)
- 電柱共架料、自営柱用地借上料 6,720 千円
- 伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 10,586 千円
- 備品購入(ONU 65台) 3,910 千円

(テレビ等の加入状況)

区分	H29年度	H30年度	R1年度
テレビ契約加入率	86.8%	84.6%	84.4%
インターネット契約加入率	32.5%	33.3%	33.8%

【成果】 光ファイバーネットワーク施設を維持管理することにより、安定した各種サービス提供を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																								
		目	13 情報処理費	22,843千円	22,589千円																								
<p>①情報処理事業 22,589 千円</p> <p>機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政情報システム保守委託 14,890 千円 ・パソコン購入(20台) 2,078 千円 ・自治体ICT共同化推進等県負担金 2,674 千円 <p>【成果】 庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。</p>																													
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																								
		目	14 防犯対策費	5,386千円	5,181千円																								
<p>①防犯対策事業 5,181 千円 ※風のまちづくり事業充当1,898千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED化対策工事請負費 2,210 千円 ・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 1,638 千円 <p>(防犯灯整備等の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公設防犯灯整備</td> <td>35灯</td> <td>36灯</td> <td>25灯</td> </tr> <tr> <td>うちLED化変更</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>自治会整備補助</td> <td>15自治会</td> <td>4自治会</td> <td>11自治会</td> </tr> <tr> <td>防犯カメラ整備</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 公設防犯灯の新設・修繕等により、町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。</p>						年度	H29年度	H30年度	R1年度	公設防犯灯整備	35灯	36灯	25灯	うちLED化変更	-	-	-	自治会整備補助	15自治会	4自治会	11自治会	防犯カメラ整備	-	-	-				
年度	H29年度	H30年度	R1年度																										
公設防犯灯整備	35灯	36灯	25灯																										
うちLED化変更	-	-	-																										
自治会整備補助	15自治会	4自治会	11自治会																										
防犯カメラ整備	-	-	-																										
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																								
		目	15 諸費	1,387千円	498千円																								
<p>①諸費事業 492 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉地区防犯協議会負担金 248 千円 ・安全運転運行管理者協議会負担金 30 千円 <p>②自衛隊募集事業 6 千円</p> <p>自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動及び出身自衛官の慰問や新入隊員の激励を実施した。</p> <p>(新入隊の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北栄町内</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H29年度	H30年度	R1年度	北栄町内	4人	0人	4人																
年度	H29年度	H30年度	R1年度																										
北栄町内	4人	0人	4人																										
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																								
		目	19 災害復興支援費	2,689千円	2,689千円																								
<p>①被災者住宅修繕支援金事業 200 千円</p> <p>住家被害の程度が10%未満の被害に対し、損害割合に応じて支援金を支給した。</p> <p>(支援状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>4%超</th> <th>3%超</th> <th>2%超</th> <th>1%超</th> <th>1%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>150件</td> <td>32件</td> <td>8件</td> <td>8件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>77件</td> <td>1件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>4件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						区分	4%超	3%超	2%超	1%超	1%以下	H29年度	150件	32件	8件	8件	24件	H30年度	77件	1件	-	-	11件	R1年度	4件	-	-	-	-
区分	4%超	3%超	2%超	1%超	1%以下																								
H29年度	150件	32件	8件	8件	24件																								
H30年度	77件	1件	-	-	11件																								
R1年度	4件	-	-	-	-																								

②被災者住宅再建支援金事業 2,489 千円

住家被害の損害割合と再建方法に応じて、支援金を支給した。
(支援状況)

区 分	H29年度	H30年度	R1年度
半壊	17 件	2 件	2 件
一部損壊(10%以上20%未満)	321 件	30 件	2 件

【成果】 鳥取県中部地震の被害に対し支援金を支給し復旧を図った。令和元年10月末終了。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 選挙管理委員会費	407千円	254千円

①選挙管理委員会事業 254 千円

選挙管理委員会の開催 6回開催

・委員会の主な内容

各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定
住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施

【成果】 選挙人名簿の登録・管理を正確に行った。また、投票機会の確保対策を講じた。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 選挙啓発費	42千円	31千円

①選挙啓発事業 31 千円 (県明るい選挙推進負担金含む)

実施事業等

北栄町明るい選挙推進協議会の開催 令和2年2月17日開催

主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の開催 令和元年11月22日開催

明るい選挙啓発ポスター募集事業 令和元年5月～9月募集(応募者1人)

鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金 4千円

【成果】 選挙権年齢の引下げ(満18歳以上)を踏まえ、町内の高校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座や模擬投票)を実施し、明るい選挙の推進を行った。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 参議院議員通常選挙費	9,883千円	9,830千円

①参議院議員通常選挙事業 9,830 千円

投票日 令和元年7月21日 投票率 比例代表 57.34% 選挙区 57.34%

【成果】 投票機会の確保対策を講じ、参議院選挙の管理執行を行った。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 鳥取県知事・議会議員選挙費	6,692千円	6,506千円

①鳥取県知事・議会議員選挙事業 6,506 千円

投票日 平成31年4月7日 投票率 知事 60.75% 県議会 60.42%

【成果】 投票機会の確保対策を講じ、鳥取県知事等選挙の管理執行を行った。

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	1 常備消防費	208,355千円	206,686千円

①中部ふるさと広域連合負担金(消防)事業 206,686 千円

常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。
(火災発生件数等)

区 分		H29年度	H30年度	R1年度
火災発生	北栄町内	12件	2件	5件
	広域連合内	31件	28件	38件
救急出動	北栄町内	600件	568件	599件
	広域連合内	4,871件	4,808件	4,712件

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	2 非常備消防費	21,537千円	19,379千円

①消防団活動事業 16,182 千円

町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。

(町消防団の状況)

(人数は年度末)

年 度	H29年度	H30年度	R1年度
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団
実数/定員	101人/110人	98人/110人	95人/110人
うち女性団員数	4人	4人	4人

(町消防団の出動等の状況)

区分	H29年度		H30年度		R1年度		
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	
出 動	火 災	12件	311人	2件	63人	6件	183人
	非火災	7件	135人	1件	22人	1件	4人
	捜 索	0件	0人	0件	0人	0件	0人
	警 戒	4件	87人	5件	203人	0件	0人
操法水防訓練等		24件	711人	24件	790人	19件	741人
会議・研修等		34件	174人	29件	156人	39件	181人
火災予防広報等		40件	375人	44件	390人	45件	409人

(消防ポンプ操法大会の状況)

大会名等		H29年度		H30年度		R1年度	
町操法大会	優勝	第4分団Aチーム		第4分団Aチーム		第4分団Aチーム	
	2位	第3分団Aチーム		第3分団Aチーム		第3分団Aチーム	
	3位	第4分団Bチーム		第3分団Bチーム		第1分団Aチーム	
郡操法大会	出場	第4分団	第3分団	第4分団	第3分団	第4分団	第3分団
	順位	優勝	5位	優勝	4位	優勝	6位
県操法大会	出場	第4分団		第4分団		第4分団	
	順位	6位		2位		4位	

【成果】 火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練などの訓練活動や、女性消防団員などによる防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

②消防関係負担事業 3,197 千円

- ・県、郡消防協会負担金 348 千円
- ・鳥取県町村消防災害補償組合負担金 407 千円
- ・消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112 千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	3 消防施設費	8,438千円	7,931千円

①消防施設設置事業 7,931 千円

自治会にある消火栓等消防水利の維持や確保を図るとともに、消防設備の改修等を行った。
(消火栓修繕等の状況)

区分	H29年度	H30年度	R1年度
消火栓修繕	7か所	9か所	24か所
消火栓新設	-	-	-
その他	防火水槽整備1	-	防火水槽修繕2

【成果】 消火栓等の維持管理を行い、火災予防・消防団活動の安全確保を行った。

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	4 災害対策費	34,117千円	30,284千円

①災害対策事業 3,844 千円

(防災訓練等の状況)

区分		H29年度	H30年度	R1年度
防災会議	開催日	未実施	H31.3.19	R2.3.5
	内容		計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日	H29.9.3	H30.9.2	R1.9.1
	主会場	北条ふれあい会館	大栄小学校	北条農村環境改善センター
	想定	地震	水害	水害
防災士 資格取得	町職員	2人	1人	-
	一般	4人	3人	10人

(警報等による町の警戒等体制の配備状況)

区分	H29年度	H30年度	R1年度
警戒体制配備	大雨等4	大雨等4	暴風2
非常体制配備	-	大雨等1	-
避難所開設	大雨等2	大雨等3	-
避難勧告・指示	-	勧告1	-

【成果】 防災士養成、備蓄品の整備等により防災体制の充実を図った。



防災訓練で救命救急の訓練を受ける参加者



炊出しを調理をする赤十字奉仕団のみなさん

②自主防災組織育成事業 4,635 千円

自主防災組織、自衛消防団の運営及び訓練や資機材購入に対して、交付金等を支給した。
(自主防災組織等の状況)

区 分		H29年度	H30年度	R1年度
自主防災	組織設置数	46組織	47組織	48組織
	訓練活動数	42組織	35組織	34組織
	資機材整備数	4組織	9組織	5組織
自衛消防	自衛消防団(隊)数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
	消防器具整備数	39組織	38組織	41組織

【成果】 育成事業の周知等により、組織数の増加、資機材の装備につながった。自主防災組織の設置について、自治会長会等で説明等を行ったが、1組織増にとどまった。

③空き家対策事業／老朽危険空き家等除却支援事業 20,379 千円

・空き家審議会の開催 1回
(空き家除却費助成等の状況)

区 分		H29年度	H30年度	R1年度
老朽危険空き家 除却費助成	件数	4件	9件	8件
	金額	5,670千円	8,937千円	18,566千円
空き家把握数(年度末)		283件	313件	298件

【成果】 老朽危険空き家の撤去に対し、費用の一部を補助することで、所有者の負担軽減を図り、地域住民の安心・安全に寄与した。

④被災者住宅再建支援基金積立事業 1,271 千円

指定自然災害により住宅に著しい被害を受けた世帯へ給付金を支給するため、県及び県内市町村が相互扶助の観点から基金に拠出するもの。

R1拠出額 1,271 千円(世帯数等指標に基づき、H30年度～10年間拠出)

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	1 一般管理費	1,019,189千円	978,410千円

①ふるさと北栄基金事業 487,431千円

頂戴した寄附金を次年度の財源とするため基金への積み立てを行った。

年度	H29	H30	R1
基金残高(千円)	167,470 (354,855)	109,816 (193,072)	238,610 (487,414)

()内は、寄附金額

※平成29年度から、寄附金から経費(返礼品など)を差し引いた額を積み立てた。

【成果】 返礼品を充実させ新たなポータルサイトの開設を行ったことにより、前年より寄附金は大幅に増加した。事務費を差し引いた額を積み立て次年度の財源とすることができた。

②行政改革事業 35,629千円

行政改革の取り組み

大栄庁舎総合窓口業務、支所総合窓口業務、庶務業務の民間委託を継続して行った。

委託契約期間:令和3年9月30日まで

【成果】 業務の一部を民間に委託したことで、窓口サービスのワンストップ化による住民の利便性の向上と職員の負担軽減により職員が行うべき業務の質の向上を図ることができた。

③統一的な基準による地方公会計整備事業 2,640千円

財務書類(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書)の作成支援業務を委託し、平成30年度決算に係る財務書類を作成した。

【成果】 統一的な基準による平成30年度決算財務書類を作成して明らかになった財務情報を公表することにより、従来の現金主義会計による決算を補完することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	2 広報費	6,057千円	5,971千円

①広報事業 5,971千円

・町報印刷 3,457千円

「広報 北栄」を発行し、行政情報の提供、町の動きの紹介等を行い住民と行政の一体化を図った。

年度	H29	H30	R1
延べページ数	244ページ	248ページ	244ページ
発行部数(部/月)	5,600	5,600	5,600

【成果】 ドローンや動画を活用し、より興味を持っていただける広報誌を提供できた。

・ホームページ保守業務 765千円

ホームページで情報提供を行った。

・情報発信の取り組み

フェイスブック、ユーチューブ、ツイッター、インスタグラムなどを活用し、町のイベントや行政情報など、こまめに情報を発信した。

年度	H29	H30	R1
フェイスブック「いいね！」(投稿数)	2,947 (761)	3,510 (762)	3,958 (762)
ツイッター「フォロワー数」(投稿数)	1,795 (439)	1,311 (972)	2,283 (693)
インスタグラム「フォロワー数」(投稿数)	-	395 (172)	1,050 (851)
ユーチューブ「フォロワー数」(投稿数)	-	421 (35)	859 (52)
外国人向け紹介動画の作成(英語)	0本	3本	6本

【成果】 町の魅力を即時的に情報発信することができた。

またすいか・ながいも健康マラソン大会でInstagramフォトコンテストを開催。100件以上の投稿が集まり、優勝作品は町報で掲載し、大栄西瓜1玉を贈呈。その後、フォトコンテストの経過や贈られた大栄西瓜のPRなどもしていただき、町の話作りができた。



- ・外部広報誌仕分け作業委託料 115 千円
 県等が発行する広報誌の仕分け作業を障がい者就労施設に委託した。

【成果】 障がいのある方の経済的自立及び就労機会の確保を図ることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	4 財産管理費	525,502千円	155,230千円

①町有財産管理事業(企画財政課所管分) 15,930千円

町有地の維持管理、町有地売却業務の民間委託、不要財産の売却を行った。

年度	H29	H30	R1
売却額(千円)	11,693	72,762	111

- ・旧三陽合織北側ブロック塀等解体工事設計監理業務 497 千円
 - ・旧三陽合織北側ブロック塀等解体工事 6,901 千円
 - ・旧三陽合織既存建物等調査業務 2,959 千円
 - ・旧三陽合織地歴調査業務 2,210 千円
 - ・旧三陽合織地下水観測井設置分析業務 1,509 千円
- ※繰越事業

【成果】 町有地、町有財産の管理を行い、所有財産を適切に維持することができた。
 所有財産のうち旧三陽合織については、危険な状態にあった建築物の除却を行い、周辺への安全対策を講じた。また、今後の売却に向けて、アスベスト使用状況調査、土壌汚染に関連する各調査を行い、物件状況を把握することができた。

②財政調整基金積立金事業 81,969千円

将来の財政対応のため町の「貯金」にあたる財政調整基金の積み立てを行った。

年度	H29	H30	R1
基金残高(千円)	1,450,063	1,551,691	1,633,660

【成果】 健全な財政運営により、積み増しをすることができた。

③減債基金積立金事業 9千円

将来の起債償還財源となる減債基金の積み立てを行った。

年度	H29	H30	R1
基金残高(千円)	44,036	44,049	44,058

【成果】 基金利子分により、積み増しをすることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	43,171千円	39,886千円

①企画事業 2,843千円

倉吉未来中心管理運営負担金	1,279千円
住民ワークショップ「ほくえい未来トーク」	736千円
地域共生・地域づくり講演会	207千円
政策研究調査	180千円

【成果】 講演、先進地視察等により、政策に対する見識を深めることができた。

- ・「ほくえい未来トーク」
次期まちづくりビジョン策定のため、無作為抽出による住民ワークショップを2日間開催。
講師：地域政策デザインオフィス代表理事 田中信一郎氏、元消費者庁長官 福嶋浩彦氏、鳥取大学工学部助教 長曾我部まどか氏。
参加人数：120人（うちワークショップ参加者47人）
- ・地域共生・地域づくり講演会（企画財政課、福祉課、総務課、中央公民館連携事業）
テーマ：持続可能な地域社会をめざして～協働のまちづくり～
講師：持続可能な地域社会総合研究所 藤山浩氏
参加人数：110人
- ・政策研究調査
「無作為に選ばれた住民による『自分ごと化会議』の運営手法」
「AI・RPAを活用した自治体業務の検討及び公会計をもっと利活用するための政策研究」
「先進地に学ぶひきこもり対策」

②女性団体連絡協議会補助金事業 178千円

町内11団体で組織する女性団体連絡協議会に対し、補助金を交付した。

【成果】 男女共同参画フォーラムの開催等、男女共同参画社会の実現に向けて広く町民に啓発を図る女性団体連絡協議会の活動に対し補助金を交付した。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業 1,332千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、人的及び財政的支援を行った。

年度	H29	H30	R1
交付金交付コミュニティ数	4団体	7団体	6団体

【成果】 地域振興につながるイベントや取り組みが実施されたことにより、地域活性化が図られた。



Let's go北栄ツアー2019(6月9日)



木とねっこプレーパーク(10月22日)

④交通対策事業 16,377千円

・路線維持費補助金

14,213千円

輸送人員の減少により地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっていることから、補助制度により生活交通路線として必要なバス路線の運行維持を図った。

種類		補助金額(千円)				
		H29	H30	R1		
日交	国庫	北条線(西倉吉～倉吉駅	路線維持費補填分	2,980	3,153	3,293
		～江北～由良駅)	路線維持費嵩上げ分	1,359	918	600
	計			4,339	4,071	3,893
日ノ丸バス	国庫	赤碕線(倉吉駅～由良駅	路線維持費補填分	4,818	4,887	5,537
		入口～赤碕駅)	路線維持費嵩上げ分	3,473	3,346	4,098
	広域	栄線(倉吉駅～西亀谷)	広域バス路線維持費分	471	643	685
	計			8,762	8,876	10,320
合計				13,101	12,947	14,213

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金 625千円

利用者の減少により地域住民の日常生活に必要なバス路線の維持が困難な地域において、住民の生活交通の確保を図る事業(乗りあいタクシー)に対し補助を行った。

年度		H29	H30	R1
乗りあいタクシー	利用者数(人)	392	306	303
	補助金額(千円)	830	669	625

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金

空港連絡バスの倉吉駅から青山剛昌ふるさと館の運行に必要な経費を補助することにより、運行の維持を図った。(利用者増により負担なし)

年度		H29	H30	R1
鳥取砂丘コナン空港連絡バス	利用者数(人)	708	1,360	1,441
	補助金額(千円)	814	0	0

・由良駅前植木撤去工事

367千円

由良駅への路線バス乗り入れに伴い、安全に走行するため、接触するおそれのある植木を撤去した。

・青山剛昌ふるさと館観光案内看板、バス標識設置工事 918千円

青山剛昌ふるさと館への路線バス立ち寄りに伴い、観光客にわかりやすく案内するため、観光案内看板を設置した。

【成果】 地域住民の生活交通路線及び観光客の移動手段を確保するため、補助制度によりバス路線、乗りあいタクシーの運行の維持を図った。

また、路線バスの環境整備を行い、利便性を高めた。

⑤コミュニティ助成事業 4,600千円

一般財団法人自治総合センターが実施する助成事業を活用し、コミュニティの健全な発展を図るため、活動に必要な施設や設備の整備に対する助成金を交付した。

年度	H29	H30	R1
交付金交付自治会	国坂浜、中央団地	下種	北尾、西高尾

【成果】 整備により、自治会活動の活性化を図るとともに、自治会に安心して集える環境を整えた。

⑥しあわせ♡創生事業 431千円

・広域婚活事業負担金

200千円

鳥取中部ふるさと広域連合において、中部市町共同で婚活事業を行った。

婚活セミナー2回、イベント・パーティ4回、結婚支援員情報交換会2回

・結婚新生活支援事業補助金

231千円

新婚生活を応援するため、新居の住居費や引越費用を支援した。(支援件数1件)

【成果】 婚活イベント・パーティでの連絡先交換者:延べ23組(うち町内3組)
成婚に至ったカップル数:延べ1組(うち町内0組)

⑦官学連携事業 0千円

高校、大学と連携し、地域課題の研究を行った。

- ・地域探究の時間(鳥取中央育英高校)
- ・Let's Go北栄ツアー(鳥取中央育英高校、鳥取大学、由良宿まちづくりの会、東伯青年会議所等)
- ・由良宿歴史探訪ウォーク(鳥取中央育英高校、商工会等)

【成果】 官学連携事業により地域の課題解決、地域価値の創造に取り組むとともに、将来地域を担う人材育成に寄与した。由良宿歴史探訪ウォークは令和新时代創造県民運動活動表彰の知事表彰(若者活動部門優秀賞)受賞した。



地域探究の時間(小学対象スポーツ教室)



由良宿歴史探訪ウォーク(10月26日)

⑧地域イベント助成事業 800千円

一般財団法人地域活性化センターが実施する助成事業を活用し、コミュニティが主体となって地域の活性化を図るイベントに対する助成金を交付した。

- ・砂丘花火鑑賞会場in由良台場ーHarmonyー

【成果】 コミュニティが主体となり、地域資源(由良台場や和紙あかり、地元出身のアーティスト等)を活かしたイベントを開催し、地域活性化に寄与した。



由良台場で砂丘花火を鑑賞



生原幸太氏のヴィオラライブ演奏

款	2 総務費	項	5 統計調査費	予算現額	決算額
		目	1 統計費	4,715千円	3,861千円

①統計調査事業 3,861千円

主な調査 農林業センサス 全国家計構造調査 経済センサス

【成果】 各種統計調査を円滑に進めることができた。

款	10 公債費	項	1 公債費	予算現額	決算額
		目	1 元金	813,614千円	813,614千円

①町債償還元金事業 813,614千円

年度	H29	H30	R1
起債残高(千円)	7,522,021	7,404,470	7,125,356

【成果】 適切な管理と償還により、残高は着実に減少している。

款	10 公債費	項	1 公債費	予算現額	決算額
		目	2 利子	48,548千円	38,518千円

①町債償還利子事業 38,518千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																																																																	
		目	9 企画費	43,171千円	39,886千円																																																																	
<p>①消費者行政推進事業 932千円</p> <p>消費生活相談窓口(住民生活課内)及び中部消費生活センター(専門相談員設置)にて消費者相談の受付・対応を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談受付件数</td> <td>88</td> <td>78</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> <p>町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。 5月の消費者月間には、消費者の目線から暮らしの中の安心・安全について学ぶ「事業所見学」を実施、さらに8月には、小学生向けの消費者講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会出前講座 2回 ・消費者講座、イベント等での啓発活動 計 4回 ・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動 計 3回 <p>【成果】 専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。 地域住民への各種啓発活動(消費者講座等)により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。</p>						年度	H29	H30	R1	相談受付件数	88	78	82																																																									
年度	H29	H30	R1																																																																			
相談受付件数	88	78	82																																																																			
款	2 総務費	項	2 徴税费	予算現額	決算額																																																																	
		目	1 税務総務費	111,661千円	109,661千円																																																																	
<p>①税務総務事業 12,968 千円</p> <p>臨時職員賃金 3,039 千円 土地管理システム経費 871 千円 コンビニ収納手数料 705 千円 など</p> <p>【成果】 経常的な税務事務を実施した。</p> <p>②税務総務関係負担金事業 947 千円</p> <p>軽自動車事務取扱事務費 614 千円 評価システム研究センター会費 45 千円 など</p> <p>【成果】 負担により必要な税務情報を入手した。</p> <p>③中部ふるさと広域連合負担金事業 4,815 千円 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>滞納徴収分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域連合負担金</td> <td>9,321</td> <td>8,828</td> <td>7,994</td> </tr> <tr> <td>広域連合徴収額</td> <td>15,190</td> <td>6,795</td> <td>7,355</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※国保会計分を含む。 ※延滞金含む</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th colspan="4">徴収状況</th> <th colspan="4">処理状況</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">委託金額 (A)</th> <th colspan="2">徴収額</th> <th rowspan="2">徴収率 (B)/(A)</th> <th rowspan="2">受託 人数</th> <th colspan="3">処理人数</th> <th rowspan="2">処理率</th> </tr> <tr> <th>本税(B)</th> <th>延滞金</th> <th>完結</th> <th>執行停止</th> <th>取消</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>15,813</td> <td>10,396</td> <td>4,794</td> <td>65.74%</td> <td>78</td> <td>56</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>76.92%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10,546</td> <td>4,852</td> <td>1,943</td> <td>46.01%</td> <td>70</td> <td>48</td> <td>2</td> <td></td> <td>71.43%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>9,511</td> <td>6,339</td> <td>1,016</td> <td>66.65%</td> <td>75</td> <td>57</td> <td>2</td> <td></td> <td>78.67%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 令和元年度は、前年度から徴収額、徴収率とも上がり、滞納処分の取組により滞納額は着実に減少している。</p> <p>④家屋全棟調査事業 19,517 千円</p> <p>業務委託料 19,517 千円</p> <p>【成果】 平成29年度から令和元年度までの3ヵ年度委託事業の最終年として、現地調査により課税台帳の突合を行なった。調査結果は、令和3年度固定資産税の当初課税に反映予定である。</p>						滞納徴収分	H29	H30	R1	広域連合負担金	9,321	8,828	7,994	広域連合徴収額	15,190	6,795	7,355	年度	徴収状況				処理状況				委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率	本税(B)	延滞金	完結	執行停止	取消	H29	15,813	10,396	4,794	65.74%	78	56	3	1	76.92%	H30	10,546	4,852	1,943	46.01%	70	48	2		71.43%	R1	9,511	6,339	1,016	66.65%	75	57	2		78.67%
滞納徴収分	H29	H30	R1																																																																			
広域連合負担金	9,321	8,828	7,994																																																																			
広域連合徴収額	15,190	6,795	7,355																																																																			
年度	徴収状況				処理状況																																																																	
	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率																																																													
		本税(B)	延滞金			完結	執行停止	取消																																																														
H29	15,813	10,396	4,794	65.74%	78	56	3	1	76.92%																																																													
H30	10,546	4,852	1,943	46.01%	70	48	2		71.43%																																																													
R1	9,511	6,339	1,016	66.65%	75	57	2		78.67%																																																													

款	2 総務費	項	2 徴税费	予算現額	決算額
		目	2 賦課徴収費	4,560千円	3,983千円

①賦課徴収事務事業 3,983 千円

過誤納還付金 3,049 千円 納付書等印刷費 714 千円 など

【成果】 きめ細やかな催告や調査を実施し、高い徴収率を維持することができた。

・徴収率の状況

(単位:千円・%)

区 分	徴収率 b/(a-c)			R1年度の収納状況		
	H29	H30	R1	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税(個人+法人)	99.4	99.4	99.6	604,265	601,374	267
現年課税分	99.7	99.6	99.7	600,296	598,652	116
滞納繰越分	66.8	61.1	71.3	3,969	2,722	152
固定資産税	98.4	98.7	99.1	681,828	673,206	2,237
現年課税分	99.4	99.6	99.7	672,930	670,611	0
滞納繰越分	39.1	0.0	39.0	8,898	2,595	2,237
軽自動車税	99.3	99.4	99.6	63,163	62,845	48
現年課税分	99.7	99.7	99.7	62,809	62,649	0
滞納繰越分	56.9	61.0	64.1	354	196	48
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	91,252	91,252	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	91,252	91,252	0
小 計 (税合計)	99.0	99.1	99.4	1,440,508	1,428,677	2,553
現年課税分	99.6	99.6	99.7	1,427,287	1,423,164	116
滞納繰越分	48.0	40.5	51.1	13,221	5,513	2,437
国民健康保険税	97.8	97.9	97.9	442,579	433,039	173
現年課税分	99.0	98.7	98.5	432,774	426,417	0
滞納繰越分	65.0	59.1	68.7	9,805	6,622	173
介護保険料	99.2	99.6	99.6	360,993	359,416	257
現年課税分	99.6	99.8	99.7	359,673	358,604	0
滞納繰越分	59.6	73.1	76.3	1,320	812	257
後期高齢者医療保険料	99.4	99.7	99.5	122,932	122,201	144
現年課税分	99.6	99.9	99.6	122,554	122,101	0
滞納繰越分	29.9	54.9	43.1	377	100	144
小 計 (保険合計)	98.5	98.8	98.8	926,504	914,656	575
現年課税分	99.3	99.3	99.1	915,001	907,122	0
滞納繰越分	63.4	61.4	68.9	11,503	7,534	575
合 計	98.8	99.0	99.1	2,367,012	2,343,333	3,127
現年課税分	99.4	99.5	99.5	2,342,288	2,330,286	116
滞納繰越分	56.5	51.2	60.1	24,724	13,047	3,012

・税等の収納比率 (上段:R1年度、中段:H30年度、下段H29年度)

区 分	口座振替	コンビニ	町差押え	広域連合	特別徴収	窓口等	合計
町・県民税	18.9 %	4.1 %	0.1 %	0.3 %	73.6 %	3.1 %	100%
	17.4 %	3.3 %	0.0 %	0.1 %	67.1 %	12.1 %	100%
	18.1 %	4.0 %	0.1 %	0.3 %	65.6 %	11.9 %	100%
固定資産税	49.6 %	7.5 %	0.2 %	0.1 %	- %	42.6 %	100%
	51.2 %	7.4 %	0.2 %	0.1 %	- %	41.1 %	100%
	52.6 %	7.1 %	0.1 %	0.2 %	- %	40.0 %	100%
軽自動車税	47.0 %	29.3 %	0.1 %	0.2 %	- %	23.5 %	100%
	48.2 %	27.4 %	0.1 %	0.3 %	- %	24.0 %	100%
	48.6 %	25.0 %	0.1 %	0.3 %	- %	26.0 %	100%
国民健康保険税	70.5 %	8.4 %	0.2 %	0.7 %	12.3 %	7.9 %	100%
	66.5 %	7.7 %	0.4 %	0.6 %	12.0 %	12.8 %	100%
	67.0 %	7.6 %	0.3 %	1.3 %	11.3 %	12.5 %	100%
介護保険料	1.6 %	1.6 %	0.1 %	- %	93.1 %	3.6 %	100%
	1.6 %	1.7 %	0.2 %	- %	93.9 %	2.6 %	100%
	1.5 %	1.6 %	0.1 %	- %	93.1 %	3.7 %	100%
後期高齢者医療保険料	15.0 %	2.1 %	0.1 %	- %	74.4 %	8.5 %	100%
	15.6 %	1.0 %	0.2 %	- %	76.1 %	7.1 %	100%
	15.6 %	1.3 %	0.0 %	- %	75.8 %	7.3 %	100%

※それぞれの合計が小数点以下の関係で100%にならない場合があります。

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予算現額	決算額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	28,938千円	26,407千円

①戸籍及び住民登録事務事業 263千円

・住民基本台帳事務関係

令和2年3月末の住民基本台帳人口は14,854人、世帯数は5,408世帯で、平成31年3月末と比較して人口は191人減少し、世帯は56世帯の増加であった。

(1)住民基本台帳人口及び世帯数(年齢階層別人口)

単位:人

年 度		H29	H30	R1	対前年比
年 齢	区 分				
年少人口 (0～14歳)	男	998	968	973	5
	女	933	909	872	△ 37
	計	1,931	1,877	1,845	△ 32
	構成比率	12.71%	12.48%	12.42%	-0.06%
生産年齢人口 (15～64歳)	男	4,187	4,109	4,002	△ 107
	女	4,130	4,015	3,911	△ 104
	計	8,317	8,124	7,913	△ 211
	構成比率	54.73%	54.00%	53.27%	-0.73%
老年人口 (65歳以上)	男	2,102	2,156	2,187	31
	女	2,846	2,888	2,909	21
	計	4,948	5,044	5,096	52
	構成比率	32.56%	33.53%	34.31%	0.78%
合計	男	7,287	7,233	7,162	△ 71
	女	7,909	7,812	7,692	△ 120
	計	15,196	15,045	14,854	△ 191
世帯数		5,320世帯	5,352世帯	5,408世帯	56世帯
(再掲) 75歳以上	男	903	939	942	3
	女	1,599	1,605	1,592	△ 13
	計	2,502	2,544	2,534	△ 10
	構成比率	16.46%	16.91%	17.06%	0.15%

(2)住民基本台帳関係事務処理数

単位:人

年 度	H29	H30	R1
転入者	364	343	343
出生者	100	89	103
その他	0	8	5
計(A)	464	440	451
転出者	416	398	400
死亡者	195	190	238
その他	2	3	4
計(B)	613	591	642

単位:件

種 別	件 数
転居	98
世帯変更	177
職権修正	222
違反通知	0
戸籍の附票	2,431
計	2,928

社会増減	△ 52	△ 55	△ 57
自然増減	△ 95	△ 101	△ 135
その他	△ 2	5	1
計(A)-(B)	△ 149	△ 151	△ 191

(3)印鑑登録関係件数

単位:件

年 度	H29	H30	R1
登 録	498	518	476
(うち再登録)	(236)	(229)	(196)
抹 消	573	565	586
年度末登録者数	10,677人	10,630人	10,520人

・戸籍事務関係事業

(1) 本籍数及び本籍人口など

年 度	H29	H30	R1
本 籍 数	8,466戸籍	8,399戸籍	8,322戸籍
本 籍 人 口	20,494人	20,274人	20,030人

(2) 戸籍届書の取扱い件数

単位:件

事件の種類	年 度	H29	H30	R1
出 生		171	194	179
国 籍 留 保		0	0	0
認 知		5	4	2
養 子 縁 組		19	27	12
養 子 離 縁		9	6	7
離縁の際に称していた氏を称する届		0	0	0
婚 姻		229	201	199
離 婚		52	35	41
離婚の際に称していた氏を称する届		18	18	16
親 権 変 更		0	0	0
死 亡		261	253	301
失 踪		0	0	0
復 氏		0	0	0
姻 族 関 係 終 了		0	0	1
入 籍		47	27	41
分 籍		4	5	3
帰 化		0	0	0
国 籍 喪 失		0	3	0
氏 の 変 更		1	3	3
転 籍		69	64	61
戸 籍 訂 正		26	10	16
続 柄 の 記 載 更 正		1	0	0
そ の 他		2	1	2
不 受 理 申 出		2	0	1
合 計		916	851	885

年 度	H29	H30	R1
新 戸 籍 編 製	123	95	105
戸 籍 全 部 消 除	170	162	182

・住民票・戸籍など取扱い件数

単位:件

区 分	有 料			無 料		
	H29	H30	R1	H29	H30	R1
住 民 票 謄 抄 本	5,520	5,329	4,991	419	228	418
記 載 事 項 証 明	143	160	148	1	2	4
戸 籍 の 附 票	315	310	297	980	871	906
関 覧	80	223	339	7,610	3,695	11,472
小 計	6,058	6,022	5,775	9,010	4,796	12,800
印 鑑 登 録 証 明 書	4,599	4,111	3,692	77	17	19
身 分 証 明 書	211	127	112	0	0	0
そ の 他 証 明	114	223	260	63	9	22
小 計	4,924	4,461	4,064	140	26	41
計	10,982	10,483	9,839	9,150	4,822	12,841

戸 籍 謄 抄 本	3,011	2,743	2,754	995	926	992
除 籍 謄 抄 本	2,653	2,112	2,393	1,992	2,096	2,471
戸 籍 記 載 事 項 証 明	3	0	5	0	0	0
受 理 証 明	20	15	13	0	0	0
計	5,687	4,870	5,165	2,987	3,022	3,463

合 計	16,669	15,353	15,004	12,137	7,844	16,304
-----	--------	--------	--------	--------	-------	--------

【成果】 法令等に基づく届出の処理、証明発行を適正に行った。

②個人番号カード事務事業 4,074千円

通知カード及び個人番号カードの作成、発送等の関連事務を地方公共団体情報システム機構に委任するために要する経費(事務費交付金)

単位:枚

年 度	H29	H30	R1
個人番号カード交付枚数	149	138	322

【成果】 個人番号カードの交付、通知カードの再発行等の手続きについて、適正かつ円滑に行うことができた。専用窓口を開設し、申請補助を開始したことで、交付率を上げることができた。

款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 国民年金事務取扱費	494千円	494千円

①国民年金事務取扱事業 494千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理するとともに、相談窓口として制度説明、指導、助言を行い、納付率向上に努めた。

また、年金事務所との情報共有(年金加入状況、所得状況)により、年金加入者に不利益が生じることがないように必要な情報を提供するなど、サービス向上に努めた。

拠出年金被保険者数

単位:人

年度	H29	H30	R1
1号	1,628	1,555	1,480
3号	569	540	498
任意	25	25	15
合計	2,222	2,120	1,993

窓口事務受付件数

単位:件

区 分	H29	H30	R1
資格取得	193	139	164
種別変更	28	23	22
保険料減免	417	396	293
学生納付特例	110	122	76
年金裁定請求	18	5	8
未支給請求	48	38	53
その他	448	384	373
計	1,262	1,107	989

【成果】 国民年金加入者の年金相談、年金手続きを行い、適正なサービスの提供を行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	381,423千円	376,781千円
<p>①社会を明るくする運動事業 79千円</p> <p>全国統一の「社会を明るくする運動」月間(7月)に保護司等による啓発、小・中学生の標語の展示などを行った。</p> <p>【成果】 街頭啓発活動2回、標語の放送、展示で町民に啓発した。</p>					
<p>②戦没者追悼式事業 140千円</p> <p>諸英霊に対し、町主催の追悼式を行った。</p> <p>期 日 平成31年4月25日</p> <p>場 所 北条農村環境改善センター</p> <p>参列者数 遺族61名、来賓24名</p> <p>【成果】 遺族、来賓とともに戦没者の慰霊を行い、世界平和を祈念した。</p>					
<p>③民生児童委員協議会事業 2,603千円</p> <p>地域福祉向上のため活動する民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動費として補助金を交付する。また、中部協議会へ負担金を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町協議会(委員45人)への活動補助 2,445千円 ・ 中部民生委員協議会負担金 158千円 <p>【成果】 独居高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発、研修会参加による資質向上に努め、地域福祉を進めた。また、鳥取県の指定を受け、テーマに沿った活動を展開できた。</p>					
<p>④社会福祉費補助金事業 140千円</p> <p>町遺族会(3地区)の活動に対して、補助金を交付した。</p> <p>【成果】 各遺族会の活性化を進めた。</p>					
<p>⑤社会福祉協議会補助金事業 15,379千円</p> <p>地域福祉事業の推進のため、町社会福祉協議会に補助金を交付した。また、県社協として行う事業に負担金を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町社会福祉協議会補助金 15,312千円 ・ 鳥取県社会福祉協議会負担金 67千円 <p>【成果】 社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、配食サービス事業の補助等で福祉サービスの充実を進めた。</p>					
<p>⑥介護保険特別会計繰出金事業 215,713千円</p> <p>介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護給付費町負担分 184,245千円 ・ 地域支援(介護予防)事業分 5,380千円 ・ 地域支援(包括的支援・任意)事業分 3,371千円 ・ 一般事務費分 14,204千円 ・ 低所得者軽減分 8,513千円 <p>【成果】 介護保険特別会計の健全な運営を図った。</p>					



款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	3 老人福祉費	22,057千円	21,681千円

①老人福祉事業 534千円

米寿(数え年の88歳)、金婚(結婚50年)の方に祝詞、記念品を贈り祝意を表した。

	H29	H30	R1
米寿	114 人	120 人	122 人
金婚	36 組	42 組	40 組

【成果】 町の幹部が直接長寿のお祝いを述べ、ご労苦をねぎらった。

②敬老会事業 2,477千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき 1,000円の補助を行った。

	H29	H30	R1
自治会数	53	53	53
対象者数	2,433 人	2,466 人	2,477 人

【成果】 自治会単位で実施することにより、自治会の多世代との交流が図られ、敬老や支え合いの気持ちにつながっている。

③老人保護措置事業 10,269千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	H29	H30	R1
入所者数	4 人	6 人	7 人

【成果】 入所により高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができている。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,500千円

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、北栄町シルバー人材センターの事業安定のため運営補助を行った。

	H29	H30	R1
会員数	170 人	170 人	172 人

【成果】 高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業 2,140千円

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動・運営に対し補助を行い、高齢者が地域で役割を果たすなど社会参加を促進する。

会員数	補助金額	H29	H30	R1
50人～	60,000円	5	5	5
40人～49人	50,000円	5	2	2
30人～39人	40,000円	10	9	7
20人～29人	30,000円	2	4	6
10人～19人	20,000円	1	1	1
合 計	クラブ数	23	21	21
	補助金額	1,030 千円	900 千円	880 千円

・老人クラブ連合会補助 1,260千円

【成果】 仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動を促した。

⑥成年後見支援センター事業 628千円

中部圏域で成年後見ネットワーク倉吉に委託してセンターを設置し、困難事例の専門職による相談、申し立て事務、制度の広報、啓発を進めた。

		H29	H30	R1	(延べ件数)
後見委任数		3件	4件	4件	
相談 件数	高齢者	7件	9件	0件	
	障がい者	4件	4件	4件	

【成果】 困難事例が増える中、中部市町が協力して法人後見ができる体制が整った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 介護予防生活支援費	74,470千円	71,395千円

①タクシー利用料助成事業 8,381千円

高齢者の方や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成し、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

年度	H29	H30	R1
登録者数	503 人	602 人	598 人
延利用件数	7,996 件	10,463 件	11,786 件
助成額	5,327 千円	6,894 千円	7,988 千円

【成果】 移動手段を持たない高齢者等へタクシーの利用助成を行うことにより、日常生活の移動支援につながった。

②在宅通院支援事業 10,253千円

要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関利用困難な場合にタクシー利用による病院送迎への助成を行い、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	H29	H30	R1
登録者数	196 人	221 人	203 人
延利用人数	5,047 人	4,941 人	5,702 人
助成額	9,626 千円	9,067 千円	10,173 千円

【成果】 タクシーを利用した通院送迎を行い利用者の通院に利便を図り、身体状況の悪化等の防止につながった。

③介護予防地域支え合い事業 5,302千円

- ・いきいきサロン 4,801千円

高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施し、介護予防につなげる。

	H29	H30	R1
自治会数	43	45	45
開催回数	906 回	964 回	1,073 回
参加延べ人数	11,919 人	12,432 人	13,507 人

- ・災害時要支援者台帳管理システム事業 501千円
災害時要支援者として登録する対象者のデータ管理のためシステムの保守管理を委託する。
また、支え愛マップ作成のためシステムから地図を作成する。

地域包括支援センター相談件数

	H29	H30	R1
一般相談	1,435 件	1,368 件	1,522 件
地域支援	1,033 件	1,146 件	752 件
予防給付	1,533 件	1,182 件	1,725 件
計	4,001 件	3,696 件	3,999 件

【成果】 介護に関する相談に応じ、自立支援の意識、高齢者の閉じこもり防止等による介護予防、災害時だけでなく平時の見守りによる地域支え愛の必要性を啓発した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 障害者福祉費	480,189千円	467,217千円

①障がい者福祉関係負担補助金事業 834千円

町身体障がい者福祉協会などの活動に対する補助を行い、障がい者福祉の増進を図る。

- ・ 町身体障がい者福祉協会補助金 385千円
- ・ 第53回全国ろうあ者体育大会In鳥取・島根負担金 200千円
- ・ 町心身障がい児者育成会(ひまわり会)補助金 180千円
- ・ 町精神障がい者家族会補助金 20千円
- ・ 東伯郡身体障害者福祉協会負担金 49千円

【成果】 障がい者が団体の活動に参加し交流することで、更生意欲、自立支援、社会参加の意欲を高めた。

②中度心身障がい者医療扶助事業 4,178千円

中度の心身障がい者(身体障害者手帳3、4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者)で町民税非課税者に対し医療費を助成することにより、特別医療助成制度対象外の障がい者の医療費負担の軽減を図る。

	H29	H30	R1
件数	342 件	298 件	305 件
金額	4,053 千円	3,890 千円	4,178 千円

【成果】 町費による医療費負担で、中度障がい者の健康保持、負担軽減を図った。

③障害支援区分認定事務事業 762千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	H29	H30	R1
認定件数	32 件	49 件	51 件

【成果】 認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズに障害福祉サービス利用につながった。

④自立支援給付事業 389,785千円

障害者総合支援法に基づき、障がい児・者の障害福祉サービス利用の支援を行った。

【主な経費】

	H29		H30		R1	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
居宅介護、重度訪問介護等	239	15,739	258	11,350	229	8,784
上記以外の介護給付費等	2,194	348,370	2,227	350,740	2,269	355,988
サービス利用計画作成費	322	4,917	376	5,241	409	6,042
補装具費	31	2,989	28	2,091	28	2,897

【成果】 心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活につながった。

⑤自立支援医療給付事業 16,607千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付し、身体等の障がいの軽減、機能回復を図る。(更生医療、育成医療、療養介護医療)

	H29		H30		R1	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	863	7,548	956	11,434	1,039	12,024
育成医療	23	672	13	145	25	935
療養介護医療	79	5,780	59	4,042	44	2,757

【成果】 医療費助成により、自立した日常生活、社会生活につなげた。

⑥障がい者地域生活支援事業 45,972千円

【主な事業】

- ・相談支援事業 2,144千円
障がい者地域生活支援センターを設置し、障がいのある人やその家族の相談支援を行う。

	H29	H30	R1
町障がい者地域生活支援センター	854 件	787 件	472 件
障がい者虐待相談数(実数)	2 件	5 件	2 件
中部障害者地域生活支援センター(仁厚会へ委託)	262 件	590 件	445 件

 (延べ件数)

- ・中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局運営事業 856千円
相談支援事業を効果的に実施するため、圏域自立支援協議会事務局に専門職を配置。
- ・意思疎通支援事業 4,362千円
聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行う。
委託先:公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	H29	H30	R1
延べ派遣依頼件数	168 件	276 件	193 件

- ・日常生活用具給付等事業 3,930千円
障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行う。

	H29	H30	R1
延べ利用件数	284 件	348 件	340 件

- ・移動支援事業 5,445千円
屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行う。

	H29	H30	R1
延べ利用者数	141 人	161 人	135 人

- ・日中一時支援事業 13,575千円
見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保する。

	H29	H30	R1
延べ利用者数	225 人	283 人	264 人

- ・地域活動支援センター事業 13,569千円
見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供する。

	H29	H30	R1
延べ利用者数	197 人	168 人	147 人

【成果】 障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加を促した。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 1,031千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行う。

【成果】 グループホーム等の利用者が安心安全な生活を送ることができた。

⑧障がい者相談員設置事業

75千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作る。

【成果】 身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制が出来ている。

⑨特別障害者手当等給付事業

5,412千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し、精神的・物理的な負担を軽減するため、手当等を給付する。

年 度	H29	H30	R1
受給者数(延べ)	281 人	276 人	254 人

【成果】 在宅で生活する重度の障がい児・者の負担を軽減した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費	16,808千円	15,865千円

①生活困窮者自立相談支援事業

6,526千円

・ 自立相談支援事業

困窮者の自立相談支援事業の適正実施に係る、相談支援員、就労支援員など職員配置費用

年 度	H29	H30	R1
新規相談者数	24人	23人	23人

地域づくりモデル事業では、延べ2名が雇用され、収入を得るだけでなく、社会参加促進や生活習慣の改善がなされた。

【成果】 相談支援や就労支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進が図られた。

②就労準備支援事業

7,019千円

・ 家計相談支援事業

180千円

債務整理や家計収支の適正化を支援し、生活の再建を図る家計相談支援事業に係る委託料

年 度	H29	H30	R1
延利用者数	20人	17人	12人

・ 学習支援事業

266千円

生活困窮世帯の中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業に係る委託料等

年 度	H29	H30	R1
延利用者数	881人	669人	622人

・ 就労準備支援事業

2,713千円

一般就労困難者に対して、基礎能力形成を目的とした支援付きの就労訓練事業に係る委託料

年 度	H29	H30	R1
延利用者数	92人	83人	89人

③地域共生社会包括的支援体制構築事業

685千円

・ 包括的支援体制構築事業

685千円

横断的な相談体制の構築に向け、関係者研修及び複合的課題のある個別ケースの検討会の開催費用

年 度	H29	H30	R1
ケース検討会数	—	6	40

【成果】 各種任意事業の実施を通じて生活困窮者の自立促進が図られた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額												
		目	11 プレミアム付商品券事業費	88,643千円	24,870千円												
<p>①プレミアム付商品券事務事業 5,507千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 217千円 ・商品券等印刷費 668千円 ・通信運搬費(申請書発送など) 738千円 ・システム改修委託料 1,983千円 ・商品券加盟店募集・換金業務委託料 200千円 																	
<p>②プレミアム付商品券助成事業 19,363千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券交付金(商品券加盟店への換金) 19,363千円 																	
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">延購入者数(9/26~3/31)</td> </tr> <tr> <td>住民税非課税者</td> <td>771人</td> </tr> <tr> <td>子育て世帯</td> <td>138人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>909人</td> </tr> </table>						延購入者数(9/26~3/31)		住民税非課税者	771人	子育て世帯	138人	合計	909人				
延購入者数(9/26~3/31)																	
住民税非課税者	771人																
子育て世帯	138人																
合計	909人																
<table border="1"> <tr> <td>販売金額 A @4,000円</td> <td>換金見込額 B A×5,000/4,000円</td> <td>換金済額 C</td> <td>換金率 C/B</td> </tr> <tr> <td>15,568,000円</td> <td>19,460,000円</td> <td>19,362,500円</td> <td>99.5%</td> </tr> </table>						販売金額 A @4,000円	換金見込額 B A×5,000/4,000円	換金済額 C	換金率 C/B	15,568,000円	19,460,000円	19,362,500円	99.5%				
販売金額 A @4,000円	換金見込額 B A×5,000/4,000円	換金済額 C	換金率 C/B														
15,568,000円	19,460,000円	19,362,500円	99.5%														
<p>【成果】 住民税非課税者、3歳未満児のいる子育て世帯を対象にプレミアム商品券を配布することにより、消費税増税による負担軽減を図った。</p>																	
款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額												
		目	4 母子父子福祉費	27,456千円	24,616千円												
<p>①母子父子福祉事業 32千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の小中入学支度金 30千円 ひとり親で所得税非課税世帯に対し入学支度金を給付 10,000円×3人 ・災害遺児手当 2千円 義務教育修了前の児童のある養育者が、事故等により死亡または障がいの状態になった住民税非課税世帯の場合、児童一人当たり月額2,000円を支給 <p>【成果】 災害遺児やひとり親世帯の児童の健全育成、経済的な支援を行った。</p>																	
<p>②母子福祉事業 24,584千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子生活支援施設措置委託料 18,279千円 配偶者がいないまたはこれに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。 ・ひとり親家庭学習支援事業 1,684千円 ひとり親世帯の中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業に係る委託料(生活困窮者自立支援事業における学習支援事業と対象者により費用を按分) ・母子寡婦福祉資金の貸付 1,500千円 要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円(無利子)の貸付を行った。 																	
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>借入件数</td> <td>6 件</td> <td>5 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>借入金総額</td> <td>1,100 千円</td> <td>930 千円</td> <td>900 千円</td> </tr> </table>							H29	H30	R1	借入件数	6 件	5 件	5 件	借入金総額	1,100 千円	930 千円	900 千円
	H29	H30	R1														
借入件数	6 件	5 件	5 件														
借入金総額	1,100 千円	930 千円	900 千円														
<p>【成果】 母子寡婦貸付や、施設に保護し就労、子育て支援等の指導をし自立生活を促した。</p>																	

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	6 児童手当費	232,017千円	224,219千円

①児童手当等給付事業 224,170千円

次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。

区分		一人当たり月額
0歳～3歳未満		15,000 円
3歳以上小学校 校修了前	第1子、第2子	10,000 円
	第3子以降	15,000 円
中学生		10,000 円
所得制限対象		5,000 円

児童手当対象児童数 延べ 20,046人

【成果】 児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	7 児童扶養手当費	87,678千円	87,167千円

①児童扶養手当給付事業 87,120千円

ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭の生活の安定と自立を助けるため手当を支給した。

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 42,910円	月額 42,900円～10,120円
2人目	月額 10,140円	月額 10,130円～ 5,070円
3人目以降	月額 6,080円	月額 6,080円～3,040円

実支給家庭数	H29	H30	R1
母子家庭数	127 世帯	117 世帯	116 世帯
父子家庭数	18 世帯	12 世帯	12 世帯

【成果】 受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	8 児童措置費	33,929千円	31,325千円

①障害児通所給付事業 31,325千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

【主な経費】

	H29		H30		R1	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	68	2,846	78	3,531	64	1,795
医療型児童発達支援	26	176	32	358	34	425
放課後等デイサービス	303	22,400	354	19,087	468	22,292
保育所等訪問支援	8	78	10	99	6	61
相談支援	68	1,134	99	1,150	101	1,759

【成果】 発達障がいを含めた障がい児・者に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	9 子育て世帯臨時特例給付費	767千円	497千円

①未婚の児童扶養手当受給者特別給付金事業 497千円

消費税率の引き上げによる臨時・特例の措置として、児童扶養手当の受給者のうち、未婚のひとり親に対して給付金を支給した。

・給付金対象者 5人×17,500円=87,500円

【成果】 受給者世帯の消費税増税による負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	1 生活保護総務費	72,398千円	71,377千円

①生活保護総務事業 5,163千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理する。

生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2名

- ・嘱託医報酬 284千円
- ・生活保護システム保守委託料 1,358千円
- ・被保護者夏季見舞金 265千円
- ・レセプト管理システム委託料 1,099千円 千円

年度	H29	H30	R1
総務事業費	7,475千円	12,587千円	5,163千円

【成果】 生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	2 生活保護扶助費	105,653千円	104,308千円

①生活保護扶助事業 104,308千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

- ・生活扶助 36,666千円
- ・医療扶助 59,638千円
- ・介護扶助 1,951千円

年度	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末
受給者数	76人	70人	69人	63人	66人
世帯数	59世帯	57世帯	54世帯	51世帯	55世帯
扶助費	97,988千円	140,795千円	128,602千円	94,665千円	98,255千円

年度	H27	H28	H29	H30	R1	
相談数	31件	23件	19件	22件	22件	
申請数	12件	6件	9件	11件	13件	
結果	決定	11件	5件	8件	9件	10件
	却下	1件	1件	1件	2件	2件
	取下	0件	0件	0件	0件	1件
廃止	7件	7件	12件	12件	7件	
内訳	就労	1件	0件	0件	2件	0件
	死亡	2件	2件	8件	6件	2件
	その他	4件	5件	4件	4件	5件

【成果】 生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	1 社会福祉総務費	381,423千円	376,781千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業 126,276千円

- ・保険基盤安定分 98,065千円
- ・保険財政安定化支援分 6,314千円
- ・追加健診分 275千円
- ・出産育児一時金分 3,608千円
- ・事務費、職員給与分 18,014千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	2 特別医療費助成事業費	105,095千円	102,322千円

①特別医療費助成事業 98,721千円

対象者にかかる医療費を助成した。

- ・特別医療費審査手数料 70,367件 2,407千円
- ・特別医療費助成費 35,025件 96,301千円

金額:千円

	H29年度			H30年度			R1年度		
	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額
身障1,2級	259	6,794	46,269	245	6,706	43,681	239	6,499	41,033
重度知的障がい者	37	1,021	2,163	40	964	3,279	40	1,054	1,821
精神障がい者	9	201	2,541	9	238	3,511	7	244	3,471
特定疾病	2	15	199	1	14	196	2	10	184
ひとり親家庭	71	829	2,395	68	827	1,608	64	810	1,972
小児	2,486	26,101	42,839	2,434	25,668	43,747	2,418	26,408	47,820
合計	2,864	34,961	96,406	2,797	34,417	96,022	2,770	35,025	96,301

【成果】

- ・小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

②養育医療費助成事業 1,979千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

(単位:件、千円)

	H29年度		H30年度		R1年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	5	1,489	1	123	4	1,712

【成果】

対象者の医療費負担を軽減することができた。

③特定不妊治療費助成事業 1,622千円

	H29年度	H30年度	R1年度
特定不妊治療	27件 (人数16人)	14件 (人数8人)	12件 (人数 5人)
人工授精		3件 (人数 3人)	6件 (人数 6人)
金額(千円)	3,231	1,421	1,622

【成果】 一人175,000円/回を上限に助成を行い、対象者の負担を軽減することができた。年度助成の回数制限をなくしたことで、治療が受けやすくなり、負担軽減につながった。H30年度より人工授精を助成対象とすることで、早期治療をうながすとともに費用負担の軽減につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	1 保健衛生総務費	14,423千円	13,812千円

①保健衛生総務事業 6,460千円

保健事業の推進のための各種事業を行った。

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催 2回
- ・公用車の燃料費及び管理費

【成果】健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。

②健康管理システム委託事業 7,347千円

健康かるてシステムを活用し各種健診・予防接種の通知や、健診結果・予防接種の管理を実施し、庁舎内での情報共有を図った。

【成果】健診結果、予防接種履歴等をシステムで一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等に役立った。

③献血事業 5千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

区分	H29年度		H30年度		R1年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	171人	147人	166人	132人	165人	132人
実施回数	3日(延べ12会場)		3日(延べ11会場)		3日(延べ10会場)	

【成果】巡回可能会場数が減少する中、献血協力者の確保に努めた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	2 健康増進センター費	4,207千円	3,598千円

①健康増進センター管理事業 3,598千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。
(利用状況)

区分	利用者数		
	H29年度	H30年度	R1年度
健診棟	4,034人	4,692人	4,114人
調理室	817人	1,401人	1,006人
会議室	1,307人	3,302人	2,979人

※トレーニング室は、北栄子育て支援センターが通年利用

(利用内容)

区分	利用回数		
	H29年度	H30年度	R1年度
母子保健事業・成人健診事業	82回	82回	84回
子育て支援センター	通年利用	通年利用	通年利用
その他各種会議等	85回	111回	135回

【成果】施設の維持管理を行い、保健事業や子育て事業の場として活用した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	3 感染症等予防費	39,556千円	39,029千円

①感染症等予防事業 39,029千円

・定期予防接種

予防接種法に基づき、乳幼児・児童・生徒及び65歳以上の高齢者等に対する定期予防接種を実施し、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数		
	H29年度	H30年度	R1年度
四種混合(DTP-IPV)	401人	384人	404人
二種混合(DT)	148人	105人	95人
ポリオ(IPV)	0人	0人	0人
麻しん風しん混合	235人	220人	229人
日本脳炎	570人	667人	574人
BCG	86人	105人	91人
ヒブワクチン	403人	370人	391人
小児肺炎球菌ワクチン	402人	368人	395人
子宮頸がん予防ワクチン	1人	3人	5人
水痘	199人	174人	193人
B型肝炎 (H28.10～)	287人	280人	286人
高齢者インフルエンザ	2,801人	2,955人	3,012人
高齢者肺炎球菌	455人	485人	185人
風しん(第5期) (H31.4～)	-	-	155人 38人

※子宮頸がん予防ワクチンは平成25年6月から積極的勧奨を控えることとなっている。

※風しん(第5期)は左が抗体検査、右が予防接種の人数。

・任意予防接種 費用助成

なるべく受けておきたい予防接種について、任意接種に係る費用の一部助成を行い、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数		
	H29年度	H30年度	R1年度
乳幼児インフルエンザ	757人	785人	734人
小学生インフルエンザ(H27.10～)	550人	608人	652人
中学生インフルエンザ(H27.10～)	162人	172人	172人
ロタウイルス (H27.4～)	118人	183人	174人
おたふくかぜ	99人	84人	112人
風しん(大人)	12人	38人	23人

【成果】 医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	4 母子衛生費	13,909千円	13,405千円

①母子衛生事業 13,405千円

・乳幼児健康診査事業

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談(医師・心理士・就学に関する)を行った。

年度	項目	実施回数	対象者	受診者	要精密	追跡観察	要治療
H29	乳児	6回	91人	88人	2人	11人	0人
	1歳6か月児	6回	105人	100人	4人	10人	0人
	3歳児	6回	128人	123人	22人	41人	1人
	5歳児	5回	44人	41人	8人	7人	0人
H30	乳児	6回	103人	103人	2人	3人	0人
	1歳6か月児	6回	93人	93人	2人	12人	0人
	3歳児	6回	121人	121人	15人	44人	2人
	5歳児	4回	25人	25人	9人	5人	0人
R1	乳児	6回	94人	94人	4人	1人	0人
	1歳6か月児	5回	91人	91人	2人	7人	0人
	3歳児	6回	100人	100人	10人	13人	1人
	5歳児	4回	27人	27人	13人	4人	0人

・妊婦乳児一般健康診査事業

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項目	H29年度	H30年度	R1年度
妊婦一般健康診査	1,330件	1,164件	1,202件
乳児一般健康診査	185件	199件	167件

※延べ件数

・乳幼児健康相談及び健康教室事業

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	H29年度			H30年度			R1年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	6回	101人	37人	6回	94人	50人	6回	100人	38人
1歳児教室	4回	106人	31人	6回	117人	58人	6回	88人	45人
2歳児教室	6回	112人	80人	6回	106人	79人	5回	81人	53人
2歳6か月児教室	4回	119人	72人	4回	108人	68人	4回	93人	58人

・訪問指導

	H29年度	H30年度	R1年度
妊産婦	120人	145人	125人
乳児	98人	112人	101人

※延べ人数

・歯科対策事業

(1歳6か月児、3歳児健診を除く)

項目		H29年度			H30年度			R1年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	10回	231人	152人	10回	214人	147人	9回	174人	111人
	3歳以上	6回	360人	320人	6回	368人	312人	6回	342人	318人
フッ化物洗口	年中・年長	5回	212人	197人	5回	204人	197人	5回	206人	196人
歯磨き指導(夏・冬)		12回	720人	658人	12回	736人	687人	12回	686人	668人

※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。

平成29年度から全園で実施。

※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。

※フッ化物洗口は町立4園、私立1園の4・5歳児を対象に実施した実人数。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診事業

	対象者	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	94人	49人
ふしめ歯科検診	40.45.50.55 60.65.70歳	1,494人	107人

・保育所・こども園食育事業

各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施した。子どもが主役のクッキング活動や手洗いチェックなど、体験型食育を実施した。



【成果】

・こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。

・食育事業では、子どもたちが食材に触れたり、調理による変化を観察したりと五感を使って体験することができ、食に対する関心が高まった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	5 健康支援費	45,573千円	44,078千円

①健康診査等事業 42,185千円

・基本健康診査、特定健診

病気の早期発見、早期治療、また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的に実施した。令和元年度より、基本健診、後期高齢者健診は医療機関委託を開始した。

健診区分	受診者数			
	H29年度	H30年度	R1年度	
基本健康診査	163人	155人	154人	
特定健診(国保)	1,270人	1,378人	1,291人	
内訳	集団健診	850人	909人	796人
	個別健診	267人	322人	391人
	人間ドック	153人	117人	104人
特定健診(国保外)	91人	87人	92人	
後期高齢者健診	406人	389人	470人	

*費用は国保会計で支出

*支出なし

・各種がん検診

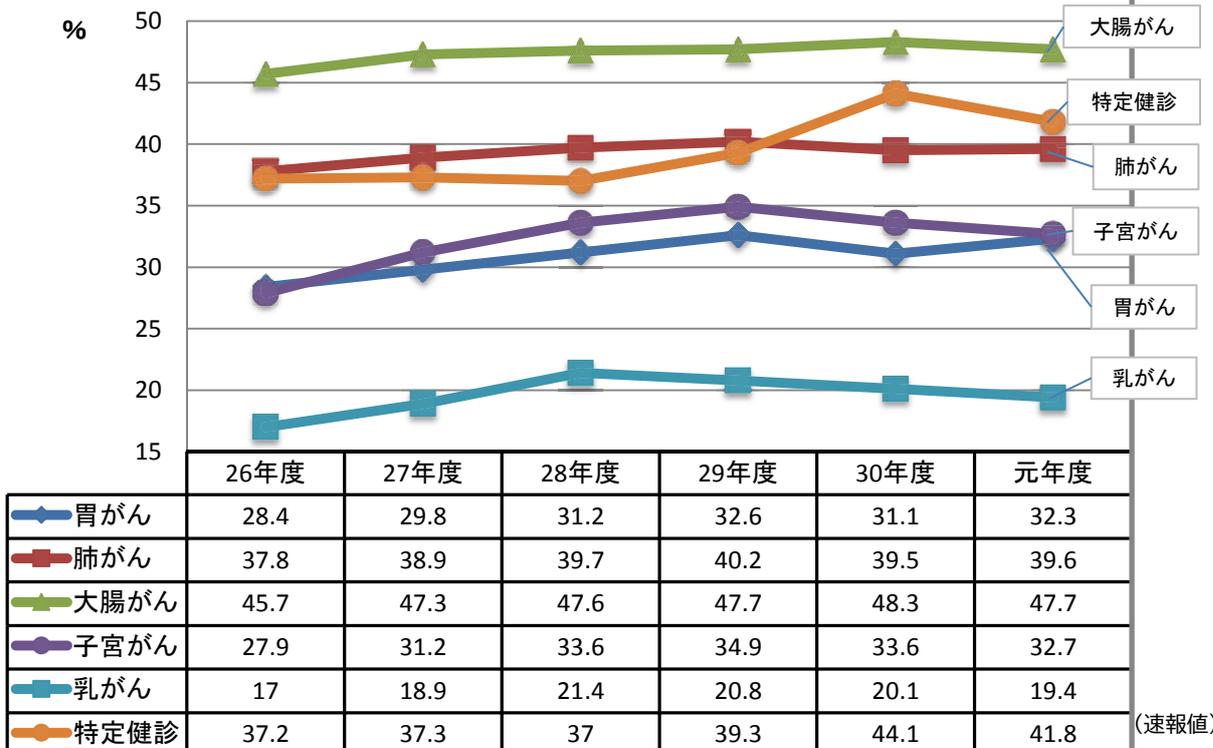
がんは、総死亡の3割を占めており全がん死亡率は現在も増加傾向にある。がん検診により早期発見し、早期治療を行うことでがん死亡を減少させるために実施した。

※精密受診者はR2年6月30日現在

年度	検診区分	受診者数				うち要精密 ()は受診者	精密受診 率(%)
		集団検診	人間ドック	個別検診	合計		
H29	胃がん検診	610人	329人	858人	1,797人	79人(67)	84.8
	結核・肺がん検診	1,749人	331人	137人	2,217人	32人(23)	71.9
	喀痰検査	18人	5人	10人	33人	0人	
	前立腺がん検診	218人	126人		344人	13人(10)	76.9
	肝炎ウイルス検査	49人	331人	64人	444人	2人(2)	100.0
	子宮がん検診	828人		409人	1,237人	4人(4)	100.0
	乳がん検診	559人		119人	678人	34人(33)	97.1
	大腸がん検診	2,547人	331人		2,878人	200人(141)	70.5
H30	胃がん検診	550人	265人	903人	1,718人	69人(58)	84.1
	結核・肺がん検診	1,496人	266人	291人	1,981人	62人(53)	85.5
	喀痰検査	12人	4人	13人	29人	0人	
	前立腺がん検診	206人	85人		291人	18人(14)	77.7
	肝炎ウイルス検査	122人	265人	72人	459人	5人(2)	40.0
	子宮がん検診	773人		420人	1,193人	8人(6)	75.0
	乳がん検診	533人		122人	655人	49人(48)	98.0
	大腸がん検診	2,655人	263人		2,918人	194人(144)	74.2

年度	検診区分	受診者数				必要精密 ()は受診者	精密受診 率(%)
		集団検診	人間ドック	個別検診	合計		
R1	胃がん検診	537人	266人	979人	1,782人	54人(49)	90.7
	結核肺がん検診	1,620人	266人	296人	2,182人	93人(71)	76.3
	喀痰検査	9人	3人	14人	26人	0人	
	前立腺がん検診	196人	120人		316人	15人(9)	60.0
	肝炎ウイルス検査	50人	72人	77人	199人	1人(1)	100.0
	子宮がん検診	759人		400人	1,159人	7人(7)	100.0
	乳がん検診	515人		116人	631人	40人(38)	95.0
	大腸がん検診	2,777人	267人		3,044人	233人(83)	78.5

北栄町がん検診・特定健診受診率経年推移



人間ドック委託 対象年齢 40歳、45歳、50歳、55歳、61歳、65歳)

受診者	H29年度	H30年度	R1年度
男性	139人	110人	122人
女性	192人	156人	145人
計	331人	266人	267人

※H29年度から対象年齢に65歳を追加。
 ※H30年度から中部医師会に委託開始。
 中部26医療機関へ検診場所を拡大。

訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	H29年度	H30年度	R1年度
特定保健指導	68人	80人	51人
健診事後指導	62人	33人	14人

(集人数)

【成果】 各がん検診を実施し、胃肺大腸子宮乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。

②健康支援事業 1,470千円

食生活改善推進員に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項目	対象者	H29年度		H30年度		R1年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	8回	169人	8回	177人	6回	187人
伝達講習会	自治会住民	20回	301人	19回	286人	19回	290人
食生活改善推進員養成講座				6回	111人		

・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	H29年度		H30年度		R1年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	6回	620人	8回	700人	6回	432人
いきいき健康講座(各自治会)	40回	843人	44回	720人	41回	847人
その他の健康教室(出前講座等)	6回	61人	6回	113人	13回	211人
※健診事後教室	9回	386人	7回	150人	7回	83人
生活習慣病予防講演会			(血圧)	47人	(骨)	52人
健康フェスタ	(運動)	270人				

※健診事後教室:「食べ方講座」「運動教室」

・小学校食育事業『弁当の日』の取り組み

小学校、栄養教諭、食生活改善推進員と連携して実施した。

小学6年生が弁当の日に取り組み、家庭科の授業を利用して小学5年生が弁当作りを行った。

・健康ポイントラリー事業（健康マイレージ）

健(検)診事業(赤シール)と、健康づくり事業(青シール)の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方(抽選で150名)に、健康に関する賞品を贈呈した。

事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	H29年度	H30年度	R1年度
		377人	469人

※応募条件変更あり

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合85.7%（応募時アンケートより）

※いきいき健康講座の参加者増につながった。

健康講座参加者 H30: 720人 ⇒ R1:847人

・ヘルスアップ教室（糖尿病性腎症重症化予防）

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会とした。

参加者30人、延べ60人(医師講演会23人、食事教室11人、運動教室14人、血液検査12人)

※採血(血糖値,腎機能)受検者12人中 維持・改善12人

- ・まちの保健室

気軽に立ち寄り、健康チェックや健康相談をすることで生活習慣の振り返りをする機会として、いきいき健康講座のメニューに入れて実施。鳥取看護大学に委託し、町と共同開催。

大島、六尾、みどり西団地自治会で実施。参加者計82人
生活習慣病予防講演会と同時開催。参加者52人

【成果】

- ・26自治会(延べ39自治会)で伝達講習会を実施し、望ましい食習慣の啓発の機会となった。
- ・295家庭でみそ汁等の塩分測定を実施し、減塩の意識啓発の機会となった。
- ・他の組織・団体と連携した食生活推進活動を実施し、食育の普及を図った。
(小・中学校、学校栄養職員、公民館、社協、健康サポーター他)

・いきいき健康講座は、メニューを増やしたことで開催する自治会が増え、健康への意識向上につながったと考える。

・骨粗しょう症講演会はまちの保健室と合わせて実施し、骨量測定後、講演会を聞く流れとしたことでより自分自身の生活習慣を振り返り、実践につなげる機会となった。また、試食は食生活改善推進員と連携して実施し、家との味付けの比較や減塩の工夫を体験する機会となった。

・運動教室終了後、北栄スポーツクラブの運動教室に参加するなど自主活動で運動継続できた。

・家庭科での弁当作りを同日公開参観日に実施し、保護者に参観してもらうことで家庭での食育啓発につながった。



③生活習慣病予防事業

408千円

- ・子どものよい生活習慣づくり事業

子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生希望者に脂質検査と生活習慣アンケートを行い、親子を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。大栄小は町独自で、北条小は授業参観にあわせて実施し、喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意など、生活習慣病予防について学んだ。

H29年度			H30年度			R1年度		
対象者	受検者	受検率	対象者	受検者	受検率	対象者	受検者	受検率
126人	35人	27.8%	134人	41人	30.6%	121人	39人	32.2%

- ・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌事業

中学3年生を対象に、将来に向けて胃がんを予防する目的で行った。

項目	H29年度	H30年度	R1年度
一次検査受診率	78.6 %	83.7 %	80.6 %
真の陽性率	6.1 %	3.3 %	4.8 %

【成果】 児童だけでなく、保護者にとってもよい生活習慣づくりのきっかけになった。

④健康づくり人材育成事業

15千円

健康サポーターは、運動教室でレクリエーションを担当するなど自主的に活動を続けている。また、自治会や事業所を対象に各1回ずつ各種団体と連携を図りながら出前健康講座を企画、運営した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 後期高齢者医療対策費	240,436千円	239,619千円
		①後期高齢者医療対策事業		198,220千円	
		後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分		186,059千円	
		後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分		12,162千円	
		【成果】			
		後期高齢者医療に関する給付及び事務を広域連合で行うことにより効率的な運営となっている。			
		②後期高齢者重複・頻回受診者訪問指導事業		122千円	
		【成果】			
		医療費適正化のため、重複受診者6名に対して訪問指導を行った。			
		③後期高齢者医療特別会計繰出金事業		41,278千円	
		・基盤安定分		39,326千円	
		・一般事務費等分		1,717千円	
		・健診個人負担分		235千円	
		【成果】 健診費用の個人負担分を町が負担し、後期高齢者の健診の個人負担を無料とした。			
		また、令和元年度から中部医師会と委託契約を締結したことから、受診件数が上昇した。			

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	43,171千円	39,886千円

①持続可能な発展を目指す自治体会議事業 516千円

- ・持続可能な発展を目指す自治体会議旅費等
- ・自治体相互視察 10/17、18 埼玉県横瀬町と小鹿野町を視察
ごみ処理施設の熱エネルギーを利用した発電設備、官民連携プラットフォーム「よこらぼ」の取組み、旧中学校施設の今後の活用、横瀬小学校の高断熱改築計画等について視察しました。

【成果】 人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が、地域資源を活かしたエネルギー分野の取組みを通して、経済好循環に向けたモデル設計と人材育成を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	7 環境衛生費	17,116千円	15,589千円

①環境衛生事業 3,510千円

- ・ほくえい環境バスツアーの開催(8/7)
ほうきりサイクルセンター等の見学
- ・環境学習会

	H29	H30	R1
開催数	1小学校	1小学校 2自治会	1小学校 3自治会 1団体

- ・子どもエコクラブ活動支援補助金
(町内の保育所、こども園、小・中学校等)

	H29	H30	R1
活動人数	1,734人	1,645人	1,598人



環境バスツアーの様子(Kセンター)

- ・地球環境を考える自治体サミット参加

	H29	H30	R1
開催地	福岡県大木町	北海道本別町	福岡県みやま市
開催日	11/10,11	10/11,12	10/24,25

- ・環境首都創造フォーラム参加

	H29	H30	R1
開催地	奈良県奈良市	京都府京都市	京都府京都市
開催日	11/20,21	1/17,18	1/16,17

【成果】 環境基本計画に沿った環境衛生事業、環境教育を実施し、住民の環境意識の高揚が図られた。

②広域連合負担金(火葬)事業 7,068千円

斎場の管理運営に要した経費

- ・中部ふるさと斎場 6,497千円
- ・琴浦斎場(相互利用負担金) 571千円

【成果】 中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。

③猫避妊・去勢手術費補助金事業 289千円

補助金申請件数・金額 47件 289千円

【成果】 飼い主のいない猫のむやみな繁殖を防ぐことができた。

④犬登録等事業 89千円

狂犬病予防注射集団接種 12会場で実施

単位:頭

	H29	H30	R1
登録数	787	758	730

【成果】 犬の狂犬病予防注射事務を実施し、適正管理の啓発を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	8 環境保全費	21,818千円	19,729千円

①再生可能エネルギー導入事業 384千円 ※風のまちづくり事業充当384千円

木質バイオマスエネルギー活用推進協議会

- ・協議会開催 4回(6/10、12/10、2/12)
 - ・先進地視察(1/22)岡山県西粟倉村(燃料供給・地域熱供給)、智頭町(温水プール)
- 健康増進センター太陽光発電施設管理
- ・電力会社の出力制限に対応するためのインターネット接続

②省エネルギー普及啓発事業 169千円 ※風のまちづくり事業充当169千円

- ・子ども版環境家計簿「かんきょうチェックノート」配布(小学4年生)
配布 131人 提出 96人 (回収率 73.3%)
- ・断熱ワークショップを開催 参加者26人

【成果】 夏休みに小学4年生を対象に、子ども版環境家計簿「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギー実践の普及啓発ができた。また、妻波おためし住宅を会場に、実践式のDIY断熱ワークショップを行うことで、参加者に断熱の重要性と効果を体感してもらうとともに、会場となったおためし住宅の断熱化も図ることができた。



断熱ワークショップの様子

③創エネ設備等設置費補助金事業 4,827千円 ※風のまちづくり事業充当2,414千円

町内の住宅等に太陽光発電システム又創エネルギー設備等を設置する者に、設置費用の一部を補助した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	太陽熱	蓄電池
H29	10	46.93kW	0件	0件	2件
H30	14	63.39kW	4件	3件	3件
R1	12	59.30kW	0件	0件	8件

【成果】 太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助することで再エネ及び省エネ設備導入を推進した。

④電気自動車急速充電器管理事業 1,333千円 ※風のまちづくり事業充当1,247千円

青山剛昌ふるさと館駐車場、道の駅北条公園に設置している電気自動車急速充電器の管理

【成果】 青山剛昌ふるさと館、道の駅北条公園の電気自動車急速充電器を維持管理し、EV利用者の利便性を確保した。

- ⑤省エネ住宅リフォーム補助金事業 4,634千円 ※風のまちづくり事業充当4,634千円
平成26年度から実施していた住宅リフォーム資金助成事業(商工費)を、省エネ推進のための断熱改修などの省エネリフォームに特化し、改修費用の一部を補助した。

【実績】

	H29	H30	R1
申請件数(件)	46	27	23
補助対象経費(円)	28,947,687	21,017,621	19,523,150
補助金支給額(円)	9,312,000	5,109,000	4,634,000

※平成29年度については、住宅リフォーム資金助成事業の省エネ加算分

- 【成果】 住宅の断熱改修や省エネ設備の設置に係る費用の一部を助成することにより、快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めていくことができた。

- ⑥木質バイオマス導入事業 8,382千円

北栄町木質バイオマスボイラー導入事業化計画策定事業 8,382千円

- 【成果】 環境省の補助事業を活用して、北条B&G海洋センターへの木質バイオマスボイラー導入について、配置案や概算事業費の算出など具体化検討を行い、協議会委員の意見を伺いながら「北栄町木質バイオマスボイラー導入事業化計画」を策定した。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額
		目	1 塵芥処理費	115,105千円	113,235千円

- ①塵芥処理事業 740千円

- ・R2ごみ収集日程表作成 5,500部
- ・リサイクルステーション管理
- ・国坂浜土砂捨場管理

- ②一般廃棄物収集事業 33,777千円

ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。

《収集量》

(単位:t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
H29	3,481	143	206	49	105	20	29
H30	3,542	140	208	45	95	20	30
R1	3,315	131	209	59	92	25	29

- ③広域連合負担金(ごみ)事業 64,155千円

ほうきリサイクルセンター(ごみ処理施設)、クリーンランドほうき(最終処分場)の管理運営に要した経費

- ・ごみ処理費 43,214千円
- ・ごみ処理施設建設費 31千円
- ・最終処分場建設費 20,910千円

- ④再生資源収集委託事業 6,045千円

再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。

《収集量》

(単位:t)

	ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
H29	18	3	87	42	2	88	34
H30	20	3	79	42	1	87	32
R1	20	3	77	41	1	80	64

《廃食用油回収量実績》

	回収量(kg)
H29	11,906
H30	12,502
R1	11,986

⑤再生資源回収団体事業 742千円

再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。

実施団体数 75 団体

《回収量》

	古紙	缶	びん
H29	215 t	24 t	2,885本
H30	207 t	23 t	2,586本
R1	214 t	25 t	2,499本

《ごみの排出状況》

	総排出量 ①	うち再生資源 ②	リサイクル率 ②/①
H29	4,563 t	747 t	16.4%
H30	4,590 t	725 t	15.8%
R1	4,391 t	757 t	17.2%

⑥統一指定ごみ袋事業 5,330千円

町指定ごみ袋作成

大:485,000枚 (970箱)

小: 80,000枚 (160箱)

⑦海岸漂着物処理事業 2,258千円

海岸における漂着廃棄物を一掃するため、海岸沿岸自治会に清掃を依頼し、手数料を交付
実施自治会・・・16自治会

⑧不法投棄対策事業 188千円

不法投棄防止のため、パトロールや看板設置のほか自治会等の不法投棄物撤去の支援を
行った。

不法投棄防止啓発用看板作成 50枚

【成果】 ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの減量化・
再資源化を普及した。
地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとともに、環
境保全意識の高揚を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額
		目	2 し尿処理費	6,924千円	6,829千円

①広域連合負担金(し尿)事業 6,829千円

クリーンセンター(し尿処理施設)の管理運営に要する経費

【成果】 クリーンセンターの維持管理に寄与した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	1 町営住宅管理費	3,281千円	3,037千円

①町営住宅管理事業 3,037千円

3団地102戸を管理。

年度内の入居件数は10件、退去件数は8件で、3月末現在の入居率は88.2%となっている。

・町営住宅の入居状況(令和2年3月31日現在) 単位:戸

団地名	管理戸数	入居戸数
由良宿団地	42	41
六尾北団地	45	44
向山団地	15	5
町営住宅合計	102	90

※募集停止

【成果】 適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	2 由良宿団地建設費	239,737千円	239,727千円

①由良宿団地建替事業 239,727千円 (現年+繰越)

平成27年度から事業着手した由良宿団地の建替について、平成29年9月に第1期工事(1棟18戸)が、平成31年3月に第2期工事(1棟24戸)が完了し、令和元年10月から第3期工事(1棟18戸)に着手した。



第3期工事の安全祈願祭の様子

【成果】 地域住宅計画に基づく集約建替えの進捗を図り、良質な住環境の整備を行った。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	3 県営住宅費	688千円	270千円

①県営住宅団地管理事業 270千円

県から3団地22戸の管理委託を受けている。
年度内の入居件数は1件、退去件数は2件で、3月末現在の入居率は90.9%となっている。
・県営住宅の入居状況 (令和2年3月31日現在)

単位:戸

団地名	管理戸数	入居戸数
栄第1団地	8	7
栄第2団地	8	8
大野団地	6	5
県営住宅合計	22	20

【成果】 適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	4 中央団地用途廃止費	240千円	231千円

①中央団地用途廃止事業 231千円

平成29年3月31日に用途廃止した町営中央団地の売却にあたり、排水設備の修繕、所有権移転登記など必要な措置を行った。

【成果】 用途廃止後の売却を円滑に行うことができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	1 農業委員会費	46,141千円	44,777千円

①農業委員会総務事業 21,783千円

総会開催等の委員会事務を行う。

- (1) 現員 26人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 13人
- (2) 総会開催状況 総会12回

・農地法事務処理状況

処理件数 (件)

年度	H29	H30	R1
農地法第3条	25	10	33
農地法第4条	9	1	6
農地法第5条	16	19	17
農地法第3条の3	49	54	47
農地法第18条	56	50	75
非農地証明	5	7	9
2a未満転用	2	0	1
土地改良届	0	0	0
計	162	141	188

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定
- 農地法第4条 : 所有者による農地の転用
- 農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
- 農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出
- 農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約
- 非農地証明 : 非農地であることの承認
- 2a未満転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用
- 土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況

処理件数 (件)

年度	H29	H30	R1
利用権設定(筆)	707	976	1,137
うち解除条件付	14	12	41
所有権移転	11	4	15
計	718	980	1,152

(3) 委員会活動状況

- 農地委員会 利用状況調査研修会(1回)、法人営農状況調査1回(2法人)
- 農政委員会 青年農業者研修会2回、意見書提出1回
- 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



法人営農状況調査



第9回青年農業者研修会



菜種 創刊10周年記念号

(4) 農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	H29		H30		R1	
	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
軽微変更						
用途変更(農業用施設)	3	3,591	1	793	2	1,458
重要変更						
一般住宅	1	192	1	261		
住宅・事務所等	1	1,487			1	9,802
車庫兼倉庫	1	1,928			1	197
工場	1	1,996				
デイサービス施設	1	2,447			1	16,012
コンビニエンスストア			1	1,433	1	2,082
駐車場	1	243	3	562	2	2,036
太陽光発電施設	2	2,912	1	1,309		
墓地	3	225				
農用地区域への編入	1	14,708			1	65,731
土地利用見直しによる除外			1	12,771		
計	12	26,138	7	16,336	7	95,860
合計	15	29,729	8	17,129	9	97,318

軽微変更 : 用途変更等

重要変更 : 農用地区域からの除外(農地転用)等

【成果】 農地法、農業経営基盤強化促進法、農振法の趣旨に基づき、農地を守り活かすことができた。

②農地流動化推進事業助成金事業 4,351千円

認定農業者等の農地の賃借を助成金で支援し、経営規模の拡大と農地の流動化を図る。

・助成要件 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者 (2,000円/10a・年)

年度	H29	H30	R1
対象者(人)	41	32	41
うち家族経営協定締結者	14	13	16
対象面積(m ²)	719,924.03	650,144.92	432,413.06
うち家族経営協定締結者	107,904.06	129,540.90	124,863.00

・認定農業者以外 (1,000円/10a・年)

年度	H29	H30	R1
対象者(人)	71	60	40
うち家族経営協定締結者	5	4	3
対象面積(m ²)	272,872.00	275,787.40	265,325.64
うち家族経営協定締結者	37,116.00	16,806.00	16,496.00

【成果】 認定農業者等の経営規模の拡大、農地の流動化、及び、遊休農地の解消を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	2 農業経営基盤強化費	24千円	24千円

①農業経営基盤強化事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行う。

【成果】 国有農地の有効活用を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	3 農業者年金費	718千円	705千円

①農業者年金事業 705千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行う。

・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者 (人)

年度	H29	H30	R1
新農業者年金	49	44	47
うち新規加入者	4	3	7

受給待期者 (人)

年度	H29	H30	R1
旧農業者年金	24	20	18
新農業者年金	20	23	21

受給者 (人)

年度	H29	H30	R1
旧農業者年金	229	216	203
新農業者年金	18	22	28

【成果】 農業者に豊かで安定した老後の生活を提供できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	17 農地中間管理費	2,450千円	2,374千円

①農地中間管理事業 2,374千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図る。

・機構集積協力金交付事業

年度	H29		H30		R1	
協力金名	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
地域集積協力金	-	-	-	-	-	-
経営転換協力金	5	17,593.00	4	20,560.00	-	-
耕作者集積協力金	-	-	-	-	-	-

・中間管理事業による実績

年度	H29		H30		R1	
マッチング (中間管理権設定)	筆数	面積(m ²)	筆数	面積(m ²)	筆数	面積(m ²)
	203	310,644.00	316	383,010.00	212	380,922.00

【成果】 担い手への農地の集積を推進することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	77,099千円	64,579千円

①イチゴ産地化地域おこし協力隊事業 17,336千円 ※国事業(特交)

イチゴの栽培やイチゴのPR活動を行った。また先進地視察や研修に参加し、栽培技術の向上に努めた。その他にも、まつりや清掃活動等の地域行事に参加した。

【成果】 地域のイベントに参加し、イチゴのPR活動を行った。またイチゴ栽培の最新設備を完備する圃場及び卸売市場を視察し、活動後の営農を見据えた知識・技術向上の機会となった。

②ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業 3,103千円 ※国事業(特交)

(株)北条ワイン醸造所にてワイン用ブドウ栽培を学んだ他、北条ワインのPR活動として地域のイベントにも参加した。その他にも、居住地域において地域の祭りや清掃活動等に参加し地域住民との交流を深めた。

【成果】 (株)北条ワイン醸造所の農地拡大に伴う苗植えを経験できた他、ほ場管理者のもと成木の管理を学び活動の初年度でありながら様々な経験を通し学ぶことができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	5 農業振興費	254,009千円	195,633千円

①農業振興事業 718千円

大栄西瓜マスコットキャラクター「夏味ちゃん」の着ぐるみのイベント参加やうちわ等のグッズ作成を通して、消費拡大に向けたPR活動を行った。

オリジナルうちわ 2,500枚 クリアファイル 2,000枚



②経営改善支援活動事業 478千円

- ・農業経営基盤強化資金利子補助金(*県1/2、町1/2) 116千円 *県事業
- ・果樹共済農家負担軽減補助金(*県1/2、自己負担1/2) 154千円 *町=自己負担1/2の20%
- ・米価下落緊急対策資金利子補助金 5千円 *町1/3
- ・収入保険農家負担軽減補助金 185千円 *加入者割4,500円
- ・認定農業者審査会報償費 18千円 *町単独事業

*審査内容:(7/17)新規4件・更新2件・変更0件、(12/3)新6・更4、(2/27)新4・更18

*審査委員=農家代表2人、学識経験者1人、普及所1人、農業委員2人、JA(営農センター)1人、産業振興課1人

【過去の実績】

年度	H29	H30	R1
農業経営基盤強化資金利子補助	8	6	5
果樹等経営安定化資金利子補助	1		
自作農維持資金利子補助	1		
果樹共済農家負担軽減補助	53	55	41
米価下落緊急対策資金利子補助	5	5	5
認定農業者認定件数(新規)	15(8)	24(13)	15(14)

【参考資料】

認定農業者総数の推移	
H29	111人
H30	124人
R1	127人

*所得380万円以上
1,900時間労働/年

【成果】 安定的な経営をめざす農業者の借入に対し利子負担の軽減が図れた。認定農業者(地域農業のモデル的経営農家・地域農業を担う意欲的な農家)の優良事例が増加した。

③農業振興補助金事業 23,369千円

- ・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 994千円 *町単独事業
生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動や料理講習会の開催などのPR活動、また、PR用チラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進を図った。

6生産部(長芋、大栄西瓜、オリジナル野菜、花き、らっきょう、ぶどう)

【成果】 行政と生産者が一体となって、町内産農産物の販促等のPR活動を行ったことで、ブランド品の推進が図れた。

- ・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,564千円 *国事業
経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。

【成果】 申請に必要な書類の配布や回収、データの整理など必要経費を支援することで、事業の推進が図れた。

- ・鳥取梨生産振興事業費補助金 2,975千円 *県事業(県2/3)
鳥取県育成オリジナル新品種(新甘泉など)の導入と生産基盤の整備のための費用に対する支援を行った。

1農家(高機能を有する多目的防災網への更新 19.03a)

1農家(多目的防災網の設置 27.1a)

【成果】 新甘泉の導入と生産基盤の整備により、梨産業の活性化を図った。

- ・戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金 1,551千円 *県事業(県3/4)
新規就農者の参入促進・梨産地活性化・生産者の所得向上のため、鳥取県育成新品種(新甘泉など)を主体とした果樹団地を戦略的に整備するための費用に対する支援を行った。

4農家 33.81a (果樹棚、新植)

【成果】 曲地内で梨団地を整備し、生産施設の支援及び新規就農者への参入後の支援を行った。

- ・集落営農組織等畑作支援補助金 113千円 *町単独事業
集落営農組織等において、水稻に加え新たに収益が高い畑作物への経営拡大を図るための費用に対する支援を行った。

1組織(かんしょ)

【成果】 集落営農組織等の新たな畑作物への取組を支援し、経営基盤の強化の支援が出来た。

- ・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 15,172千円 *県事業(県1/2)
産地で振興する果樹の品目品種の生産拡大を図るための費用に対する支援を行った。

1農家(ぶどう新植・改植・間植え 783.89a、10,250本)

(果樹棚の設置 115.98a)

【成果】 加工用ぶどうの改植をすることで、ぶどうの生産拡大を図った。

【過去の実績】

(千円)

年度	H29	H30	R1
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	888	926	994
経営所得安定対策推進事業補助金	2,735	2,407	2,564
鳥取梨生産振興事業費補助金	1,097	7,423	2,975
戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金	1,531	5,306	1,551
集落営農組織等畑作支援補助金	348	209	113
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	105	12,433	15,172
鳥取芝ブランド化生産振興事業補助金	1,090	-	-

④がんばる農家プラン支援事業 11,025千円 * 県事業(県1/3、町1/6)

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・花壇苗生産拡大プラン 696千円
ラベルポップ、苗床ベンチ
- ・花壇苗生産拡大プラン 1,241千円
自動巻上機、ハウス内張り、暖房機、研修会・市場
展示会・商談会への参加
- ・ブロッコリー生産拡大プラン 1,900千円
乗用管理機 導入
- ・青ねぎ生産拡大プラン 2,728千円
運搬車 導入
- ・農福連携プラン 4,460千円
作業場、運搬車、プレハブ冷蔵庫 整備



【過去の実績】

H29		H30		R1	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
4	26,512	7	38,268	5	11,025

【成果】 農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

⑤就農条件整備事業 3,622千円 * 県事業(県1/3、町1/6)

新規に作物を導入し、新規に就農する者に、必要不可欠な機械・施設を整備し、営農計画の実現と農業経営の安定を図った。

(整備内容)

- 運搬車…西瓜生産 150千円
- 運搬車 さく井工事…西瓜生産 1,118千円
- 作業場…長芋生産 1,890千円
- ねぎ皮むき器…白ネギ生産 464千円

【過去の実績】

H29		H30		R1	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
5	7,166	4	4,323	4	3,622



【成果】 新規就農者の初期設備投資にかかる負担を軽減することができた。

⑥現地課題チャレンジ試験補助金事業 1,477千円 * 町単独事業

農産物における現地の緊急的な課題について、課題解決のための試験実施を支援した。

【過去の実績】

H29		H30		R1	
課題(件)	金額(千円)	課題(件)	金額(千円)	課題(件)	金額(千円)
1	366	1	551	2	1,477

【成果】 ・畜産における臭気対策実証実験 1,229千円
畜産における臭気対策は、長年の課題となっていることから、臭気を消すのではなく、変えるという発想で、不快な臭いを低減させる実証実験を行う費用を支援した。

・電気柵の活用による効率的な有害鳥獣捕獲試験 248千円
アナグマ用に電気柵の効果的な設置について、検討会及び設置講習を行う費用を支援した。また、合わせて電気柵を使わず安価にアナグマ対策をする方法の実証実験を行う費用を支援した。

⑦北栄アグリフォーラム事業 593千円 *町単独事業

「みんな輝く北栄農業～ふくらむ夢、あふれる希望～」をテーマに女性・新規就農者に焦点をあてて開催。茨城県から講師を招いての講演会と町内女性就農者である米澤幹枝氏、杉川藍月氏2名の意見発表を実施した。

令和元年11月30日(土)実施

私が”農業”を選んだ理由

講師:株式会社 ドロップ 代表取締役 三浦 綾佳 氏

参加者数:160人



【過去の実績】

年度	実施日	参加者数
H29	平成30年1月20日(土)	217人
H30	平成30年12月1日(土)	198人
R1	令和元年11月30日(土)	160人

【成果】 女性視点での様々な発想や考え方を発信することができ、農業の振興及び町民への啓発につながった。

⑧6次産業化モデル支援事業 61千円 *町単独事業

県の6次産業化総合支援事業の対象とならない場合で、6次産業化(生産・加工・販売)を行う農業を展開していくための取り組みに対して支援した。

【過去の実績】*食と農の魅力創造支援事業

H29		H30		R1	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
4	444	3	241	2	61

【成果】 国内外の販路開拓を見出すきっかけづくりとなり、規模拡大の一助になった。

⑨企業等農業参入促進支援事業 3,543千円 *県事業(県1/3、町1/6)

・企業等農業参入促進支援事業補助金 3,543千円

農業経営に意欲的な企業等の新規参入を促し、農業経営の初期段階の円滑な経営の推進を図るために農業参入する企業を参入検討段階から支援した。

作業場兼倉庫 1事業者 1棟 72㎡
 トラクター 1事業者 1台 30ps
 ラッキョウ根切機・土寄機 1事業者 1台 6.3ps
 ラッキョウ溝掘機 1事業者 1台 7条

【成果】 設備導入費用を補助することで企業の農業参入がスムーズに行えた。

⑩産地パワーアップ事業 124,591千円

・産地パワーアップ事業費補助金 7,898千円

産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組に対する支援を行った。

*国事業(国:資材費の1/2)

西瓜 寒冷紗 51戸 248枚

・産地パワーアップ事業費補助金【繰越事業】 366千円

*国事業(国:資材費の1/2)

果菜類 養液灌水装置、自動換気装置、遮光砂防ネット

【成果】 養液灌水装置などの導入によりイチゴの生産強化及び面積拡大を行った。

- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 110,603千円
施設園芸の産地を作るため導入する鳥取型低コストハウスの整備に対して支援を行った。
* 県事業(国1/3(資材費の1/2)、県2/9、町1/9)
西瓜 低コストハウス 23戸 95棟 28,236㎡

- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金【繰越事業】 5,724千円
* 県事業(国1/3(資材費の1/2)、県2/9、町1/9)
果菜類 低コストハウス及び内張 2棟 478㎡
高設栽培ベンチ 45.6m×4列 26.4m×4列

【成果】 鳥取型低コストハウス及び付帯施設の導入によりイチゴの生産強化及び面積拡大を行った。

【過去の実績】 * 鳥取型低コストハウスの導入状況(小松菜+西瓜+果菜類)

年度	H28		H29		H30		R1	
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	135棟	41,741㎡	197棟	54,952㎡	171棟	48,135㎡	97棟	28,714㎡

⑪園芸産地活力増進事業 20,488千円

- ・園芸産地活力増進事業 * 県事業(県1/3、町1/6)
鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取組みを支援する。

長芋冷蔵庫機能向上工事	11,267千円
らっきょう共同乾燥調製施設ミーティング ルーム機能向上工事	5,669千円
長芋深耕機購入	3,500千円
西瓜栽培アシストスーツ購入	52千円

【成果】 JA施設の機能向上を図り、また、専用機材、作業補助用品の導入をすることにより、生産供給環境整備の取組みを支援した。

⑫農業経営サポート事業 2,191千円 * 町単独事業

就農営農相談員を配置し、営農相談や新規就農者の支援を行った。また、農作業人材紹介センターを開設し、農業の雇用促進を図った。

・就農・経営等相談状況

	H29	H30	R1
就農相談	23人	34人	29人

・農作業人材紹介センター登録、照会状況

農業に特化したハローワークの開設も行い、農業の雇用へ結びついている。

	H29	H30	R1
新規求職者登録数	9人	2人	2人
紹介農家戸数(延べ数)	6戸	3戸	4戸
紹介者人数(延べ数)	5人	3人	1人

=マッチング件数

・体験農園の管理委託

JA鳥取中央青壮年部大栄支部ドリームクラブに体験農園の管理委託をし、町内の園児とサツマイモの植付けと芋掘りの農業体験交流を行った。

⑬中部フェスタ事業 310千円 * 町単独事業

「中部発！食のみやこフェスティバル」に参画し、運営経費を支払った。

【成果】 フェスタで北栄町の特産農産物と加工品等をPRし、地域での消費拡大につなげた。

⑭鳥取の花いきいき総合戦略事業 1,331千円 *県事業 生産対策(県1/3、町1/3)

物流対策(県1/3、町1/6)

県外市場への安定した集出荷流通体制の構築のため、花き部会及び農家3名へ支援した。

【成果】 花き及び花だん苗の出荷体制、環境の強化が図れた。

⑮農産物PR事業 821千円

滋賀県湖南市へ3回、東京都港区へ2回販売促進を行い、北栄町農産物の魅力を伝えた。

【成果】 初の試みとして湖南市へ大栄西瓜の販促を行い、北栄町と大栄西瓜のPRを行った。また、港区でも初の試みとして交流のある三田一交会主催のこども祭りで販促を行い、北栄町農産物の魅力を伝えることができた。



⑯ハウス強靱化対策事業 926千円

町が策定した「農業用ハウス強靱化緊急対策事業計画」に基づき、老朽化により対策が必要となった農業用ハウス7名分31棟の補強実施へ支援した。

【成果】 台風など強風や雪害に強いハウスを増やすことができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	6 担い手育成支援費	22,701千円	22,600千円

①担い手育成支援事業 22,600千円

・農業次世代人材投資資金(経営開始型) 10,265千円 *国事業
独立就農をする新規就農者に対して、就農から5年間の生活基盤の安定のための補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

【過去の実績】(交付金)

H29		H30		R1	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
18	27,249	13	16,686	9	10,265

【成果】 就農初期の生活等安定を図る資金として支援した。

・親元就農促進支援交付金 11,400千円 *県事業(県2/3、町1/3)
親元で就農しようとする後継者の農業研修をサポートすることにより、地域の農業力の底上げを図るとともに、将来の地域農業の中心となる人材の育成を行った。

【過去の実績】

H29		H30		R1	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
7	6,400	9	7,600	13	11,400

【成果】 親元就農を促進することにより、地域農業の安定を図った。

・就農応援交付金 850千円 *県事業(県2/3、町1/3)
独立就農をする新規就農者のうち農業次世代人材投資金の対象外となった者について、就農から3年間の生活基盤の安定のための補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

【過去の実績】

H29		H30		R1	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
-	-	1	1,000	1	850

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	7 農林業地域改善対策費	1,120千円	1,119千円

①地域改善対策負担軽減事業 1,059千円 *町単独事業

県営ほ場整備事業(21世紀水田対策大倉地区)に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。

【成果】 補助により、地元負担の軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	8 畜産振興費	19,594千円	18,748千円

①畜産振興事業 18,748千円

- ・畜産経営維持継続支援対策補助金 804千円 *町単独事業
枝肉価格が低迷し、所得が低下した場合に交付される事業の積立金の生産者負担軽減のため、支援した。

【過去の実績】

区分	H29		H30		R1	
	数量(頭)	助成単価(円/頭)	数量(頭)	助成単価(円/頭)	数量(頭)	助成単価(円/頭)
肉専用	51	2,400	89	2,400	80	2,400
交雑種	234	1,600	238	1,600	192	1,600
乳用種	12	1,000	18	1,000	5	1,000
養豚	4,586	105	2,800	105	2,860	105

【成果】 補てん減額分の生産者負担を軽減した。

- ・鳥取和牛振興増頭対策事業補助金(増頭対策) 16,794千円 *県事業(県1/3、町1/6)
繁殖雌牛の増頭(計42頭)に対する導入経費を支援した。

【成果】 増頭に要する施設整備費及び繁殖雌牛の導入費用の負担を軽減した。

- ・乳用牛優良精液利用促進事業補助金 828千円 *町単独事業
優良精液の購入費の補助(1/2以内)を行い、優良精液の種付けをすることにより、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産を図り、安定した酪農経営を支援した。

【過去の実績】

H29		H30		R1	
配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)
250本	948	251本	979	203本	828

【成果】 優良精液を各酪農家が利用し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

- ・優良乳用牛購入事業補助金 200千円 *町単独事業
乳用牛の増頭を目的とした繁殖雌牛の購入について、その経費の一部を補助し、安定した事業経営を支援した。

【成果】 2頭の雌牛を増頭し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

- ・後口谷畜産団地刈払い・伐採作業委託料 91千円
後口谷畜産団地の草木について、敷地外に垂れ下がって伸びているものを伐採した。

【成果】 敷地外に垂れ下がっている草木を伐採し、町道の見通しが良くなった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	9 農地費	52,371千円	48,767千円
<p>①単町農業農村整備事業 1,407千円</p> <p>町が管理する農道の除草、修繕を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農道管理委託料 1,168千円 公社シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会(スイカロード除草)へ委託した。 ・農道修繕工事請負費 11千円 由良宿地内の町管理農道の修繕を行った。 ・農道台帳管理費 228千円 <p>【成果】 農道の適切な管理ができた。</p>					
<p>②単県・団体営基幹農道借入金償還金補助金事業 1,482千円 *町単独事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業に係る町道新設改良事業費の債務負担 <p>【成果】 農道整備に係る負担軽減ができた。</p>					
<p>③土地改良区地元負担軽減補助金事業 13,549千円 *町単独事業</p> <p>地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。(町道新設改良事業費償還金補助を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北条砂丘土地改良区関係 3,385千円 ・北条水系土地改良区関係 4,636千円 ・大倉土地改良区関係 1,904千円 ・大栄町土地改良区関係 3,624千円 <p>【成果】 土地改良区へ補助することにより農家の負担軽減となった。</p>					
<p>④国営事業 10,851千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営東伯地区維持管理事業負担金 9,452千円 *国、県、町(北栄37.8%、琴浦62.2%) ・西高尾ダム周辺施設維持管理費 1,352千円 *町単独事業 <p>【成果】 対象施設の適切な維持管理が図れた。</p>					
<p>⑤ふるさと活性化基金積立金事業 17,554千円</p> <p>ふるさと農村活性化基金積立金を切り崩して、多面的機能の活動組織に貸付し、年度内に償還してもらい、積立金に積み戻した。</p> <p>【成果】 国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動をしてもらうことができた。</p>					
<p>⑥団体営農業農村整備事業 2,585千円 *国事業(10/10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用ため池で新たに防災重点ため池に指定された池のうち、人家に影響のあるため池3箇所ハザードマップを作成し、該当自治会の各家庭に配布した。(西ノ井津ため池、穂波ため池、金操ため池) <p>【成果】 地元代表者と意見交換をしながらハザードマップを作成し、ため池決壊時の危険箇所、避難経路等の共通認識ができた。</p>					

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	10 中山間地域等直接支払費	384千円	383千円

①中山間地域等直接支払事業 383千円 *国1/3、県1/3、町1/3
 農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等(東高尾地区)における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	H29	H30	R1
協定数	1	1	1
対象用地	34,447㎡	34,447㎡	34,447㎡

※協定期間 H27～R1

【成果】 中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	11 有害鳥獣防除費	1,576千円	1,190千円

①有害鳥獣防除事業 1,190千円
 有害鳥獣の捕獲や駆除により、農林産物への被害を防いだ。
 ・鳥獣被害対策実施隊賃金 130千円 *町単独事業
 ・射撃環境改善事業補助金 12千円 *県事業(県1/3、町1/3)
 有害鳥獣捕獲に従事する者の射撃練習に係る費用を支援し、野生鳥獣の保護管理を図った。
 ・ヌートリア等捕獲奨励金 802千円 *県事業(県1/3、町1/3)
 一部町単独…カラス、アナグマ

【過去の実績】 (匹、頭、羽)

捕獲・駆除	奨励金	H29	H30	R1
ヌートリア	3,000円	90	68	33
イノシシ	10,000円	21	23	50
カラス	1,000円	19	36	92
シカ	猟期外 10,000円	5	3	6
アナグマ	3,000円	33	17	17

・ヌートリア・アナグマ対策講習会
 講師報償費 8千円
 ・カラス一斉駆除用弾代 39千円
 ・捕獲器購入費 199千円

*シカの捕獲については、猟期(11/1～2月末)は奨励金5,000円。

【成果】 捕獲により農作物等への被害の軽減を図った。
 ヌートリア等による被害が継続しているため、鳥獣被害対策実施隊員を講師に「ヌートリア・アナグマ対策講習会(外来法による捕獲講習)」を開催し、農家が鳥獣被害から自衛できる体制づくりを行った。(参加者:10人)

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	12 多面的機能支払交付金費	110,293千円	92,403千円

①多面的機能活動支援交付金事業 92,403千円 *国1/2、県1/4、町1/4
 地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。
 23の組織のうち21の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となった。
 ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付(無利子)事業を行った。(広域協定)

【過去の実績】(取組組織数)

	年度	H29	H30	R1
多面的機能(農地維持、資源向上(共同))活動支援交付金		24	24	23 (うち21は広域)
多面的機能(資源向上(長寿命))活動支援交付金		15	15	22 (うち21は広域)

【成果】

各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。
 (組織数 3) 広域協定組織、別所地域農地・水・環境を守る会、東高尾清流の郷
 (広域協定組織数 21組織は下記のとおり) * 順不同

大谷ふるさと愛創会	妻波地区農地・水・環境保全会	西園みどりの会	東園環境保全活動組織
TMA(田井)	江北環境保全会	六尾農地保全の会	下種地域ふるさと保全会
弓原地区農地・水・環境保全会	松神豊かな郷	西穂波地区環境保全会	原農村資源保全協議会
下種地域環境保全隊	北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	
瀬戸みどりネット	米里農地保全の会	大島みどりと水を守る会	
亀谷環境保全会議	まがり美土里グループ	北条島地区水田耕作者の会	

●ふるさと農村活性化基金(*R2.3.31現在)

年度	R1
基金残高	17,553,555円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	26,936千円	25,296千円

①しっかり守る農林基盤整備事業 25,296千円 * 県事業(内容により補助率が異なる)
 農道補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、台風24号災害による災害復旧など

【成果】 農業生産基盤の改良、新設及び改修等が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	1,440千円	807千円

①環境保全型農業直接支払対策事業 807千円 * 県事業(国1/2、県1/4、町1/4)
 農薬の50%削減と地球温暖化効果のある取組(カバークロープ(レンゲ草))など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金(8,000円/10a)を交付した。

【過去の実績】

H29		H30		R1	
件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
2	873	1	839	1	1,009



【成果】 環境保全を重視した農業生産に取り組んだ。
 * 取組団体: 原西部営農組合

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	2,358千円	2,358千円

①土地改良施設維持管理適正化事業 2,358千円 * 県事業(国30%、県30%、町30%、改良区等10%)
 土地改良施設の整備・補修・維持管理に必要な事業費を5年間積み立て、整備補修を実施する事業に取り組む改良区に対し交付金を交付した。

- ・北条砂丘土地改良区関係 1,998千円
- ・北条水系土地改良区関係 120千円
- ・大倉土地改良区関係 240千円

【成果】 5年後の事業実施に向け、積み立てが出来た。

改良区	積立金残高(全体額)	着工予定年度	主な工事(予定)内容
北条砂丘土地改良区	11,580千円	R4~R6	揚水機場ポンプ、機器整備補修
北条水系土地改良区	400千円	R6	揚水機場整備補修
大倉土地改良区	1,600千円	R5	揚水機場ポンプ整備補修

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額																
		目	28 気象災害等対策費	68千円	62千円																
<p>①緊急防除支援事業 62千円</p> <p>・緊急防除支援事業費補助金 62千円 *町事業 湯梨浜町水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害中緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。</p> <p>【成果】 被害の拡大を防止した。</p>																					
款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額																
		目	1 林業振興費	4,361千円	3,730千円																
<p>①枯松伐採促進事業 64千円 *町単独事業(事業費の60%を助成) 松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。 * 事業体:個人2名</p> <p>【過去の実績】 (本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枯松伐採</td> <td>40</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大防止となった。</p> <p>②間伐材搬出促進事業 904千円 *町単独事業(1,000円/m³を助成) 間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。 * 事業体:鳥取県中部森林組合</p> <p>【過去の実績】 (ha)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伐採面積</td> <td>12.80</td> <td>7.30</td> <td>8.29</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 国土保全、水源涵養などの公益的機能の回復、増進に役立った。</p> <p>③林業労働者福祉向上推進事業 152千円 林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。 * 事業体:(公財)鳥取県林業担い手育成財団</p> <p>【成果】 林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の確保及び就労条件の改善を図れた。</p> <p>④森林整備担い手育成対策事業 175千円 健康保険料、厚生年金等の社会保険料の事業主負担に対して助成を行った。 * 事業体:鳥取県中部森林組合</p> <p>【成果】 林業労働者の育成と雇用の安定化等、就労条件の改善を図れた。</p> <p>⑤森林クラウドシステム整備事業 109千円 県・町・林業事業体が共有して森林情報を管理するシステムの整備を行った。</p> <p>【成果】 森林情報の更新を行うことで林業事業の推進に役立った。</p>							H29	H30	R1	枯松伐採	40	8	7		H29	H30	R1	伐採面積	12.80	7.30	8.29
	H29	H30	R1																		
枯松伐採	40	8	7																		
	H29	H30	R1																		
伐採面積	12.80	7.30	8.29																		

⑥ 森林経営管理事業 2,249千円

森林環境譲与税を活用し、県産材の普及推進や森林経営管理制度における経営管理意向調査を行った。また、森林整備のための基金積立を行った。

アニマルベンチ購入業務	193千円
経営管理意向調査業務	132千円
森林環境譲与税積立金	1,924千円

【成果】 子ども園等にアニマルベンチを設置し自然に親しむ心を養えたほか、森林管理のための計画を推進できた。

● 森林環境譲与税積立金(*R2.3.31現在)

年度	R1
基金残高	1,599,500円

⑦ 林業関係負担金事業 77千円

(社)鳥取県緑化推進委員会負担金	35千円
鳥取県治山林道協会負担金	32千円
天神川流域林業活性化センター負担金	10千円

【成果】 地域の森林整備により森林の公益的機能の充実を図れた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	2 松くい虫防除費	21,642千円	10,027千円

① 松くい虫防除事業 10,027千円 * 県事業

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除及び被害木の伐倒駆除を実施した。

* 高度公益機能森林(海岸付近 県補助65%) 地区保全松林(蜘蛛ヶ家山周辺 県補助50%)

業務内容	R1	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	95ha	7,169千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	1,035千円
* 松くい虫被害特別伐倒駆除(枝条破碎)	—	—
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	757千円
養蜂群移転補償	1式	636千円
その他(動員費、事務費)	1式	430千円



* 松くい虫被害特別伐倒駆除(枝条破碎)については、R2へ繰越

【過去の実績】

業務内容	H29		H30	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	95ha	5,354千円	95ha	6,732千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	988千円	8.5ha	1,011千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	297.8m ³	5,526千円	256.3m ³	8,883千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	330千円	1式	108千円
養蜂群移転補償	1式	507千円	1式	587千円
その他(動員費、事務費)	1式	369千円	1式	691千円

【成果】 松くい虫防除及び、松くい虫被害木の徹底伐採を行った。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	3 松林保全対策費	291千円	118千円

①松林保全推進事業 118千円 *町単独事業

松くい虫に強い松(抵抗性クロマツ)の苗木の購入を行い、関係者に配布し、松林の保全を行った。

* 4地区(東新田場、下神、松神、西園)

【過去の実績】

	H29	H30	R1
購入本数	1,225本	959本	1,020本
地区数	6	6	4

【成果】 抵抗性松を配布し、各地区にて植栽し、管理していただいた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	4 竹林整備費	1,003千円	519千円

①竹林整備事業 519千円

・竹林整備事業補助金 517千円 *県事業

放置竹林を整備(伐採)する費用に対し、(森林環境保全税を活用し)支援を行った。

* 施行地面積が0.1~1.0ha未満(補助率8/10)

整備面積 0.2ha
整備箇所 1か所(曲)

【過去の実績】

	H29	H30	R1
伐採本数	4,018本	3,816本	2,320本
箇所数	2	2	1

【成果】 竹林の拡大防止と森林環境の改善が図られた。

款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	予算現額	決算額
		目	1 水産業振興費	57千円	55千円

①水産振興事業 55千円 *町単独事業

・種苗放流事業費補助金

水産資源の増大を図るため、漁協等が行う種苗(アワビ、サザエ、キジハタ)放流事業に対し支援した。

* 町負担 アワビ・サザエ (事業費 - (県負担: 事業費×1/3))×1/3
キジハタ (事業費 - (県負担: 事業費×3/4))×1/2

【過去の実績】

	H29		H30		R1	
	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)
アワビ	500個	230	500個	193	500個	81
サザエ	3,000個	1,397	3,000個	1,004	3,000個	99
キジハタ	2,617.5尾	1,206	2,832.0尾	1,519	2,943.5尾	1,143

【成果】 中間育成種苗を放流し、資源管理を行ったが、アワビ及びサザエは砂に埋まってしまい漁獲量が伸びなかった。R2からはアワビ及びサザエの放流は行わない。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	1 商工振興費	128,497千円	116,377千円

①商工振興事業 11,667千円 *町単独事業

・商工会育成補助金 5,800千円

商工会が行う経営支援事業、交流事業、地域活性化事業に補助し、商工業者の活動を支援した。また、町内進出企業の本社を訪問し、今後の事業計画等について聞き取りを行った。

【過去の実績】 商工会育成費補助金

H29		H30		R1	
会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)
375	5,734	377	5,800	380	5,800

会員数は年度末の数字

【成果】 商工会の経営支援事業及び地域総合支援事業に対して補助を行い、事業の支援を行った。

・プレミアム付き商品券発行事業補助金 4,871千円

国事業である子育て世帯・非課税世帯を対象とした商品券発行事業にあわせて実施。商工会が発行したプレミアム付き商品券のプレミアム部分(10%)を補助した。

総額50,000千円(1セット11千円を10千円で販売)

【実績】

販売セット数	販売額	販売率	換金額	換金率
4,897セット	48,970千円	97.94%	53,726千円	99.73%

【成果】

消費税増税による家庭への影響を緩和し、消費喚起を促した。

②小口融資等貸付事業 39千円 *県事業(町:出捐金あり)

これまでの融資残高に対する金額を年度当初に金融機関に預託し、預託金は年度末に償還される。新たな貸付はなかった。

【過去の実績】

	H29	H30	R1
新規融資決定件数	0	0	0
利用事業者数(償還)	3	3	1
年度末預託金(千円)	301	146	39

【成果】 設備投資や運営に係る経費の貸付が円滑に行われ、間接的に中小企業発展の一助になっている。

③マル経融資利子補助事業 457千円 *町単独事業

事業者の経営改善のために経営改善貸付(マル経融資)を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。

【過去の実績】

	H29	H30	R1
件数	16	11	16
補助金額(千円)	504	219	457

【成果】 小口融資より活用しやすいマル経融資の利活用につながり、間接的に中小企業の発展の一助になった。

④産業振興奨励金事業 11,901千円

- 1 企業立地等促進奨励金 10,101千円
事業所の新增設に伴う投下固定資産税相当額を奨励金として支給した。
*該当企業に対し3ケ年間助成を行うもの。
12件(新規:4件 継続:8件)
- 2 雇用促進等奨励金 1,800千円
事業所の新增設により町内者を正規雇用した場合に奨励金を支給した。
2件 6名

【成果】 企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展や町内者の雇用促進に繋がり、地域経済の活性化の一助となった。

⑤観光農園体験促進事業 361千円 *町単独事業

三朝温泉の観光情報冊子「MisasaNavi」に北栄町内の観光農園の情報を掲載した。
収穫体験スタンプラリーを実施し、北栄町HPおよび農業ポータルサイトで観光農園の情報を発信し、観光客の町内への誘引を図った。

【実績】

年度	スタンプラリー参加のべ人数
H29	649人 (県外: 177 、町外: 437 、町内: 36)
H30	128人 (県外: 37 、町外: 63 、町内: 28)
R1	100人 (県外: 13 、町外: 79 、町内: 8)

【成果】 町内外からの観光客に、本町の農産物の魅力にふれていただくきっかけとなった。

⑥就労・創業支援事業 2,748千円 *町単独事業

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

創業支援事業補助金 2件
車両販売・整備(国坂)・飲食移動販売(江北) 1,624千円
由良宿まちづくり活性化支援事業補助金 1件
教育・学習支援業 1,124千円
*震災によって加速的に商店通りの活気が喪失された由良地区の商店地域の再生と、米花商店街を拠点とした、コナンのまちづくりに資する出店誘導のために5年間の時限的経過措置を設け実施するものです。

【成果】 創業時の初期投資に係る負担軽減をすることで、町内産業の振興や雇用機会を創出するきっかけとなった。

⑦地域商業自立促進事業 500千円

文化・産業の魅力発信とコナン通りの賑わいを周辺地域に波及させるべく、商工会が実施した北栄わいわいフェスタを補助した。

【成果】 町内産業の紹介や由良宿歴史探訪ウォーキングを実施し、観光の魅力を広く周知するとともに周辺地域も含めた賑わいづくりができた。

⑧企業交流会事業 326千円

北栄町と湖南省市の企業間交流を目的に湖南省市において交流会を開催した。ワークショップによるビジネスマッチングを実施したほか、視察や懇談会を通じて交流を深めた。

【成果】 ワークショップを通して参加者の距離感が縮まり、お互いの市町を行き来するきっかけや今後の事業展開のヒントに繋がった。



⑨砂丘地振興基金積立金事業 9千円 *町単独事業

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

【過去の実績】 (千円)

年度	H29	H30	R1
基金残高	95,361	88,999	83,452

※基金から道の駅「北条公園」管理運営経費積算業務委託料(繰越事業)財源の5,555千円を取り崩したことによる残高の減額

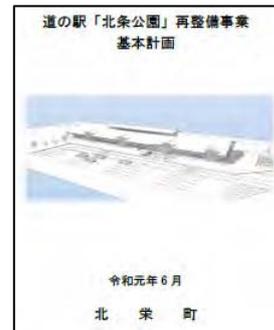
【成果】 資金を運用することにより、基金の増額を図ることができた。

⑩道の駅北条公園再整備事業 6,533千円

道の駅「北条公園」再整備基本計画を策定し、指定管理者の公募を実施した。(公募は不落札)

※平成30年度からの繰越事業。

【成果】 道の駅「北条公園」再整備基本計画の策定により、再整備の基本的方向や導入施設の内容が定まり、事業の具体性が増した。



款	11 災害復旧費	項	3 農林施設災害復旧費	予算現額	決算額
		目	2 農地・農業用施設災害復旧費	32,582千円	32,575千円

①農地・農業用施設災害復旧事業(補助)【繰越事業】 32,235千円 *国10/10

台風24号で被災した農業用施設のうち、国庫補助事業要件を満たした6箇所について、補助事業を活用して復旧した。

②農地・農業用施設災害復旧事業(単独)【繰越事業】 340千円 *町単独事業

台風24号で被災した農業用施設災害復旧について、国庫補助事業対象外の経費を、町費により支出した。

【過去の実績】 (千円)

年度	H29	H30	R1
事業費	1,420	7,176	32,575

【成果】 台風24号により被災した箇所の復旧工事をした。

*平成30年度からの繰越事業。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	43,171千円	39,886千円

①北栄砂丘まつり交付金事業 4,112千円 *町単独事業

・第14回北栄砂丘まつり
期日 令和元年8月18日(日) 会場 お台場公園多目的広場

【成果】 町民が手づくりでイベントを企画・運営し、地元特産物・加工品の地産地消を促進した。また、書道パフォーマンスや有名レスラーが参戦した地元プロレス大会など地域で話題性のあるイベントを開催し、元気な北栄町を広くPRした。

②国内外の交流推進事業 4,766千円 *町単独事業

本町と友好交流協定を結んでいる台湾台中市大肚区及び滋賀県湖南市と交流を深めた。

【成果】 台湾台中市大肚区との交流では、北栄町青少年訪問団が大肚区を訪問(7月)し、大道中学校の生徒と音楽授業やパソコン授業などで交流したほか、ホームステイを体験するなど台湾の文化に触れ国際理解を深めた。
また、大道中学校及び東峰中学校の青少年訪問団を受け入れ(2月)し、大栄中学校で生徒同士の交流を行ったほか、町内8家庭でホームステイを行い次代を担う子どもたちの国際感覚を養うことができた。
湖南市との交流では、まつりなど両市町で開催されたイベントでの相互交流をはじめ、北栄砂丘まつりを通じた青少年交流など、幅広い分野で交流を深め、関係人口の増加に寄与した。

③民泊推進事業 3,000千円

・観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助金 3,000千円(県1/3,町1/6)

【成果】 和紙あかりなど北栄町らしさを堪能する地域資源(体験)を活用した民泊施設の開業により、観光客が滞在したくなるような魅力ある観光地づくりに繋がった。
町内の宿泊施設の増加に伴い、観光客の増加や地域活性化に寄与した。

【実績】

	R1
民泊事業者	1件

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	77,099千円	64,579千円

①北栄暮らし支援事業 38,594千円

- ・移住相談会への参加 501千円
- ・移住奨励金 5,475千円(県1/2)※県外転入者の場合
(子育て加算(商品券)) 735千円
- ・若年層移住定住者住宅取得支援補助金 13,187千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・家財道具等処分費補助金 58千円(県1/2)※県外転入者が居住の場合
- ・定住支援住宅取得補助金 16,400千円(うち繰越し13,450千円)
- ・移住支援員の配置 1,893千円(県1/2)

【実績】

事業名	H29	H30	R1
移住相談会(東京・大阪)	6回	9回	8回
移住奨励金	39名/14件	88名/28件	63名/20件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	—	10件	15件
IJUターン空き家改修支援事業補助金	0件	1件	0件
家財道具等処分費補助金	5件	4件	2件
定住支援住宅取得補助金	—	14件	37件
移住支援員配置	1名	1名	1名

(大阪5、東京3)

【成果】 北栄町への移住・定住を推進するため、県外での移住相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。PRを行ったことで、移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示することに繋がった。
 奨励金交付、若年層の住宅取得に対する補助などを行い、移住・定住の促進を図ることができた。また、町内者へも住宅取得に対する補助を行い定住を促進することができた。町内外問わず幅広い支援を行うことで、町内に住み続けたいと思うキッカケ作りとすることができた。
 空き家の不要な家財の処分費用を補助することで、空き家の利活用を促進することができた。空き家を利用する移住者だけでなく、空き家の活用に苦慮していた所有者の支援に繋がった。

②おためし住宅事業 195千円 *町単独事業
 ・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・通信費 195千円

【実績】		H29	H30	R1
	人数/利用件数	5名/3組	11名/4組	12名/5組

【成果】 県外の移住相談等でおためし住宅のPRを行い、利用促進を図った。
 おためし住宅に滞在していただくことで、移住に向けた就職活動の拠点、北栄町での暮らし体験、北栄町を知るきっかけとなった。また、北栄町の生活環境、雰囲気等を体験していただくことで、移住人口だけでなく、北栄町のPRにも貢献できた。

③地域づくり地域おこし協力隊事業 5,316千円 *国事業(特交)

名探偵コナンによるまちづくり地域おこし協力隊は、コナン通りを中心とした由良宿地区の賑わい創出に関する取り組みを行った。アニメ声優を招いた集客イベントなどの運営をサポートし県内外のコナンファンや観光客へ「名探偵コナンに会えるまち」北栄町を強く発信した。結果として、北栄町と「名探偵コナン」の関連がより深まり、観光客の誘致、メディア等による県外へのPRに繋がった。
 妻波地区地域おこし協力隊は、任期終了後の就農に向けたスイカ栽培等に取り組み、地域の農地保全の活動も行いながら妻波地区の新たな担い手として活躍している。また、妻波地区の地域活動にも積極的に参加することで、地域住民の賑わい、交流を創出している。

【成果】 観光、農地保全、地域間交流、地域活性といったそれぞれの隊員が抱えるミッションを果たすことで、それぞれの取り組みから地域、町の活性化に寄与し地域の賑わいを創出した。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	2 観光費	103,881千円	94,871千円

①観光振興事業 43,499千円 *町単独事業

観光関係団体と連携して、県内外での観光PRを進めて、更なる誘客を図るとともに、各観光(レジャー)施設を整備して、観光客へのサービスを向上させ、町の観光振興を図った。

- ・県内外での観光PR等 1,646千円
- ・各種業務委託 678千円
(鳥取空港観光案内、観光地除草美化、観光素材写真撮影など)
- ・観光施設等の修繕工事及び遊具の安全点検、修繕等 25,373千円
- ・観光施設の解体・撤去工事 327千円
(レークサイド大栄小型遊具滑り台・北条オートキャンプ場焼却炉撤去)
- ・指定管理施設の備品購入 389千円
- ・北栄町観光協会補助金 12,830千円
- ・関係団体等負担金 1,166千円
(鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、鳥取県地域振興対策協議会、道の駅連絡会、山陰DCなど)

【成果】 観光関係団体と連携して、効果的な観光PRや情報発信を行い、観光施設や遊具の修繕等によるサービスの向上を図り、町全体の入込客数を増加させた。

②観光施設指定管理者委託事業 17,429千円 *町単独事業

4か所の町有施設に指定管理者を置き、サービスの向上と運営の効率化を図った。

- ・観光施設指定管理委託料 16,829 千円
- <内訳> 北条海浜広場 } 5,955 千円
- 蜘蛛ヶ家山山菜の里
- お台場公園 6,257 千円
- レークサイド大栄 4,617 千円
- ・北条海浜広場消防用設備保安委託料 22 千円
- ・土地賃借料(北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板) 562 千円
- ・レークサイド大栄運営委員会報償費 4 千円
- ・指定管理者審査委員会報償費 12 千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区 分		H29		H30		R1	
オートキャンプ場		10,652人		11,374人		13,359人	
お台場公園		39,460人		54,108人		53,446人	
レークサイド大栄		36,264人		45,773人		43,974人	
主催グラウンド ゴルフ大会	一般	37回	5,955人	33回	5,752人	35回	6,325人
	会員	8回	480人	8回	525人	9回	738人

【成果】 指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで利用者の利便性を向上させた。

③コナンのまちづくり事業 25,052千円 *町単独事業

- ・コナン大橋及びポケットパークの管理(電気代・水道代) 43 千円
- ・ノベルティグッズ(メモ帳、ピンバッジ等)の制作 1,833 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催(委託先:北栄町観光協会) 7,868 千円
(R1開催委託分 5,826千円、R2(R1)開催委託分 2,042千円)
(R1累計入場者数34,501人、R1入場料収入7,556千円(町収入分))
- ・名探偵コナン巨大迷路装飾制作設置委託 938 千円
- ・キャラクターオブジェほかメンテナンス 1,716 千円
- ・コナン駅構内観光案内所管理(土地賃借) 148 千円
(駅構内観光案内所利用者数:27,085人)
- ・巨大迷路改修、オブジェ背景パネル設置等工事 4,551 千円
- ・青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会委員報酬、視察旅費等 1,479 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金(交付団体:2団体) 3,159 千円
- ・まんが・アニメ関連商品開発支援事業補助金(交付団体:2団体) 60 千円

【成果】 巨大迷路の開催やキャラクターオブジェのメンテナンス等、コナン通りの受け入れ環境を整備し、キャラクターコンテンツを活用した集客催事を開催することで、「名探偵コナンに会えるまち」の発信を強化し、結果としてコナンの家 米花商店街の来場者は前年度を超え、青山剛昌ふるさと館の入館者は初めて20万人を超えた。
また、青山剛昌ふるさと館の今後のあり方を検討委員会を立ち上げて検討し、その結果を提言書にまとめ町へ提出した。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業 8,891千円

- ・江戸川コナンキャラクターオブジェ設置工事 4,220 千円 (県1/2)
- ・路面装飾シートデザイン、コナン駅装飾業務等委託料 2,261 千円 (県1/2)
- ・路面装飾シート、コナン駅階段ステップ等設置工事 1,243 千円 (県1/2)
- ・コナン通り他ARシステム使用料 87 千円 (県1/2)

【成果】 新しいキャラクターオブジェを設置したことで、SNSやメディア等で話題となり、ファンや観光客、住民の方の興味関心を高めることができた。また、コナン駅やコナン通りの装飾をリニューアルして、観光客の満足度を向上させた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額																
		目	3 お台場公園サービスエリア費	3,000千円	2,993千円																
<p>①お台場公園サービスエリア管理事業 2,993千円 *町単独事業 お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ清掃委託料 2,098千円 ・トイレトーパー等消耗品購入費 846千円 ・施設の維持管理(消防設備点検、修繕費など) 49千円 <p>【実績】 年間利用状況(利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストラン・売店</td> <td>65,719人</td> <td>53,286人</td> <td>49,685人</td> </tr> <tr> <td>農産物直売所</td> <td>258,129人</td> <td>255,545人</td> <td>261,812人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>323,848人</td> <td>308,831人</td> <td>311,497人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。</p>						区分	H29	H30	R1	レストラン・売店	65,719人	53,286人	49,685人	農産物直売所	258,129人	255,545人	261,812人	計	323,848人	308,831人	311,497人
区分	H29	H30	R1																		
レストラン・売店	65,719人	53,286人	49,685人																		
農産物直売所	258,129人	255,545人	261,812人																		
計	323,848人	308,831人	311,497人																		
款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額																
		目	4 北条砂丘公園センター費	1,627千円	1,612千円																
<p>①北条砂丘公園センター管理事業 1,612千円 *町単独事業 北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ清掃委託料 1,009千円 ・トイレトーパー等消耗品購入費 105千円 ・光熱水費(希望の館含む) 477千円 ・施設の維持管理(トイレの修繕など) 21千円 <p>【実績】 年間利用状況(利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農産物直売所・食事処</td> <td>28,130人</td> <td>27,080人</td> <td>29,950人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。</p>						区分	H29	H30	R1	農産物直売所・食事処	28,130人	27,080人	29,950人								
区分	H29	H30	R1																		
農産物直売所・食事処	28,130人	27,080人	29,950人																		

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	7 環境衛生費	17,115千円	15,589千円
①合併処理浄化槽特別会計繰出金事業 4,609千円					
		年度	H29	H30	R1
		繰出金	4,440千円	3,995千円	4,609千円
②合併浄化槽設置事業 0千円					
		年度	H29	H30	R1
		補助事業費	0	1,552千円	0
【成果】 令和元年度の設置基数は無し。					
③浄化槽設置事業推進基金積立金事業 1千円					
		年度	H29	H30	R1
		基金残高	1,835千円	1,741千円	1,647千円
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	4 農業総務費	72,880千円	71,355千円
①農業集落排水特別会計繰出金事業 9,209千円					
		年度	H29	H30	R1
		繰出金	10,463千円	9,135千円	9,209千円
②集落排水事業推進基金積立金事業 3千円					
		年度	H29	H30	R1
		基金残高	9,345千円	8,310千円	7,278千円
款	7 土木費	項	1 土木管理費	予算現額	決算額
		目	1 土木総務費	55,374千円	54,579千円
①斜面崩壊復旧事業 945千円					
		年度	H29	H30	R1
		事業費	0	0	945千円
【成果】 平成30年7月豪雨により崩壊した人家裏の斜面を復旧するため、現地測量を実施し、復旧工事に必要な設計を完了させた。					
②震災に強いまちづくり促進事業 5,370千円					
住宅の耐震化(無料診断、耐震改修)					
		年度	H29	H30	R1
		事業費	5,359千円	5,035千円	5,370千円
【成果】 住宅の耐震化について地道に啓発を続けており、年間数件ずつではあるものの、継続的に耐震改修工事が行われており、町内住宅の耐震化に寄与することができた。					

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	1 道路維持管理費	139,748千円	108,655千円
		①道路維持管理事業		108,655千円	
		年度	H29	H30	R1
		維持管理費	72,635千円	56,277千円	108,655千円
		<ul style="list-style-type: none"> ・維持修繕関係費 39,165千円 道路維持修繕 町道側溝修繕工事 21件 主な工事内容:舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、原材料費 等 ・舗装修繕関係費 46,748千円 舗装長寿命化工事 5件(10路線) ・町道除草委託業務 7,658千円 通学路、幹線町道等 ・測量設計委託料等 9,803千円 道路台帳修正、土木積算システム賃貸借料 ・除雪関係費①(町道) 1,609千円 冬期除雪 町内全域 令和2年2月 1回 巡視・点検 ・除雪関係費②(消雪装置維持管理) 3,672千円 電気料金、点検整備、下神融雪ポンプ修繕、凍結防止剤購入等 			
		【成果】 適宜、町道等の維持管理を行い、安全な交通を確保した。			
款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	2 道路新設改良費	251,265千円	204,047千円
		①社会資本整備総合交付金事業		204,047千円	
		下条線(大島)、松神国坂線(下神・田井)外の道路改良工事			
		年度	H29	H30	R1
		交付金事業費	147,228千円	96,115千円	204,047千円
		○工事			
		<ul style="list-style-type: none"> ・松神国坂線側溝改良工事(田井3工区) ・松神国坂線側溝改良工事(下神2工区) ・高江大谷線修繕工事(4工区) ・下条線道路修繕工事 ・本町橋橋梁修繕工事 ・宮ノ下橋他橋梁修繕工事 ・加賀前橋橋梁修繕工事 ・お台場大橋修繕工事 			
		【成果】 通学路の側溝改良による路肩拡幅・冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、3路線の安全性や走行性が向上した。また、橋梁の老朽化対策として、43橋の法定点検及び4橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。			

款	7 土木費	項	3 河川総務費	予算現額	決算額																
		目	1 河川総務費	1,333千円	1,204千円																
<p>①河川総務事業 333千円</p> <p>天神川樋門操作 283千円 国から受託事業:江北排水樋門外2門 由良川樋門操作 50千円 県から受託事業:瀬戸排水樋門外1門</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託事業費</td> <td>356千円</td> <td>245千円</td> <td>333千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。</p>						年度	H29	H30	R1	受託事業費	356千円	245千円	333千円								
年度	H29	H30	R1																		
受託事業費	356千円	245千円	333千円																		
<p>②河川関係負担金事業 252千円</p> <p>由良川水系河川改修事業促進期成同盟会外2団体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金</td> <td>252千円</td> <td>252千円</td> <td>252千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 由良川水系河川改修事業の促進に寄与した。</p>						年度	H29	H30	R1	負担金	252千円	252千円	252千円								
年度	H29	H30	R1																		
負担金	252千円	252千円	252千円																		
<p>③浜川水路橋維持管理事業 619千円</p> <p>弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業 操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2,369千円</td> <td>2,142千円</td> <td>619千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 水路橋の適切な維持管理を行い、浜川の機能を保全することができた。</p>						年度	H29	H30	R1	維持管理費	2,369千円	2,142千円	619千円								
年度	H29	H30	R1																		
維持管理費	2,369千円	2,142千円	619千円																		
款	7 土木費	項	5 都市計画費	予算現額	決算額																
		目	2 下水道費	914,338千円	914,338千円																
<p>①下水道特別会計繰出金事業 914,338千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>837,466千円</td> <td>901,187千円</td> <td>914,338千円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H29	H30	R1	繰出金	837,466千円	901,187千円	914,338千円								
年度	H29	H30	R1																		
繰出金	837,466千円	901,187千円	914,338千円																		
款	11 災害復旧費	項	1 土木施設災害復旧費	予算現額	決算額																
		目	1 道路橋梁災害復旧費	62,470千円	50,447千円																
<p>①道路橋梁復旧事業(補助) 39,089千円 (2件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>72,363千円</td> <td>648千円</td> <td>39,089千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>②道路橋梁復旧事業(単独) 11,358千円 (3件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>22,702千円</td> <td>36,567千円</td> <td>11,358千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 平成30年9月30日に来襲した台風24号による豪雨により被災した町道施設等の災害復旧工事を実施し、全箇所が完成した。</p>						年度	H29	H30	R1	事業費	72,363千円	648千円	39,089千円	年度	H29	H30	R1	事業費	22,702千円	36,567千円	11,358千円
年度	H29	H30	R1																		
事業費	72,363千円	648千円	39,089千円																		
年度	H29	H30	R1																		
事業費	22,702千円	36,567千円	11,358千円																		
																					
		<p>工事着手前</p>																			
		<p>工事完成時</p>																			

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	1 児童福祉総務費	261,262千円	256,231千円

①子育て総務事業 197,398 千円

町内私立保育所(園)及び町外保育所(園)に委託し、保育を実施するとともに、保護者の仕事と育児の両立を図った。

- ・北条みどりこども園委託料 87,738 千円
園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H29	人数	8	14	15	15	15	13	80
H30	人数	9	10	17	16	13	17	82
R1	人数	12	12	11	17	17	14	83

※町外からの広域入所は含まず

- ・栄保育所委託料 22,931 千円
園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H29	人数	3	4	5	8	4	0	24
H30	人数	3	3	3	0	7	2	18
R1	人数	2	3	3	0	0	4	12

※町外からの広域入所は含まず

- ・広域保育委託料 70,393 千円
園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H29	人数	8	10	11	15	8	20	72
H30	人数	11	12	10	11	10	6	60
R1	人数	10	12	13	6	14	11	66

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

②木育推進事業 300 千円

7か月児健診時に県産材を使った積木セットをプレゼントした。

- ・配布数 94セット

【成果】 親子で木と触れ合うことを通して、豊かな心を育んでもらえるきっかけを提供できた。



③在宅育児支援事業 12,046 千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

- ・支給件数 延べ 162件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

④ネウボラ事業 2,856 千円

専任のコーディネーター(保健師)が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

- ・母子健康手帳交付件数 94件、養育支援訪問件数 延べ 32件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦(世帯)については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後サポート事業 37 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを派遣した。

・利用件数 4件

【成果】母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え、子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業 10 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

・アウトリーチ型 延べ 3件

【成果】母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えた。

⑦パパママ教室 166 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

・参加者 延60人（妊婦 延べ 37人、夫等家族 延べ 23人）

【成果】夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。



⑧1歳児すくすく教室 17 千円

日々の育児が変化する1歳頃に、発達段階に沿った育児に関する知識の普及を行った。6か月児健診から1歳6か月児健診までの間、乳幼児と家族の状況を把握し育児支援を行った。

・参加者 45人（乳児 43人 保護者 45人）

【成果】参加者の日頃の困り事に応じた講話を行う事で育児不安の軽減につながった。また、保護者同士の情報交換や、身近な相談場所や支援者の周知機会になった。

⑨親育ち事業 160 千円

虐待の未然予防につなげるため、子育ての不安軽減や養育能力の向上を図るための「笑育講座」や「生きるための心の教育」に取り組んだ。

【成果】保護者が子どもに対して「ほめる、共感する、待つ」など肯定的な関わりを学び、虐待の未然予防につなげることができた。

⑩施設等利用給付事業 18 千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、一時預かり、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

・利用件数 1件

【成果】保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	2 認定こども園管理運営費	512,444千円	492,610千円

①町立こども園管理運営事業 219,203 千円

保育・教育課程等に基づいて一人ひとりの発達に応じたきめ細やかな保育・教育を実施した。

・北条こども園管理運営事業	89,724 千円	・大誠こども園管理運営事業	64,374 千円
・由良こども園管理運営事業	46,089 千円	・大谷こども園管理運営事業	19,016 千円

園児数 (3月末現在)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
H29	39	61	79	93	103	103	478	20	498
H30	30	62	73	96	95	109	465	14	479
R1	23	61	74	87	98	99	442	7	449
北条こども園	9	28	33	38	43	37	188	4	192
大誠こども園	11	17	20	28	22	34	132	1	133
由良こども園	3	14	17	19	24	18	95	1	96
大谷こども園	0	2	4	2	9	10	27	1	28

保育料徴収の状況 (単位:千円・%)

区分	H29年度			H30年度			R1年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	74,382	74,231	99.8	53,431	53,431	100.0	35,293	35,293	100.0
滞納繰越分	802	541	67.5	410	305	74.4	105	48	45.7
計	75,184	74,772	99.5	53,841	53,736	99.8	35,398	35,341	99.8

※令和元年10月から幼児教育・保育無償化制度施行。

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

【成果】 国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全を確保した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	3 放課後児童健全育成費	22,034千円	21,550千円

①放課後児童健全育成事業 21,550 千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。(7月から民間事業者へ委託して実施。)

利用児童数等 北条なかよし学級 定員:100人 大栄こども学級 定員:80人

区分	児童数(3月)								月平均 登録数	最大登録		年日数 (日)
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	月		人数		
北条	H29	34	28	19	17	7	2	107	112.9	8月	136	291
	H30	32	26	18	7	5	1	89	103.5	7月	118	289
	R1	51	27	16	11	3	1	109	115.0	7月	129	286
大栄	H29	24	30	14	5	6	0	79	76.1	7月	94	291
	H30	23	18	19	2	0	1	63	75.6	4月	100	289
	R1	29	22	17	11	0	0	79	82.2	4月	90	286

※人数は、利用数ではなく申込数

【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	5 地域子育て支援費	3,756千円	3,415千円

①北栄子育て支援センター事業 2,189 千円

子育て家庭の交流の場の提供や、母親のリフレッシュにつながる取り組みを行った。

利用数 (数値は延べ数)

区分	H29	H30	R1
年間利用世帯数	3,820	4,186	4,778

【成果】 「リフレッシュできた」「他の人と交流できてよかった」などの声が多く、満足度の高い取り組みを行うことができ、親子の交流や母親の気分転換を図ることができた。

②ファミリー・サポート・センター事業 36 千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と援助ができる人(提供会員)の調整を行った。

会員数 (3月末)

区分	H29	H30	R1
活動件数	1	7	10
提供会員	12	12	3
依頼会員	28	37	37
会員合計	40	40	40

【成果】 子育て世代のサポートを行った。

③乳幼児健康支援一時預かり事業 1,169 千円

子どもが病気にかかりこども園等に登園することができず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市に委託し行った。

区分	H29	H30	R1
病児保育事業	22	17	66
病後児保育事業	19	14	5

※年間利用児童数(延人)

【成果】 病気の子どもを安心して預ける場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。

④休日保育事業 21 千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託し行った。

・利用件数 1 件

【成果】 保護者の就労等のサポートができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予算現額	決算額
		目	1 教育委員会費	1,782千円	1,777千円

①教育委員会事業 1,777 千円 (教育関係負担金含む)

毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。

- ・教育委員会 定例会12回(毎月)、臨時会2回
- ・教育委員会視察10月16日～17日(1泊2日)
視察先:堺市教育委員会、奈良県明日香村教育委員会、兵庫県播磨町教育委員会、播磨西小学校
- ・総合教育会議 5月28日、12月4日
意見交換のテーマ コミュニティスクールの導入について/通学路の安全確保について など
- ・計画訪問(こども園、小・中学校) 前期:5月～6月、後期:10月～11月
- ・その他、入学(園)式、運動会など多数
- ・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金

【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。
計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について協議した。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予算現額	決算額
		目	2 事務局費	396,700千円	248,617千円

①事務局事業 19,830 千円

就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4名配置。
音田教育振興基金から、経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。

授業用及び校務用パソコンの整備(リース)

音田教育振興基金給付状況

項目	H29	H30	R1
給付金支給者	6人	5人	6人
給付金合計額	60万円	50万円	60万円

【成果】 指導主事4名により、こども園幼児から中学校生徒までの子どもたちの豊かな育ちや学びなどについてこども園、小中学校等へ指導等を行った。学校教育以外においても家庭教育や人権教育にも指導的立場で意見を述べ、教育の振興を図った。
音田教育振興基金を活用し、向学心旺盛ながら経済的に支障があるなどの中学生に高等学校入学準備費を支給し、学習を支援した。

②事務局関係負担金事業 12,313 千円

教育に関する次の負担を行った。

学校災害共済掛け金負担金	1,103 千円
少人数学級実施協力金	9,000 千円
中部こども支援センター負担金	1,262 千円
ICT共同化推進協議会負担金	730 千円 など

【成果】 少人数学級の導入により、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させたほか、不登校児童生徒の学校復帰を目指す中部子ども支援センターの活動を支援した。

③教育力向上事業 4,929 千円

大学教授等を講師に迎え授業研究を行うとともに、先進学校等の取り組み事例を学ぶなど、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを行った。

- ・サマースクール（7月22日ほか7日間、中央公民館講堂など）
- ・ウインタースクール【英語版】（1月27日ほか9日間、各中学校）
- ・生き方を学ぶ講演会
- ・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト）
- ・自治会等地域ボランティア学習支援（松神自治会外4団体）
- ・英語検定受験料助成 3級受検26人、準2級受検5人
- ・先進地視察（9月19、20日秋田県大館市教育委員会、釈迦内小学校ほか）

【成果】 サマースクール～まなびの広場～や自治会等地域ボランティア学習支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。
先進地視察では、参加者が所属校において報告するとともに参考となる取り組みを学校研究推進に反映させ実践化を図ることができた。また、この取組を参考に「北栄町学力向上推進計画」の改訂を行い、学校への周知及び実践に活かすことができた。
学力調査等の実施・分析により、指導内容の工夫を図った。

④ふるさと鳥取見学（県学）支援事業 728 千円

県の補助金（補助率1/2）を活用し、社会科見学を行った。

北条小学校 4年：米川用水、5年：海とくらしの史料館、水産物市場
大栄小学校 4年：大成商事、5年：日本海TV、6年：妻木晩田遺跡

⑤県立特別支援学校通学支援事業 4,549 千円

県立倉吉養護学校小学部に通学する医療ケアが必要な児童について鳥取県交付金（10分の10）を活用し通学支援を行う事業。児童3名の通学を支援した。

⑥発達支援体制整備事業 891 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。

⑦エアコン整備事業（繰越） 144,026 千円

エアコン未整備の教室に空調機を設置した。

北条小：28室、大栄小：29室



【成果】 小学校全室にエアコンを設置することができ、教育環境の向上を図ることができた。

⑧小学生自転車用ヘルメット着用推進事業 27 千円

小学生自転車用ヘルメットの購入費補助を行った。

申請者：19人

【成果】 補助制度の創設・実施により、PTAでも積極的に制度の紹介をしていただくなど、着用の推進につなげることができた。

⑨コミュニティスクール推進体制構築事業 682 千円

推進委員会を設置し、学校と地域を結ぶ推進体制を構築した。

【成果】

予定通り大栄中学校にコミュニティスクールを導入することができ、次年度以降の実践に向けて、体制を整えることができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費	8,119千円	8,070千円

①外国青年招致事業 8,070 千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

- ・4月～7月 アメリカ国籍女性 北条中学校勤務
- ・4月～3月 ジャマイカ国籍女性 大栄中学校勤務
- ・8月～3月 ジャマイカ国籍女性 北条中学校勤務

【成果】 中学校での学習活動に加え、小学校での外国語活動及び外国語科学習の先行実施において、円滑な実施に資することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費	41,952千円	39,736千円

①北条小学校管理事業 37,286 千円 ※風のまちづくり事業充当5,000千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・教室照明LED化工事 3,761 千円
- ・家庭科室ガス配管改修工事 1,284 千円
- ・ブランコ安全柵設置工事 609 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員、外国語通訳等支援員等の設置 12,421 千円
児童数 (令和元年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	3 組	38 人	36 人	74 人
2年	3 組	27 人	35 人	62 人
3年	3 組	31 人	37 人	68 人
4年	2 組	23 人	34 人	57 人
5年	2 組	35 人	28 人	63 人
6年	2 組	33 人	24 人	57 人
特別支援学級	7 組	21 人	12 人	33 人
合計	22 組	208 人	206 人	414 人

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 2,450 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

区 分	H29	H30	R1
利用児童数	50人	63人	76人
対全校児童数	12.3%	15.5%	18.4%

※H29から米里自治会児童は全学年バス通学に変更
H30からさつきヶ丘自治会児童は冬期バス通学に変更

【成果】・遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予算現額	決算額
		目	2 大栄小学校管理費	53,768千円	49,870千円

①大栄小学校管理事業 39,775 千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・くろぼくルームエアコン取替工事 1,540 千円 ・休憩室改修工事 1,226 千円
- ・プール改修工事 847 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 13,718 千円

児童数 (令和元年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	29 人	29 人	58 人
2年	3 組	32 人	39 人	71 人
3年	2 組	31 人	21 人	52 人
4年	2 組	35 人	29 人	64 人
5年	2 組	20 人	33 人	53 人
6年	2 組	34 人	21 人	55 人
特別支援学級	4 組	17 人	3 人	20 人
合計	17 組	198 人	175 人	373 人

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 10,095 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

区 分	H29	H30	R1
利用児童数	166人	188人	205人
対全校児童数	44.9%	48.8%	55.0%

【成果】 遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予算現額	決算額
		目	3 小学校教育振興費(共通)	3,564千円	2,724千円

①小学校外国語教育活動事業 1,998 千円

小学校に1名ずつ外国語講師を配置。小学3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科の学習を先行して実施。

【成果】 ALT、英語専科教員と連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

②小学校教育振興関係負担金事業 135 千円

次のとおり負担した。

- ・中部小学校教育研究費負担金 90 千円 ・中部学校保健会負担金 8 千円
- ・中部小学校体育連盟負担金 26 千円

【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

③児童通学支援事業 583 千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。

補助対象地区 松神、下神

区 分	H29	H30	R1
補助児童数	33人	35人	33人
対全校児童数	8.1%	8.6%	8.0%

【成果】 遠距離通学児童の通学時の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減をした。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予算現額	決算額
		目	4 北条小学校教育振興費	7,681千円	7,126千円

①北条小学校教育振興事業 7,126 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費 1,916 千円

就学援助事業(要保護・準要保護) 3,342 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

	区分	H29	H30	R1
対象	保護者数	27人	38人	40
	児童数	40人	51人	48
	児童の割合	9.8%	12.6%	11.6%

特別支援教育就学奨励事業 537 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

	区分	H29	H30	R1
対象	保護者数	20人	21人	18人
	児童数	20人	22人	19人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予算現額	決算額
		目	5 大栄小学校教育振興費	5,859千円	5,394千円

①大栄小学校教育振興事業 5,394 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費
1,797 千円

就学援助事業(要保護・準要保護)
1,937 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

	区分	H29	H30	R1
対象	保護者数	24人	20人	22人
	児童数	32人	28人	28人
	児童の割合	8.6%	7.3%	7.5%

特別支援教育就学奨励事業 331 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

	区分	H29	H30	R1
対象	保護者数	13人	13人	13人
	児童数	13人	13人	13人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	6 言語通級指導教室費	103千円	101千円																														
<p>①言語通級指導教室事業 101 千円</p> <p>大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。</p> <p>【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせた。</p>																																			
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	7 発達通級指導教室費	222千円	206千円																														
<p>①発達通級指導教室事業 206 千円</p> <p>大栄小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。発達障がいのある児童等に指導を行った。</p> <p>【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけた。</p>																																			
款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額																														
		目	1 北条中学校管理費	45,169千円	40,995千円																														
<p>①北条中学校管理事業 40,995 千円 ※風のまちづくり事業充当14,058千円</p> <p>学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室照明LED化工事 12,179 千円 ・ 体育館屋根樋修繕工事 988 千円 ・ ホワイボード張替工事 729 千円 <p>学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 13,276 千円</p> <p>生徒数 (令和元年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>学級数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2 組</td> <td>31 人</td> <td>24 人</td> <td>55 人</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>2 組</td> <td>27 人</td> <td>33 人</td> <td>60 人</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>2 組</td> <td>31 人</td> <td>35 人</td> <td>66 人</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>4 組</td> <td>8 人</td> <td>8 人</td> <td>16 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10 組</td> <td>97 人</td> <td>100 人</td> <td>197 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。</p>						学年	学級数	男	女	合計	1年	2 組	31 人	24 人	55 人	2年	2 組	27 人	33 人	60 人	3年	2 組	31 人	35 人	66 人	特別支援学級	4 組	8 人	8 人	16 人	合計	10 組	97 人	100 人	197 人
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	2 組	31 人	24 人	55 人																															
2年	2 組	27 人	33 人	60 人																															
3年	2 組	31 人	35 人	66 人																															
特別支援学級	4 組	8 人	8 人	16 人																															
合計	10 組	97 人	100 人	197 人																															

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額																														
		目	2 大栄中学校管理費	56,566千円	51,864千円																														
<p>①大栄中学校管理事業 51,864 千円 ※風のまちづくり事業充当8,276千円 学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室照明LED化工事 6,895 千円 ・ 掲揚台設置工事 918 千円 ・ 校長室エアコン更新工事 913 千円 <p>学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 12,937 千円</p> <p>生徒数 (令和元年5月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>学級数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2 組</td> <td>24 人</td> <td>36 人</td> <td>60 人</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>2 組</td> <td>23 人</td> <td>26 人</td> <td>49 人</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>3 組</td> <td>35 人</td> <td>45 人</td> <td>80 人</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級</td> <td>3 組</td> <td>8 人</td> <td>1 人</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10 組</td> <td>90 人</td> <td>108 人</td> <td>198 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。</p>						学年	学級数	男	女	合計	1年	2 組	24 人	36 人	60 人	2年	2 組	23 人	26 人	49 人	3年	3 組	35 人	45 人	80 人	特別支援学級	3 組	8 人	1 人	9 人	合計	10 組	90 人	108 人	198 人
学年	学級数	男	女	合計																															
1年	2 組	24 人	36 人	60 人																															
2年	2 組	23 人	26 人	49 人																															
3年	3 組	35 人	45 人	80 人																															
特別支援学級	3 組	8 人	1 人	9 人																															
合計	10 組	90 人	108 人	198 人																															
款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額																														
		目	3 中学校教育振興費(共通)	10,453千円	8,505千円																														
<p>①中学校教育振興関係負担金事業 324 千円 次のとおり負担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県中学校体育連盟負担金 158 千円 ・ 中部教育協議会負担金 147 千円 ・ 特別支援教育研究会負担金 5 千円 ・ 県中学校指導部連盟負担金 1 千円 ・ 学校図書館協議会負担金 3 千円 ・ 県中学校文化連盟負担金 5 千円 ・ 県中部学校保健会負担金 4 千円 <p>【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。</p> <p>②学習事業 215 千円 中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、総合的な学習として、運動会、文化祭等を行った。</p> <p>【成果】 卒業生等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を見つめる上で参考とさせたほか、運動会等により学級集団で目標達成を目指す取り組みを図った。</p> <p>③修学旅行引率費補助金事業 191 千円 引率費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北条中学校 3学年 68名 教職員 7名 4月24日～2泊3日 奈良・京都・大阪方面 大栄中学校 3学年 79名 教職員 8名 5月7日～2泊3日 東京方面 																																			

④生徒派遣事業 1,756 千円

各種大会等に参加のためのバスの借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。

- ・バス借り上げ 899 千円 ・交通費等助成 857 千円
- ・主な派遣先 全国中学柔道大会(兵庫県)、中国中学ソフトボール選手権大会(島根県)

⑤心の教室相談事業 1,192 千円

大栄中、北条中にそれぞれ相談員1人を設置して、生徒の悩み相談を行った。

(相談件数)

区分	H29	H30	R1
北条中	34件	54件	127件
大栄中	46件	68件	106件

【成果】 心の教室相談員の配置により、気軽に相談できる環境を整え、悩み等の解決を図った。

⑥職場体験学習事業 73 千円

北条・大栄中学校2年生が町内事業所の協力のもと、社会体験学習を実施した。

【成果】 体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを経験したほか、社会の規律やマナーを学んだ。

⑦部活動振興事業 4,755 千円

・部活動指導員の設置

北条中:卓球、バスケットボール、サッカー、バドミントン、吹奏楽、剣道(2名)

大栄中:柔道、卓球(男女)、剣道、バレーボール

【成果】 12名の指導員による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	4 北条中学校教育振興費	9,756千円	9,365千円

①北条中学校教育振興事業 9,365 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

- ・図書・教材備品購入費 1,918 千円

就学援助事業(要・準要保護) 5,556 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H29	H30	R1
対象	保護者数	25人	24人	34人
	生徒数	28人	31人	44人
生徒の割合		13.6%	14.8%	22.3%

特別支援教育就学奨励扶助事業 379 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H29	H30	R1
対象	保護者数	3人	6人	9人
	生徒数	3人	6人	9人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	5 大栄中学校教育振興費	7,457千円	7,066千円

①大栄中学校教育振興事業 7,066 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 2,448 千円

就学援助事業(要保護、準要保護) 2,922 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分	H29	H30	R1	
対象	保護者数	14人	17人	19人
	生徒数	15人	17人	20人
生徒の割合	7.10%	8.3%	10.1%	

特別支援教育就学奨励事業 186 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

項目	H29	H30	R1	
対象	保護者数	10人	7人	4人
	生徒数	10人	7人	4人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	4 学校給食費	146,653千円	141,807千円

①学校給食センター管理事業 58,619 千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	H29	H30	R1
北条こども園	235 回	238 回	229 回
北条小学校	191 回	189 回	181 回
大栄小学校	188 回	188 回	182 回
北条中学校	190 回	188 回	181 回
大栄中学校	188 回	186 回	181 回

※新型コロナウイルスの影響による
給食中止 3月2日～3月16日(11食)

・学校給食調理等業務委託 (単位:千円)

区分	H29	H30	R1
委託料	39,960	39,960	40,330

※業務委託はH28から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立(6月)

サブライズ給食(年2回)

地産地消懇談会(7月)

住民試食会(10月)

全国学校給食週間(特別献立、交流給食、小中学生給食作品展)

・給食費の徴収状況

(単位:千円・%)

区分	H29年度			H30年度			R1年度			
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
小学校	現年	45,100	44,986	99.7	45,025	45,022	99.99	43,396	43,396	100.00
	滞納	1,298	272	21.0	1,030	268	26.0	764	339	44.4
	計	46,398	45,258	97.5	46,055	45,290	98.3	44,160	43,735	99.0
中学校	現年	28,772	28,620	99.5	27,948	27,942	99.98	25,509	25,509	100.00
	滞納	1,917	183	9.5	1,553	88	5.7	1,472	438	29.8
	計	30,689	28,803	93.9	29,501	28,030	95.0	26,981	25,947	96.2
合計	77,087	74,061	96.1	75,556	73,320	97.0	71,141	69,682	97.9	

【成果】 年間を通し、安心安全な学校給食の提供が実施できた。また、学校給食週間、試食会等における食育の取り組みを計画的に実施することができた。また、住民試食会、議員試食会を開催し、地域住民の学校給食の取り組みの共通理解を図ることができた。

学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。



サプライズ給食(北栄町産いちごのパンケーキ)



住民を対象に開催した試食会

②給食費事業(賄材料費) 74,820 千円

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多用し、児童生徒の食育推進に繋げた。町費負担による地元食材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

・地産地消率(県指定44品目)

区分	H29	H30	R1
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	95 %	94 %	98 %
県平均	67 %	70 %	70 %



サプライズ給食(北栄町産シャインマスカットのフルーツサンド)

【成果】

年間を通して、品質の良い学校給食用食材を安定的に、なるべく安価に供給できた。また、地元食材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。

令和元年度の学校給食における地産地消率(県統計)は県内1位(5年連続)。



北条女性会より学校へ寄贈されたメッセージ入りのメロン(地産地消の取り組み)



校区合同学校給食展 (2/1~2/14)

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	1 社会教育総務費	60,002千円	58,910千円

①社会教育総務費事業 1,087千円

- ・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 3回
- ・委員の各種研修等への参加 3回(鳥取県社会教育振興大会・鳥取県社会教育関係者研修会ほか)

【成果】 社会教育に関する企画立案によって社会教育を振興し、研修参加などによって委員及び職員の資質向上を図ることができた。特に鳥取県社会教育振興大会では、本町の取組みである「家庭教育12か条」をテーマとして発表し、県内の社会教育関係者から意見をもらうことができ、よりよい取組みにつながった。

②社会教育講演会事業 17千円

- ・宝くじ文化公演「齋藤孝講演会」
- 演台:『人間関係をつくるコミュニケーション力』
- 期日:令和元年10月26日(土)
- 場所:北栄町大栄農村環境改善センター
- 講師:齋藤 孝 氏(明治大学文学部教授)



【成果】 町民の教養・文化活動への関心を高めることを目的に、多岐にわたる活動をされている齋藤孝氏の講演を実施した。320名と多くの来場者があった。アンケート結果からも非常に満足度の高い講演を実施することができた。

③社会教育総務関係負担金事業 609千円

- 社会教育に関する協議会等の負担金
- ・東伯郡社会教育協議会
 - ・鳥取県社会教育協議会
 - ・鳥取県社会教育委員連絡協議会
 - ・倉吉地区少年補導センター

【成果】 関係機関との連携により社会教育振興につながった。

④青少年育成北栄町民会議交付金事業 341千円

- ・各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。

【成果】 あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となって取り組む青少年健全育成につながった。

- ・あいさつ運動モデル自治会 15自治会
- ・あいさつ運動推進事業所 84事業所(うち新規登録10)



あいさつ運動モデル自治会認定式
(昨年度末に認定したみどり西自治会)

⑤社会教育推進事業 159千円

- ・届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を図る。

回数 年間132回
(含:おとなほくえい塾40回、認知症予防セットメニュー4回、貸出DVD2回)

会場 各自治会公民館等

参加者 延べ2,878人
(含:おとなほくえい塾797人、認知症予防セットメニュー39人、貸出DVD43人)

年度	H29	H30	R1
回数	73回	95回	132回
参加者	1,763人	2,484人	2,878人

【成果】 自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体から申し込みがあった。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。

⑥社会教育関係団体活動費補助金事業 187千円

社会教育関係団体の活動に対し補助した。

- ・町婦人会
- ・北条こども園PTA
- ・大誠こども園PTA
- ・由良こども園PTA
- ・大谷こども園PTA
- ・栄保育所PTA
- ・大栄小学校PTA
- ・北条小学校PTA

【成果】 各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、園行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。

⑦学校・家庭・地域連携協力推進事業 926千円

- ・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」(国・県・町それぞれ1/3負担)
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施した。
※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	H29	H30	R1
回数	169回	146回	149回
参加者	2,757人	2,788人	1,353人
ボランティア・保護者	1,248人	1,285人	749人

- ・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回
放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営・実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】 放課後子供教室では、多くの地域の方々に協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考にし、改善につながった。

⑧通学合宿事業 195千円

- ・家庭から離れて、さらにメディアから離れて共同生活をするにより自主性と協調性を養うとともに、今後のメディアとのつきあい方を考えるきっかけづくりをした。
対象は小学5、6年の希望者。北条小は2泊3日で8名が北条健康福祉センターにて、大栄小は3泊4日で13名が大栄健康増進センターにて実施した。

【成果】 通学合宿を通して食事作りができるようになり家庭での手伝いに生かしたり、異学年との交流が深まったりして活動の達成感を感じている。また、ゲーム・テレビ等メディアとのつきあい方を考えるきっかけになった。さらに、町内各団体・鳥取短期大学・鳥根大学・中央高等学園専修学校職員、北栄町職員など、幅広い年齢層のボランティアとの関わりができた。



⑨地域副読本作成事業【繰越事業】 1,288千円

- ・平成29年度に発行した「まちの姿」編に引き続き、歴史編を作成し、小学校6年生に無償配布するとともに中高生の総合学習や町民の出前講座などでも活用できるよう、広く町民向けを想定した内容の副読本を作成した。作成にあたっては、小学校と内容を協議し、監修を文化財保護委員に加え、鳥取県立公文書館、鳥取県立博物館にも協力を得て完成させることができた。3月末に新小学校6年生に配本した。

【成果】 副読本が教科書の北栄版として活用されることで、子どもたちが教科書の内容を身近に感じることができる。また、自分たちの住んでいる町の歴史や町の誇れる人物を知ること、北栄町について理解を深め、ふるさとへの親しみや愛着心の育てる一助となる。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	2 成人式費	522千円	508千円

①成人式事業 508千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。

期 日 令和2年1月3日(金)
 会 場 北条農村環境改善センター
 内 容 式典、恩師激励及び新成人決意表明、祝賀
 アトラクション、記念品授与、記念写真撮影



年度	H29	H30	R1
対象者	146人	152人	156人
出席者	105人	116人	117人
出席率	72%	76%	75%

【成果】 新成人代表が成人としての決意表明を行い、また、参加者受付、式典の司会も新成人が行うなど、新成人が主体的に参画し運営に関わることで新成人としての自覚を持つきっかけとなった。また、地元へ帰郷する機会となり、地域の良さを再確認することで愛着心を育てる一助となった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	3 公民館費	44,120千円	43,478千円

①中央公民館管理事業 3,785千円

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館として、十分に機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

〔中央公民館利用実績〕

	H29	H30	R1
開催日数	358日	359日	360日
利用者数※	18,041人	19,252人	20,882人



※会議室・ロビー利用者数

【成果】 施設の点検を行い必要な対策をしながら町民が安心・安全で気軽に利用できる学習施設として子どもから高齢者まですべての年代を対象に学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

②公民館運営事業 19,618千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 12,382千円

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

・中央公民館大栄分館利用実績

	H29	H30	R1
開催日数	359日	359日	360日
利用者数※	45,482人	45,403人	51,121人

※会議室・ロビー利用者数

【成果】 すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進が図れた。特に児童は地域の協力を得て活発な創作活動できた。

③公民館講座事業 848千円

ニーズが多様化、高度化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広げ、心の豊かさや健康的・文化的な生活の向上をめざし、公民館活動を行った。

〔シニアクラブ(高齢者教室)〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を毎月開催し、生涯学習の推進した。

学習別会員数

	H29	H30	R1
総合学習	48	55	60
パソコン	19	23	18
ニュースポーツ	57	54	55
歌 唱	23	31	32
習 字	10	8	9
フラダンス	11	9	6
絵てがみ	17	15	14
食を考える	10	12	13
絵画	6	6	6



シニアクラブコース別学習
フラダンス教室

学習別参加者

内 容	H29		H30		R1		
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
総合学習	7	延べ185	8	延べ194	8	延べ242	
コース別学習	10	延べ919	10	延べ932	10	延べ972	
全 体 学 習	開講式・講演	1	85	1	80	1	81
	ニュースポーツ交流会	1	48	1	49	1	53
	野外学習	2	72	2	61	2	73
	閉講式・講演	1	80	1	80	1	68

〔自治会生涯学習部長研修〕

自治会の学習活動を促進するとともに、地域課題解決の意識を高めるため、講師を招き、関係機関と合同で地域の人づくり・地域づくりに役立つ研修を実施した。

	H29		H30	R1
	第1回	第2回	第1回	第1回
参加自治会数	20	37	20	58
参加者数	29	49	29	77

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に地域づくり・人づくり活動の推進と多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。

	H29		H30		R1	
	回	人数	回	人数	回	人数
青少年対象講座	23	362	20	417	15	379
成人対象講座	23	199	25	260	4	68

【成果】 青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりを推進した。また、自主的な生きがいのある活動を促進し、ともに学ぶ仲間を広げる取り組みとなった。

④北栄文芸編集・発行経費事業 743千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、医院などに文芸誌を配置した。

〔発刊実績〕 (H31・R1～R2)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

【成果】 町合併前の「北条文芸」から継続して49年間発刊をし続けている功績により、日本海新聞ふるさと大賞2019地域貢献賞を受賞し、ますます編集委員の意識も高まっている。新規投稿者も増え文化・学術的な生涯学習活動につながった。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業

1,903千円

〔第15回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和元年11月3日(日・祝)～15日(金)】

出展状況

	H29	H30	R1
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	6	7	8
洋画	27	20	19
デザイン	—	5	7
書道	24	33	34
彫刻	2	2	2
版画	3	4	8



美術展開会式

写真	18	20	21
工芸	18	27	25
ちぎり絵	11	13	10
切り絵	2	4	3
俳画	6	5	3
絵手紙	8	11	10
和紙あかり	10	10	8
計	135	161	158



公民館まつりオープニングセレモニー

〔第14回公民館まつり〕

北栄町民を対象に文化・芸術・芸能活動の発展と生涯学習の推進を図るため、公民館まつり実行委員会を組織し、日ごろの創作活動や文化・芸能活動を幅広く町民に発表し、更なる取組みの発展を図った。会期初日は、作品展会場でオープニングセレモニーを行い、テープカット、文化教室成果発表や体験コーナーなどの多様な催しを実施した。また、芸能発表会は、会期最終日に多くの芸能活動団体等が日ごろの活動を発表した。

〔公民館まつり展示・発表状況〕

	H29	H30	R1
作品展	32部門 308点	30部門314点	25部門304点
芸能発表会	57組273人	52組260人	59組260人



公民館まつり芸能発表会

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】・美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日頃の取組みを発表する場となった。また、住民には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。

・公民館まつりの作品展・芸能発表では、多くの活動団体・個人の発表、来場者の鑑賞、また、町民が集い交流することで親睦を深め生涯学習意欲を高めることができた。

・ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することができた。

⑥成果還元活動費補助金事業 108千円

〔文化教室等成果還元活動の推進〕

文化教室等が、作品展示・芸能・音楽などを町内各所で発表し、地域周辺住民の楽しみとして還元された活動に対し補助した。

	H29	H30	R1
団体数	20(団体)	21(団体)	19(団体)
延べ回数	39(回)	39(回)	36(回)



ロビー展

【成果】 幅広く町民に生きがいと喜びを提供するなど地域に還元することができた。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、健康の増進や人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑦町文化団体協議会補助金事業 300千円

〔文化団体協議会の活動支援〕

町民の文化的な生活や学びの推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な推進・啓発に対し支援するとともに、中央公民館事業である美術展や公民館まつりの文化芸術作品の出品や芸能活動発表等の事業運営で連携するための活動経費の一部を補助した。

【成果】 文化団体合同発表会を開催し湖南省とも文化交流を行うなど町民の生涯学習推進と文化・芸術活動の発展に寄与した。また、町美術展、公民館まつり、芸能ふれあい発表会にも町と連携し町民に広く文化芸術に触れる機会を提供した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	4 図書館費	41,479千円	40,161千円

①図書館管理事業 4,158千円

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となる施設として、適正に維持管理した。

- ・図書館システム端末OS変更 794 千円(繰越事業)
- ・図書館オストメイト対応トイレ工事 215 千円
- ・図書館小便器用手すり取付工事 136 千円

【成果】 学校図書館を含めた図書館システムの充実により、住民の生涯学習と学校教育を支援することができた。
また、施設の維持管理と必要な改修をすることにより、来館者が安心・安全で、快適に利用できる環境を整えた。

②図書館運営事業 20,733千円

図書館資料の収集、整理、保存を行い、資料相談の充実を努めた。また、講座事業や催しを実施し、住民に親しまれ暮らしに役立つ図書館として、適正に運営した。

- ・図書購入費(書籍・視聴覚資料等) 4,750 千円

利用実績(北条分室・雑誌・AV資料全て含む)

年度	H29	H30	R1
利用登録者数(人)	13,058	13,317	13,183
実利用者数(人)	2,219	2,102	2,125
来館者数(人)	58,843	59,963	58,765
貸出冊数	86,123	85,194	84,255
蔵書冊数	131,151	132,432	136,082
資料購入数	4,002	3,872	2,854

主な事業・行事
(図書館本館)

項目	H29		H30		R1	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
あたまイキイキ音読教室	12回	89人	12回	97人	12回	155人
出前音読教室	6回	97人	17回	192人	16回	250人
図書館まつり	2日間	726人	2日間	651人	2日間	747人
「源氏物語を読む」講座	20回	509人	20回	488人	20回	482人
郷土史入門講座	4回	97人	4回	93人	2回	74人

『特集・展示コーナー』

＜特集コーナー＞

「万葉集(新元号に向けて)」「英語」「七夕」「人権絵本」「保存食」
「敬老おすすめの本」「中学生おすすめの本」「クリスマス」
「男女共同参画の本」「若い人におすすめの本」「ワイン」
「書を楽しむ」「追悼特集・・・樹木希林、市原悦子、田辺聖子など」
「2019年を振り返って・・・ベストセラー」「新生活応援」など

＜パネル展＞

「自閉症啓発パネル展」「結核と性感染症パネル展」「ホテルマップ」
「原爆と人間パネル展」「動物愛護パネル展」「山根和夫遺作展」
「北方領土パネル展」「新春書家五人展」「鳥取県民の日」など



元号に関する本の展示

(北条分室)

項目	H29		H30		R1	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	2日間	246人	2日間	166人	2日間	280人

「絵本・紙芝居などの読みきかせ」

読みきかせボランティア「つくしんぼ」により、北条地区のこども園・保育園・小学校・福祉施設などにおいて毎月1回ずつ実施した。

「夏休みビデオ上映会」「工作教室」「しおり作り」などを実施した。

「特集コーナー」「パネル展」は、本館と同様のもの、分室独自のものを双方を実施した。

- 【成果】
- ・資料を幅広く計画的に収集し、活用することにより、町民の多様なニーズに応えることができた。
 - ・テーマを決めて特集コーナーやパネル展示を設置し、随時入れ替えることによって、時節や社会情勢に応じた情報を提供することができた。
 - ・図書館本館・北条分室が連携し、同時にコーナーを設置することにより、利用の相乗効果を図ることができた。
 - ・土曜講座『源氏物語』を読む』『郷土史入門』はともに受講者が熱心であり、継続した学びの機会を提供できた。また、講座に関する図書等の貸出と利用促進につながった。
 - ・図書館まつりでは、「ふれあいコンサート」や「英語でおはなし会」、謎解きスタンプラリーなど、親子で参加できる内容を企画したことで、ともに楽しむ場を提供できた。
 - ・各種の催しで来館を促進し、関連する図書資料の活用につながった。



音読体験教室



おはなし会(図書館まつり)

③「今こそ絵本を！」推進事業 429千円

・ブックスタート(生後7か月児対象)

乳児健診時に生後7か月の乳児と保護者に絵本等を手渡す。ブックスタートの趣旨説明や読みきかせボランティアによる絵本の読みきかせを行った。

年度	H29	H30	R1
対象者(組)	89	104	100
配布数	89	100	97

・マタニティ・ファーストブック(母子手帳交付者)

教育総務課 子育て世代包括支援センターにおいて母子手帳の交付と同時に絵本引換券を発行し、出産までに希望の絵本1冊と「みんな、絵本から」(柳田邦男 著)に引き換える。引き換えの際に図書館司書が、おなかの赤ちゃんに絵本を読むことで母子ともに心が安定するなど効果があることを説明し、人生における絵本との出会いを提供した。

年度	H29	H30	R1
対象者(組)	116	100	93
配布数	64	58	59

・絵本のすすめ講座

「音読体験教室」(高齢者編)

期日:10月17日(木)・11月21日(木)

場所:図書館 研修室

講師:図書館職員

参加人数:14人

絵本のすすめ公開授業「絵本を文学として読む」(中学生編)

期日:12月3日(火)

場所:北栄町北条農村環境改善センター

講師:柳田邦男氏(ノンフィクション作家、絵本推進活動家)

参加人数:185人



柳田氏による公開授業の様子

- 【成果】
- ・従来からある図書館児童コーナー、町長室、出納室前の「おすすめ絵本コーナー」のほか、福祉施設2か所に絵本架を設置し、町民が絵本に触れる機会を広げることができた。
 - ・ブックスタートを健診時にあわせて実施することにより、欠席者を除いて対象者に絵本を届けることができた。
 - ・マタニティ・ファーストブックは、本の引き換え場所を図書館とパパママ教室に拡充し、より多くの対象者に絵本を届けることができた。
 - ・音読教室のプログラムに絵本を取り入れることで、参加者に絵本に触れる機会が提供でき、絵本を通して懐かしさや心の安らぎにつながる取り組みとなった。
 - ・音読体験教室では、普段の音読教室に加え、教室の進め方やプログラムの内容等(絵本の活用など)について説明し、団体ごとに自主的な運営に取り組めるようなきっかけづくりとした。

④図書館関係負担金事業 5千円

鳥取県図書館協会負担金

- 【成果】 他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供された。また、全国図書館大会や部門別研究集会への参加など、様々な支援・情報が得られ、業務遂行の上で参考になった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	5 文化費	1,361千円	1,335千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 1,225千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、生の優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。

学校名	事業名	演目
北条小	青少年劇場巡回公演(児童劇)	トラの恩返し
大栄小	青少年劇場巡回公演(児童劇)	とどろヶ淵のメッケ
大栄中	芸術鑑賞教室	青少年「狂言」鑑賞会

※北条中学校は、この事業を利用せず太鼓鑑賞を実施

【成果】 本物の芸術に触れる機会を提供したことにより芸術への関心を高めることができた。

②北栄文化回廊事業 110千円

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結し、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させるとともに、「北条ふるさとまつり」と連携し、「文化の薫るまち」のイメージの浸透を図った。

また、図書館、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間 令和元年11月3日(日・祝)～11月15日(金)

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展(11/3～15)	北条農村環境改善センター	965 人
砂丘開拓の歴史 ～砂丘ブドウ栽培110年～ (10/26～11/24)	北栄みらい伝承館	183 人
山根和夫遺作展(11/1～ 12/2)	北栄町中央公民館ほか	
お茶席(11/3)	北条健康福祉センター	130 人
おとなほくえい塾ものづくりコーナー(11/3)	北条健康福祉センター	50 人
北条砂丘太鼓(11/3)	北条健康福祉センター駐車場	- 人
書道パフォーマンス(11/3)	北条健康福祉センター駐車場	- 人
朝の元気配達便出張録音(11/3)	北条農村環境改善センター駐車場	9 人
図書館まつり【図書館本館】(11/9～10)	北栄町図書館(本館)	747 人
図書館まつり【北条分室】(11/9～10)	北栄町図書館(北条分室)	280 人
齋尾家限定公開(11/11)	齋尾家	23 人
生涯学習課関係 計		2,387 人

※ふるさとまつりオープニング
※ふるさとまつりオープニング

北条ふるさとまつり(11/3)	北条農村環境改善センター駐車場ほか	2,500 人
青山剛昌名探偵コナン 特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	6,093 人
全体計		10,980 人

※期間中来館者数



お茶席



おとなほくえい塾ものづくりコーナー



齋尾家限定公開



北条砂丘太鼓・書道パフォーマンス(北条ふるさとまつり)

【成果】 複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供できた。昨年「北条ふるさとまつり」との相乗効果を狙い、まつりと連携してイベントを行っており、今年も「北条砂丘太鼓」「書道パフォーマンス」は多くの方に観覧いただき、「お茶席」も定員に達した。

今回初めて試みた「おとなほくえい塾」のものづくりコーナーは、50名の参加があり、参加者におとなほくえい塾という制度があることをPRできた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	6 文化財保護対策費	2,162千円	1,651千円

①文化財保護対策事業 1,433千円

本町の文化財保護行政を円滑に推進するため、文化財に対する啓発や調査研究を行うとともに町内に存在する指定文化財等の維持、管理及び埋蔵文化財試掘調査を行い、文化財保護と開発事業との調整を図った。また、「北栄町文化財保存活用地域計画」策定に向け、準備を行った。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・北栄町文化財保存活用地域計画策定に向けた準備
- ・齋尾家住宅限定公開 1回(年2回の予定だったが、1回は中止)
- ・指定文化財等の保護、管理報償 国指定3件 県指定12件 町指定21件
- ・歴史探訪ウォークの開催
- ・国特別天然記念物「オオサンショウウオ」の保護
- ・各種開発事業との調整

【成果】 町内の各種文化財に関して、その保管・活用方針への助言等を基に内容を精査した。北栄町文化財保存活用地域計画策定に向け、文化財保護委員会・自治会長会で意見収集を行うとともに、町内未指定文化財の調査を行うことができた。

国登録有形文化財である齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。また、歴史探訪ウォークでは、LET'S GOほくえいと連携し、高校生による簡単な文化財のガイドをしてもらい、健康づくりにあわせ、文化財を身近に感じてもらうことができた。

必要に応じ、文化財やそれに付随する施設等の補修・維持管理を行い、文化財保護に対する意識の啓発に努めた。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 218千円

北栄町の誇れる近代化遺産である由良台場、六尾反射炉を発信するため、関係自治体と連携し、活用に向け情報を収集した。

【成果】 ・民間グループと連携し、発信イベントを行った(オールウェイズ・砂丘花火特別鑑賞会場)。
・佐賀市との連携による調査実施につなげることができた。
・由良藩倉跡の試掘調査を実施し、近世瓦、整地遺構を検出した他、藩倉以前の遺構・遺物を検出し、包蔵地として認識できた。
町内外に幅広く発信し、文化財の保護と活用を促進しつつ、住民への浸透を図ることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	7 歴史民俗資料館費	6,419千円	5,830千円

①歴史民俗資料館管理事業 3,946千円

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】 博物館資料アドバイザーの助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。

②歴史民俗資料館展示事業(下表参照) 1,883千円

・歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

【入館実績】

期間	開館日数	事業内容	入館者数	町内	町外
4/13～5/6	24	田熊誠遺作展	359人	176人	183人
6/1～7/21	44	町内で発掘された出土遺物	263人	193人	70人
8/3～8/25	23	北栄町の自然	87人	64人	23人
9/14～10/6	23	進木富夫がつくる和紙あかり展	434人	211人	223人
10/26～11/24	30	特別企画展 砂丘ブドウ栽培110年	391人	266人	125人
12/7～1/26	39	明治・大正・昭和の生活道具	195人	106人	89人
2/15～3/31	39	豪農岩本廉蔵	221人	88人	133人
企画展小計			1,950人	1,104人	846人
4/1～3/31		生田和孝・加藤廉兵衛常設展のみ	203人	126人	77人
総入館者数			2,153人		

	H29	H30	R1
入館者数(人)	3,356	3,259	2,153

【成果】 各種展示を通じて町内の文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。特別企画展では砂丘開拓の歴史「砂丘ブドウ栽培110年」と題し、砂丘地開拓とブドウ栽培の歴史、ワイン製造とのつながりを伝えることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	8 民芸実習館費	854千円	756千円

①民芸実習館費事業 756千円

多くの町民が陶芸や油絵などの文化的創作活動が安心・安全、かつ、充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

〔利用実績〕

	H29	H30	R1
開館日数	155日	190日	161日
利用者数	1,116人	1,184人	1,243人



水墨画教室

【成果】 陶芸教室や木工教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、施設の利用促進を図った。版画教室から町美術展入賞者を輩出し文化向上に寄与した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	9 町内遺跡発掘調査費	3,017千円	2,882千円
<p>①町内遺跡発掘調査事業 2,882千円</p> <p>開発行為に伴い、踏査・試掘を実施。(国庫補助事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所 北栄町下神、松神、妻波、由良宿 ・状況 山陰道関係・・・下神・松神・妻波地区において計5箇所のボーリング調査を実施。いずれの箇所も遺構・遺物、クロスナ等は検出されなかった。 <p>由良宿・・・内容確認のため由良藩倉跡の試掘調査を実施。由良藩倉跡の建物に使用されていたと考えられる近世瓦片が多数出土。藩倉に伴うと考えられる整地土面を検出。藩倉以前と考えられる土坑検出。クロスナ層から土器片出土。</p> <p>【成果】 山陰道関係のボーリング調査では、遺構・遺物は検出されず、本調査は不要と考える。由良藩倉跡は、従来包蔵地にされていなかったが、遺構・遺物が検出されたため、包蔵地として範囲をくくる必要がある。</p>					
款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	1 保健体育総務費	6,728千円	6,610千円
<p>①保健体育総務事業 5,925千円</p> <p>北栄町スポーツ推進委員(25人)</p> <p>地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。</p> <p>《主な活動内容》</p> <p>協議会開催 4回(うち1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催)</p> <p>訪問型ニュースポーツ体験事業 9回</p> <p>(地域の団体等に対するニュースポーツの指導)</p> <p>北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会の運営協力 6月16日</p> <p>体力測定の実施 10月15日</p> <p>北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月17日</p> <p>元旦マラソン&ウォーキング大会 1月1日</p> <p>東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 他</p> <p>北栄町スポーツ表彰</p> <p>本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体を表彰する。</p> <p>2月23日開催</p> <p>体育功労賞1人、優秀指導者賞5人、スポーツ最優秀賞2人、スポーツ優秀賞24人、スポーツ敢闘賞97人、スポーツ奨励賞30人</p> <p>【成果】 生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。</p> <p>②保健体育総務関係負担金事業 685千円</p> <p>県体育協会負担金、郡体育協会分担金、県スポーツ推進委員協議会負担金、郡スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか</p> <p>【成果】 関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育振興につながった。</p>					

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	2 保健体育振興費	37,895千円	36,572千円

①保健体育振興事業 306千円

北栄町スポーツ県外派遣費補助金

県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。補助決定件数 13件

【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上につながった。

②北栄スポーツクラブ事業 36,105千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行っていただき、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

指定管理施設

北条体育館 大栄体育館 大誠体育館 勤労者体育センター 北条ふれあい会館
大栄ふれあい会館 北条野球場 大栄野球場 北条運動場 大栄運動場
北条多目的広場 B&G海洋センター

年度	H29	H30	R1
全施設延べ利用人数	194,825人	197,725人	205,351人
スポーツクラブ会員数	1,279人	1,271人	1,238人

【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えているが、近年は横ばいとなっている。北栄スポーツクラブが実施する「シニアスポーツ教室」「はつらつ運動教室」も利用者が増えており、高い評価を得ている。

北栄町版健康寿命日本一大作戦は、8自治会が取り組んでいる。

北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

③ウォーキングのまち北栄町推進事業 127千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。

北栄てくてくウォーキング 4回 参加者延べ876人

【成果】 日常生活の中で気軽に取り組めるウォーキングを行うことで運動習慣の定着につながった。

④訪問型ニュースポーツ体験事業 33千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	H29	H30	R1
回数	22回	20回	9回
訪問した委員	延べ54人	延べ51人	延べ28人

【成果】 小学校親子会など、地域の方にスポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取組みを低年齢層から広げることができた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費	17,500千円	17,152千円

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 17,152千円

第32回大会 6月16日開催

参加申込者数 4,990人

お台場公園多目的広場を発着点とする3キロ、5キロ、10キロのコースで参加者が健脚を競った。

年度	H29	H30	R1
参加申込者	4,729人	4,920人	4,990人



ゴール後はスイカを堪能

〔歳入〕

参加料	16,216,080円
出店料	63,377円
広告掲載料	300,000円
協力金	141,500円
合計	16,720,957円

【成果】 6月中旬の開催に変更し5回目。参加者の熱中症に対するリスク軽減を図り、大会を通じた健康づくりにつながった。また、たくさんの町民がボランティアで大会運営に関わることで、本町の文化・産業・農業を全国に発信し、魅力ある町づくりを推進することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	1 人権推進費	1,074千円	1,016千円

①人権対策関係負担金事業 290千円

県人権文化センター負担金

東伯郡同和対策協議会負担金

部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金

とっとり被害者支援センター負担金

【成果】 関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

②人権啓発活動事業 417千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切に思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。

また、人権啓発用ワッペン・リボンをこども園・保育所(園)、小・中学校等に配布・着用した。

なお、12月7日(土)に「北栄町じんけんフェスティバル2019」を開催した。

〔人権の花運動〕

期 日 10月10日、10月21日

場 所 北条小学校、大栄小学校

内 容 花の苗各820株の栽培

参加人数 小学校児童33人、人権擁護委員



人権の花贈呈式(大栄小)

【成果】 命や人を大切にする心を育てることに寄与した。

〔北栄町じんけんフェスティバル2019〕

期 日 12月7日(土)
 場 所 大栄農村環境改善センター
 内 容 演題:「誰ひとり取り残さない社会をめざして」～虐待の淵を生き抜いて～
 講師:島田妙子氏(一般財団法人児童虐待防止機構理事長)
 参加人数 300人

【成果】「虐待する親の心を救う」をモットーに、子どもを救うことは子どもだけでなく虐待する親の心を救うことになることや、虐待や怒りの感情との付き合い方などを学んだ。

③人権擁護委員事業 264千円

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人
 (主な活動内容)
 ・特設人権相談(町内月1回)
 ・街頭啓発活動
 ・事業所訪問(24事業所)



事業所訪問(人権週間)

倉吉人権擁護委員協議会負担金

【成果】地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款 9 教育費	項 6 人権推進費	予算現額	決算額
	目 2 隣保館運営費	11,382千円	11,029千円

①隣保館管理運営事業 10,798千円

町全体を対象とした人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を行い、福祉の向上にもつなげる取り組みをした。

事業名		H29	H30	R1
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	人権ワークショップ講座	1回	-	-
	同和問題現地研修	1回	2回	1回
	習字教室	24回	24回	23回
	押し花教室	4回	4回	4回
	絵本の読み聞かせ	12回	12回	11回
	おしゃべりサロン	12回	12回	10回
	ほくほくパソコンネット講座	26回	26回	8回
相談件数	93件	66件	116件	
施設利用者数	2,907人	2,600人	3,134人	

【成果】人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。また、「ほくほくプラザだより(館報)」、SNS等による情報発信により、施設利用者の増加につながった。



分かりやすいじんけんの話

②部落解放中学3年生交流参加負担金事業 5千円

部落解放中学3年生交流会の参加生徒・指導者に補助を行った。

【成果】同和問題や様々な人権問題の解消に向けて学習する仲間づくりの場への参加・指導を支援し、参加者の人権尊重社会をつくる一員としての自覚や認識を高めることができた。

③隣保館関係負担金事業 70千円

鳥取県隣保館連絡協議会負担金
中部地区隣保館集会所連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

④隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)の開催 45千円

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことにより事業実施の参考とすることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	3 児童館運営費	6,065千円	5,827千円

①児童館管理運営事業 5,801千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	H29	H30	R1
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室(自然体験含)	10回	3回	7回
料理教室	3回	1回	3回
創作教室	3回	3回	1回
科学実験	1回	1回	1回
工作・木工教室	3回	1回	1回
お魚教室	2回	1回	1回
ほくほく食堂	1回	3回	3回
職場訪問		2回	4回
長期連携行事(もち米作り)	-	3回	2回
異文化を学ぶ(ハロウィン)	-	1回	1回
解放子ども会の集い	1回	1回	1回
施設利用者数	7,790人	10,446人	9,668人

【成果】 地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。



ほくほく食堂

②児童館関係負担金事業 26千円

児童健全育成推進財団会費
鳥取県児童館連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	4 人権教育費	21,777千円	20,692千円

①人権を学ぶ会事業 645千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民が一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。



人権を学ぶ会(国坂浜自治会)

・人権を学ぶ会

項 目		H29	H30	R1
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	63回	63回	63回
	延参加者	995人	1,032人	1,112人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	8回	12回	10回
	延参加者	185人	224人	176人

・各種会議並びに研修会

項 目		H29	H30	R1
人権教育推進協力員会議	実施回数	4回	4回	4回
	延参加者	53人	60人	60人
人権教育地区推進員会議	実施回数	3回	3回	3回
	延参加者	202人	235人	231人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

②人権学習会事業 403千円

小・中学生を対象に人権学習を開催し、人権に関する知識や認識を広げたり深めたりした。

項目		H29	H30	R1
人権学習会 (小学生)	実施回数	22回	21回	43回
	延参加者	201人	266人	382人
人権学習会 (中学生)	実施回数	22回	26回	25回
	延参加者	102人	111人	117人



人権学習会(中学生)

【成果】 お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることにより、自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていくとする意識や態度を育むことができた。

③人権教育推進員設置事業 2,184千円

人権教育推進員(1人)を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を努めた。

項 目		H29	H30	R1
人権教育事業所研修 (人権教育推進員)	実施回数	8回	8回	9回
	延参加者	226人	281人	265人
人権教育事業所研修 (事業所自主研修)	実施回数	10回	9回	7回
	延参加者	361人	352人	260人
人権教育職員研修 (北栄町役場)	実施回数	10回	6回	9回
	延参加者	386人	393人	448人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業 27千円

鳥取県人権教育推進協議会に対し、市町村負担金を交付し活動を支援した。

【成果】 鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。

⑤北栄町人権教育・啓発推進協議会委託事業 980千円

全町民を対象に人権問題の正しい認識を広げる活動を行う北栄町人権教育・啓発推進協議会に啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会へ参加した。

(今年度の主な大会派遣)

大会名	開催場所	参加者数
2019年度部落解放・人権政策確立要求中央集会	東京都	1人
第44回部落解放・人権西日本夏期講座	高松市	2人
第44回人権尊重社会実現鳥取県研究集会	倉吉市	45人
部落解放第51回全国高校生集会	鹿児島市	1人
部落解放研究第53回全国集会	名古屋市	2人
第42回全国人権保育研究集会	福山市	2人
第71回全国人権・同和教育研究大会	津市	7人

※機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。(8月、12月、2月発行)

【成果】 町内の各種団体等で構成される北栄町人権教育・啓発推進協議会に事業を委託することにより、人権啓発を広範に進めることができた。



北栄町人権教育・啓発推進協議会・人権擁護委員による街頭啓発

会 計 名	予算現額	決算額
国民健康保険事業特別会計	2,041,688千円	1,931,065千円

令和元年度は、歳入総額2,011,150千円、支出総額1,931,065千円で収支は80,085千円の黒字となった。

1 国民健康保険税の収納状況

(単位:千円・%)

区 分	H29年度		H30年度		R1年度			
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
現年分	一般被保険者分	434,381	99.0	449,872	98.7	432,524	426,167	98.5%
	退職被保険者等分	9,432	100.0	3,388	100.0	250	250	100.0%
	計	443,813	99.0	453,260	98.7	432,774	426,417	98.5%
滞納繰越分	一般被保険者分	10,307	58.1	5,898	58.9	9,749	6,622	67.9%
	退職被保険者等分	327	79.2	26	31.7	56	0	0.0%
	計	10,634	58.6	5,924	58.6	9,805	6,622	67.5%
合 計	454,447	97.4	459,184	97.8	442,579	433,039	97.8%	

2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位:件・千円)

区 分	H29年度		H30年度		R1年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
療養給付	一般	64,712	1,066,531	64,574	1,092,637	63,424	1,142,161
	退職者	1,858	28,718	796	10,939	137	8,894
療養費	一般	516	3,367	437	5,666	322	2,882
	退職者	9	74	3	21	4	7
審査支払手数料	—	3,858	—	6,270	—	6,316	
高額療養費	一般	2,423	140,617	2,361	154,825	2,641	187,878
	退職者	60	4,636	23	1,821	11	3,173
高額介護合算療養費	5	57	3	16	0	0	

【成果】 被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付(保険者負担分7割～9割及び高額療養費等)を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位:件・千円)

区 分	H29年度		H30年度		R1年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	0	0	0	0
出産育児一時金	14	5,704	11	4,737	13	5,412
葬祭費	26	390	25	375	31	465

【成果】 出産育児・葬祭等に要する経費について給付を行い、経済的な負担を軽減した。

4 特定健康診査受診状況

	H29	H30	R1
特定健診受診率	39.3%	44.1%	41.8%

（※R元は速報値）

【成果】 特定健診受診率は、国が示す目標値60%と比較すると依然として低い状態であり、受診率向上対策が課題となっている。

5 国民健康保険の加入状況(年間平均)

区 分		H29年度	H30年度	R1年度
世帯数		2,385世帯	2,342世帯	2,269世帯
被保険者数	一般被保険者	4,185人	4,115人	4,000人
	退職被保険者数	115人	42人	7人
	計	4,300人	4,157人	4,007人
介護保険第2号被保険者数		1,446人	1,322人	1,234人

H29年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		79人	414人	3人	18人	0人	50人	564人
減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
	92人	396人	9人	38人	154人	37人	726人	

H30年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		79人	396人	2人	13人	0人	10人	500人
減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
	88人	344人	6人	26人	164人	15人	643人	

R元年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		73人	392人	3人	19人	0人	10人	497人
減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計	
	69人	338人	9人	31人	154人	15人	616人	

6 療養の給付等の内訳

区 分		H29年度		H30年度		R1年度	
		費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	一般	593,940	141,921	616,953	149,928	660,461	165,115
	退職者	17,397	151,282	5,608	133,535	11,139	1,591,319
入院外	一般	469,738	112,243	488,402	118,688	485,223	121,306
	退職者	12,484	108,555	5,099	121,412	482	68,866
歯 科	一般	85,900	20,526	84,956	20,645	87,252	21,813
	退職者	2,564	22,294	1,105	26,300	122	17,399
調 剤	一般	269,287	64,346	263,471	64,027	282,767	70,692
	退職者	7,366	64,053	3,384	80,570	707	100,989
食事療養	一般	28,360	6,777	29,113	7,075	29,265	7,316
	退職者	1,288	11,200	433	10,321	253	36,104
訪問看護	一般	12,497	2,986	12,337	2,998	9,195	2,299
	退職者	0	0	0	0	0	0
合 計		1,500,821	349,028	1,510,861	363,450	1,566,866	391,032

【成果】 療養の給付等は1人あたりで見ると増加傾向にあり、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図っていく必要がある。

会 計 名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	1,625,666千円	1,590,537千円

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者(40歳以上)が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「こけないからだ講座」の拡充及び「地域ケア会議」を実践し、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。

【地域ケア会議の状況】



月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、理学療法士、歯科衛生士、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議を行った。

	H29	H30	R1
対象件数	60件	71件	61件

【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目して、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。

決算は、歳入総額16億2,494万3千円、歳出総額15億9,053万7千円、実質収支額は3,440万6千円であった。

1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R2年3月末	49	99	128	155	112	126	76	745
31年3月末	35	105	132	157	128	125	75	757
※死亡者	1	7	12	16	30	49	41	156

※令和元年度中に死亡した認定者数

(2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位:人)

申請区分	申請件数	審査結果									申請取下	合計
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当			
①新規申請	182	24	39	39	27	16	19	6	2	10	182	
更 新	支援1	23	15	4	3	1	0	0	0	0	23	
	支援2	37	5	24	5	1	2	0	0	0	37	
	介護1	88	0	3	36	29	6	6	3	1	88	
	介護2	95	0	5	4	28	31	16	10	0	95	
	介護3	74	0	3	0	10	22	29	7	0	74	
	介護4	61	0	0	0	2	9	36	14	0	61	
	介護5	30	0	0	0	0	0	8	21	0	30	
②小計	408	20	39	48	71	70	95	55	1	9	408	
変 更	支援1・2の者	36	1	0	8	9	4	6	4	3	1	36
	介護1～5の者	45	0	1	0	1	7	15	17	0	4	45
	③小計	81	1	1	8	10	11	21	21	3	5	81
合計(①+②+③)	671	45	79	95	108	97	135	82	6	24	671	

2 地域支援事業 55,500 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業 48,789 千円

(ア) 介護予防・生活支援サービス事業 40,552 千円

● 訪問型サービス

(単位:人、回)

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防訪問介護相当サービス	247		

● 通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防通所介護相当サービス	952		
筋力アップ教室	397	48	通所型サービスA
リフレッシュ教室	298	48	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	435	48	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	325	48	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	286	48	通所型サービスC

● 介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備考
筋力アップ教室	14	通所型サービスA
リフレッシュ教室	10	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	13	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	10	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	17	通所型サービスC

介護予防サービス計画書作成		H29	H30	R1
事業所委託	件数	1,001 件	1,116 件	1,134 件
	委託料	4,101 千円	4,661 千円	4,778 千円
包括直営	件数	607 件	667 件	735 件

(イ) 一般介護予防事業 8,237 千円

● 介護予防普及啓発事業

(単位:人、回)

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアフィット教室	269	46	
転倒予防教室	417	24	
生きがいデイサービス	970	102	
脳活クラブ	219	24	
認知症サポーター養成講座	264	9	
高齢者サークル事業	7,976	1,123	サークル数 20団体
介護予防講座	264	9	

● 地域介護予防活動支援事業

こけないからだ講座	133	9	
こけないからだ講座(フォロー)	251	20	

● 地域リハビリテーション活動支援事業

お口の機能向上事業	51	3	
リハビリテーション専門職派遣事業	28	11	

【こけないからだ講座の状況】



講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	H29	H30	R1
実施自治会(内新規)	25(3)	27(2)	27(1)
その他(介護事業所等)	1	3	3

(2) 包括的支援事業・任意事業 6,711 千円

(ア) 在宅医療・介護連携推進事業 11 千円

2次医療圏である中部圏域1市4町、医師会、福祉保健局協働にて、研修会の開催や情報共有支援、社会資源マップを作成し医療・介護関係機関の連携の推進を図った。

	延人数	開催回数	備考
地域づくりしよいやの会	157	2	第3回はコロナウィルス感染予防で中止

	H29	H30	R1	備考
退院調整率	89.0%	91.6%	89.0%	
連携シート提出率	77.9%	81.1%	77.6%	

(イ) 生活支援体制整備事業 5,457 千円

第1層(町全域)協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層(小学校区単位)協議体「よっしゃやらあ会」を設置し、生活支援や助け合い活動の推進について協議した。

	延人数	開催回数	備考
生活支援サポート養成講座	7	1	
第1層協議体		1	
第2層協議体	112	16	

(ウ) 認知症総合支援事業 206 千円

認知症初期集中支援チームを設置し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント・相談等の初期の支援を包括的・集中的に行った。

開催回数	実件数	延件数	備考
2回	1件	1件	新たに介護(予防)サービスに1件つながった

(エ) 権利擁護事業 2 千円

高齢者等虐待防止連絡協議会		1	
---------------	--	---	--

● 高齢者虐待対応の状況(実数) (単位:人)

	通報相談件数	虐待判断件数	備考
養護者による虐待	7	1	
施設従事者による虐待	1	1	

(オ) 任意事業 1,006 千円 (単位:人、回)

主な事業名	延人数	開催回数	備考
在宅介護者慰労事業	46	2	
家族介護用品支給事業	90		
認知症の人と家族のつどい	39	11	3月はコロナウィルス感染予防で中

認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	H29	H30	R1
協力機関登録数	39	41	40
事前登録者	13	9	14
GPS貸与者	6	2	2

3 介護保険給付費

区 分	種 別	延件数(件)	給付額(円)
居宅(介護予防)サービス	訪問介護	618	55,970,855
	訪問入浴介護	33	2,158,542
	訪問看護	508	18,506,295
	訪問リハビリテーション	50	1,394,082
	居宅療養管理指導	104	520,761
	通所介護	2,146	232,817,129
	通所リハビリテーション	1,808	128,161,182
	短期入所生活介護	240	33,004,607
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	292	20,116,206
	福祉用具貸与	3,057	36,573,099
	福祉用具購入費	64	1,455,159
	住宅改修費	62	4,912,570
	特定施設入居者生活介護	36	7,926,039
	居宅介護支援計画	4,704	58,996,470
	計		602,512,996
地域密着型(介護予防)サービス	地域密着型通所介護	11	1,383,363
	認知症対応型通所介護	24	4,216,869
	小規模多機能型居宅介護	406	58,793,008
	認知症対応型共同生活介護	855	210,059,618
	計		274,452,858
施設介護サービス	介護老人福祉施設	689	174,475,097
	介護老人保健施設	1,240	350,150,586
	計		524,625,683
小 計		1,401,591,537	

特定入所者(介護予防)サービス等	特定入所者介護サービス費	食費 1,306	29,899,492
		居住費 873	11,155,237
	計		41,054,729

高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,462	26,464,766
	高額医療合算サービス費	118	3,323,308
	計		29,788,074

諸 費	審査支払手数料	16,763	1,523,127
-----	---------	--------	-----------

介護給付費合計額			1,473,957,467
----------	--	--	---------------

【成果】 事業計画内での給付費の決算となり、平成22年度から実施している地域ケア会議等の取り組みの成果だと考えられる。

4 介護保険料の収納状況

(単位:千円)

区 分	H29年度		H30年度		R1年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	324,590	100.0	337,380	100.0	334,479	334,479	100.0
現年度分普通徴収	21,920	94.4	22,532	97.1	25,195	24,126	95.8
滞納繰越分	2,069	58.6	1,740	64.3	1,321	812	61.5
計	348,579	99.2	361,652	99.5	360,995	359,417	99.6

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	H29	H30	R1
65歳以上人口	4,945 人	5,045 人	5,098 人
高齢化率	32.7 %	33.7 %	34.5 %
介護認定者数	752 人	759 人	745 人
65歳以上	737 人	745 人	734 人
40～64歳	15 人	14 人	11 人
認定率	15.1 %	15.0 %	14.4 %
介護給付費	1,423,878千円	1,470,857千円	1,473,957千円

要介護認定者数における年度末の状況 (単位:人)

年 度	H29	H30	R1
要支援1	46	35	49
要支援2	99	105	99
要介護1	129	132	128
要介護2	148	157	155
要介護3	126	128	112
要介護4	127	125	126
要介護5	77	75	76
合 計	752	757	745

介護保険の資格取得者・喪失者の状況 (単位:人)

年 度	H29	H30	R1
取得者(65歳到達・転入)	282	287	283
喪失者(死亡・転出)	196	187	230
増 減	86	100	63

居宅サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H29	H30	R1
要支援1	20	21	23
要支援2	66	73	74
要介護1	92	80	83
要介護2	90	96	101
要介護3	62	62	67
要介護4	43	40	43
要介護5	17	15	15
合 計	390	387	406

地域密着型サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H29	H30	R1
要支援1	3	3	3
要支援2	4	5	5
要介護1	21	18	18
要介護2	28	29	29
要介護3	25	28	28
要介護4	18	17	17
要介護5	5	4	4
合 計	104	104	104

施設サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H29	H30	R1
介護老人福祉施設	56	65	63
介護老人保健施設	111	101	111
介護療養型医療施設	0	0	0
合 計	167	166	174

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

会 計 名	予算現額	決算額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	33,516千円	33,421千円

住宅新築資金等貸付事業は、歴史的・社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境の整備改善を図るため、住宅新築及び宅地取得に資金を貸付け、その回収を行っている。

令和元年度償還額(件数)は住宅新築(16件)2,709,199円、宅地取得(6件)530,000円。

令和元年度末現在の滞納状況は、滞納者12名(19件)、滞納額29,893,306円。

令和元年度の決算は、予算現額33,516千円に対し、歳入総額3,527千円、歳出総額33,421千円となり、収支差額△29,894千円。歳入不足額は翌年度繰上充用金で補填した。

1 住宅新築資金等貸付金償還状況

(単位:件、円)

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
R1	住宅新築	現年度分	3	957,113	304,501	0	652,612
		滞納分	15	25,600,493	2,404,698	0	23,195,795
		小計	18	26,557,606	2,709,199	0	23,848,407
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	6	6,574,899	530,000	0	6,044,899
		小計	6	6,574,899	530,000	0	6,044,899
合 計		24	33,132,505	3,239,199	0	29,893,306	

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
H30	住宅新築	現年度分	4	1,505,660	761,709	0	743,951
		滞納分	16	26,169,119	1,312,577	0	24,856,542
		小計	20	27,674,779	2,074,286	0	25,600,493
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	6	6,805,899	231,000	0	6,574,899
		小計	6	6,805,899	231,000	0	6,574,899
合 計		26	34,480,678	2,305,286	0	32,175,392	

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
H29	住宅新築	現年度分	12	2,275,277	1,039,688	0	1,235,589
		滞納分	17	26,405,238	1,471,708	0	24,933,530
		小計	29	28,680,515	2,511,396	0	26,169,119
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	7	6,996,899	191,000	0	6,805,899
		小計	7	6,996,899	191,000	0	6,805,899
合 計		36	35,677,414	2,702,396	0	32,975,018	

2 住宅新築資金等貸付事業に係る町債の償還状況

(単位:円)

年度	種別	元金	利子	計
R1	住宅新築	1,056,399	42,393	1,098,792
	宅地取得	0	0	0
	計	1,056,399	42,393	1,098,792

年度	種別	元金	利子	計
H29	住宅新築	3,181,330	179,588	3,360,918
	宅地取得	1,762,200	51,644	1,813,844
	計	4,943,530	231,232	5,174,762

年度	種別	元金	利子	計
H30	住宅新築	1,378,931	94,823	1,473,754
	宅地取得	0	0	0
	計	1,378,931	94,823	1,473,754

・起債残高(令和2年度が最終償還)

元金 319,662 円

利子 8,174 円

計 327,836 円

【成果】 北栄町住宅新築資金等貸付金債権管理マニュアルを策定し、滞納者に対する個別方針を定め分納誓約書を徴取するなど、滞納対策を強化・実施した。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額						
農業集落排水事業特別会計	13,915千円	13,538千円						
<p>北条島地区農業集落排水事業(平成9年5月供用開始)に係る維持管理費</p> <p>目 的 北条島における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した農業集落排水設備の適正管理。</p> <p>処理施設 クリーンセンター島</p> <p>事業期間 平成6年度 ～ 平成8年度</p> <p>令和元年度の決算は、予算現額13,915千円に対し、歳入総額 13,538千円、歳出総額 13,538千円で、実質収支額は0円であった。</p> <p>1 令和元年度末 接続戸数 77戸</p> <p>2 維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理施設維持管理委託料 998千円 ・汚泥抜取処分手数料 71.07t 791千円 <p>3 起債償還状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度償還額 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>元金</td> <td>8,830千円</td> </tr> <tr> <td>利子</td> <td>1,881千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,711千円</td> </tr> </table> ・起債償還終了年度 令和8年度 <p>【成果】 大きな事故もなく、適切な維持管理に努めることができた。</p>			元金	8,830千円	利子	1,881千円	合計	10,711千円
元金	8,830千円							
利子	1,881千円							
合計	10,711千円							

会 計 名	予算現額	決算額
栄財産区特別会計	4,443千円	4,195千円

令和元年度の決算は、予算現額4,443千円に対し、歳入総額4,447千円、歳出総額4,195千円で、実質収支額は252千円であった。

管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
8月20日	6名	平成30年度決算審議
12月18日	6名	令和元年度補正予算、令和2年度当初予算協議

2 事業等の状況

- ・栗林の管理 草刈1回(9/3)
- ・栗の販売 1本1,000円で販売。24名(32本)が購入

3 財政調整基金の状況

年度	H29	H30	R1
基金残高(千円)	62,233	62,833	63,183

4 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積(m ²)
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

(前年度末に変動なし)



(2) 保安林指定

森林の所在地	面積(m ²)
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-313	6,014
計	363,249

(前年度末に変動なし)

【成果】 区有地の適正管理を行うことができた。また、栗販売の促進を行い、多くの方に「財産区」を知っていただくとともに、自主財源の確保を行うことができた。

【合併処理浄化槽事業特別会計】

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額																																																								
合併処理浄化槽事業特別会計	7,263千円	7,260千円																																																								
<p>浄化槽市町村整備推進事業により、対象地域に設置した合併処理浄化槽の維持管理</p> <p>目 的 公共下水道処理区域外の地域における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した合併処理浄化槽の適正管理。</p> <p>全体計画 合併処理浄化槽 (5人槽～21人槽)</p> <p>事業期間 平成18年度 ～ 平成20年度</p> <p>対象地域 浄化槽による汚水処理が、経済的・効率的である地域 青木、岩坪、高千穂、及び由良宿3区・下種・松神・田井・北尾・江北浜 東新田場・米里の各一部</p> <p>令和元年度の決算は、予算現額 7,263千円に対し、歳入総額7,260千円、歳出総額 7,260千円で、実質収支額は0円であった。</p> <p>1 整備状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成18年度</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">24</td> <td style="width: 10%;">基</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">合 計</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: center;">52</td> <td style="border-top: 1px solid black;">基</td> <td style="border-top: 1px solid black;">(接続済 51)・・・</td> <td style="border-top: 1px solid black;">接続率</td> <td style="border-top: 1px solid black;">98%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 維持管理経費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">法定検査手数料(11条)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">280千円</td> </tr> <tr> <td>保守点検清掃委託料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,120千円</td> </tr> </table> <p>3 起債償還状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和元年度償還額</td> <td style="width: 10%;">元金</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,851千円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>利子</td> <td style="text-align: right;">879千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,730千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・起債償還終了年度 令和20年度</p> <p>【成果】 大きな事故もなく、適切な維持管理に努めることができた。</p>			平成18年度	24	基						平成19年度	26	基						平成20年度	2	基						合 計	52	基	(接続済 51)・・・	接続率	98%			法定検査手数料(11条)		280千円	保守点検清掃委託料		3,120千円	令和元年度償還額	元金	1,851千円					利子	879千円					合計	2,730千円			
平成18年度	24	基																																																								
平成19年度	26	基																																																								
平成20年度	2	基																																																								
合 計	52	基	(接続済 51)・・・	接続率	98%																																																					
法定検査手数料(11条)		280千円																																																								
保守点検清掃委託料		3,120千円																																																								
令和元年度償還額	元金	1,851千円																																																								
	利子	879千円																																																								
	合計	2,730千円																																																								

会 計 名	予算現額	決算額																																																																																																																					
大栄歴史文化学習館特別会計	144,281千円	136,116千円																																																																																																																					
<p>「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここに訪れる人々に彼の作品を通し、青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。</p> <p>総入館者数 219,811 人 (うち有料入館者数 203,329 人) 入場料収入 112,749,500 円 有料入館者(数)の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>大人</th> <th>中高生</th> <th>小学生</th> <th>海外団体</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>84,088人</td> <td>8,069人</td> <td>17,465人</td> <td>9,032人</td> <td>118,654人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>109,257人</td> <td>9,946人</td> <td>22,822人</td> <td>6,989人</td> <td>149,014人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>143,044人</td> <td>15,921人</td> <td>35,165人</td> <td>9,199人</td> <td>203,329人</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>130.9%</td> <td>160.1%</td> <td>154.1%</td> <td>131.6%</td> <td>136.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>誘客活動 県内の道の駅、ホテル・旅館及び土産物店等に割引券を設置し、鳥取県を訪れた観光客の誘客を進めた。併せて、Web割引券の発行及び旅行雑誌・CM等への割引券の掲載により誘客活動を進めた。(優待券利用者数67,754人) また、下記のイベント実施のほか、加西サービスエリア(下り)および宝塚北サービスエリアへの広告掲出、109シネマズ大阪エキスポシティ映画館およびユナイテッド・シネマアクアシティお台場映画館でのCM放映、旅行雑誌等への広告掲載を行うことで、県内者だけでなく県外者への誘客活動も進めた。</p> <p>1 イベントの実施</p> <table> <tbody> <tr> <td>名探偵コナンバースデーメッセージ募集</td> <td>3/1～4/8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集</td> <td>4/1～5/10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>GWイベント</td> <td>4/27～5/6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名探偵コナン誕生日チケットプレゼント</td> <td>5/4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>先生・キッド誕生日メッセージコーナー設置</td> <td>6/1～23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>すいか・ながいもマラソンポストカードプレゼント・入館者全員100円引き</td> <td></td> <td>6/16</td> </tr> <tr> <td>青山剛昌先生誕生日記念イベント(長方形缶バッジプレゼント)</td> <td></td> <td>6/21～23</td> </tr> <tr> <td>七夕メッセージコーナー設置</td> <td>6/24～7/7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>名探偵コナンイラストコンテスト</td> <td>7/1～9/6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>七夕イベント(短冊風木製しおりプレゼント)</td> <td>7/5～7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>暑中見舞いハガキポスト設置</td> <td>7/20～8/18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コナン通りARラリー</td> <td>7/20～8/25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏休みイベント(似顔絵・工作・移動販売車等)</td> <td>8/10～18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月3連休イベント(フリマ・飲食テント・じゃんけん大会、缶バッジプレゼント等)</td> <td></td> <td>9/14～16、21～23</td> </tr> <tr> <td>名探偵コナン北栄町コナンアルバム</td> <td>9/28～10/27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハロウィンイベント</td> <td>10/26、27</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレミアムマイスター認定クイズ取得者限定イベント(キューブ型BOXティッシュプレゼント)</td> <td></td> <td>11/1～12/31</td> </tr> <tr> <td>ARフォトコンテスト</td> <td>11/1～1/20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャラクターイラスト年賀状募集</td> <td>11/5～1/6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリスマスメッセージコーナー設置</td> <td>12/1～12/25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年賀状ポスト設置</td> <td>12/1～31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリスマスイベント(工作・缶バッジプレゼント・似顔絵)</td> <td>12/14、15、21～25、28、29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>お正月メッセージコーナー設置</td> <td>12/26～1/13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>お正月イベント(カレンダープレゼント・亜海れい子コンサート)</td> <td>1/1～4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>青山剛昌先生と話そうDAY</td> <td>1/3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北栄町民入館無料デー</td> <td>1/14～20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旧正月イベント(缶バッジプレゼント)</td> <td>1/23～30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VD・WDメッセージコーナー設置</td> <td>2/8～3/15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>青山剛昌ふるさと館年間入館者20万人達成セレモニー</td> <td>2/9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計	H29	84,088人	8,069人	17,465人	9,032人	118,654人	H30	109,257人	9,946人	22,822人	6,989人	149,014人	R1	143,044人	15,921人	35,165人	9,199人	203,329人	前年比	130.9%	160.1%	154.1%	131.6%	136.4%	名探偵コナンバースデーメッセージ募集	3/1～4/8		青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/1～5/10		GWイベント	4/27～5/6		名探偵コナン誕生日チケットプレゼント	5/4		先生・キッド誕生日メッセージコーナー設置	6/1～23		すいか・ながいもマラソンポストカードプレゼント・入館者全員100円引き		6/16	青山剛昌先生誕生日記念イベント(長方形缶バッジプレゼント)		6/21～23	七夕メッセージコーナー設置	6/24～7/7		名探偵コナンイラストコンテスト	7/1～9/6		七夕イベント(短冊風木製しおりプレゼント)	7/5～7		暑中見舞いハガキポスト設置	7/20～8/18		コナン通りARラリー	7/20～8/25		夏休みイベント(似顔絵・工作・移動販売車等)	8/10～18		9月3連休イベント(フリマ・飲食テント・じゃんけん大会、缶バッジプレゼント等)		9/14～16、21～23	名探偵コナン北栄町コナンアルバム	9/28～10/27		ハロウィンイベント	10/26、27		プレミアムマイスター認定クイズ取得者限定イベント(キューブ型BOXティッシュプレゼント)		11/1～12/31	ARフォトコンテスト	11/1～1/20		キャラクターイラスト年賀状募集	11/5～1/6		クリスマスメッセージコーナー設置	12/1～12/25		年賀状ポスト設置	12/1～31		クリスマスイベント(工作・缶バッジプレゼント・似顔絵)	12/14、15、21～25、28、29		お正月メッセージコーナー設置	12/26～1/13		お正月イベント(カレンダープレゼント・亜海れい子コンサート)	1/1～4		青山剛昌先生と話そうDAY	1/3		北栄町民入館無料デー	1/14～20		旧正月イベント(缶バッジプレゼント)	1/23～30		VD・WDメッセージコーナー設置	2/8～3/15		青山剛昌ふるさと館年間入館者20万人達成セレモニー	2/9	
種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計																																																																																																																		
H29	84,088人	8,069人	17,465人	9,032人	118,654人																																																																																																																		
H30	109,257人	9,946人	22,822人	6,989人	149,014人																																																																																																																		
R1	143,044人	15,921人	35,165人	9,199人	203,329人																																																																																																																		
前年比	130.9%	160.1%	154.1%	131.6%	136.4%																																																																																																																		
名探偵コナンバースデーメッセージ募集	3/1～4/8																																																																																																																						
青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/1～5/10																																																																																																																						
GWイベント	4/27～5/6																																																																																																																						
名探偵コナン誕生日チケットプレゼント	5/4																																																																																																																						
先生・キッド誕生日メッセージコーナー設置	6/1～23																																																																																																																						
すいか・ながいもマラソンポストカードプレゼント・入館者全員100円引き		6/16																																																																																																																					
青山剛昌先生誕生日記念イベント(長方形缶バッジプレゼント)		6/21～23																																																																																																																					
七夕メッセージコーナー設置	6/24～7/7																																																																																																																						
名探偵コナンイラストコンテスト	7/1～9/6																																																																																																																						
七夕イベント(短冊風木製しおりプレゼント)	7/5～7																																																																																																																						
暑中見舞いハガキポスト設置	7/20～8/18																																																																																																																						
コナン通りARラリー	7/20～8/25																																																																																																																						
夏休みイベント(似顔絵・工作・移動販売車等)	8/10～18																																																																																																																						
9月3連休イベント(フリマ・飲食テント・じゃんけん大会、缶バッジプレゼント等)		9/14～16、21～23																																																																																																																					
名探偵コナン北栄町コナンアルバム	9/28～10/27																																																																																																																						
ハロウィンイベント	10/26、27																																																																																																																						
プレミアムマイスター認定クイズ取得者限定イベント(キューブ型BOXティッシュプレゼント)		11/1～12/31																																																																																																																					
ARフォトコンテスト	11/1～1/20																																																																																																																						
キャラクターイラスト年賀状募集	11/5～1/6																																																																																																																						
クリスマスメッセージコーナー設置	12/1～12/25																																																																																																																						
年賀状ポスト設置	12/1～31																																																																																																																						
クリスマスイベント(工作・缶バッジプレゼント・似顔絵)	12/14、15、21～25、28、29																																																																																																																						
お正月メッセージコーナー設置	12/26～1/13																																																																																																																						
お正月イベント(カレンダープレゼント・亜海れい子コンサート)	1/1～4																																																																																																																						
青山剛昌先生と話そうDAY	1/3																																																																																																																						
北栄町民入館無料デー	1/14～20																																																																																																																						
旧正月イベント(缶バッジプレゼント)	1/23～30																																																																																																																						
VD・WDメッセージコーナー設置	2/8～3/15																																																																																																																						
青山剛昌ふるさと館年間入館者20万人達成セレモニー	2/9																																																																																																																						

2 館内展示の入れ替え

青山剛昌名探偵コナン特別原画展第1期～第6期	4/1～3/31 年間を通じて展示
劇場版名探偵コナン「紺青の拳」原画展示	4/12展示開始
劇場版名探偵コナン「ゼロの執行人」原画・グッズ展示	6/15～10/11
ぬいぐるみコレクション	10/12～3/2
KIDカフェサイン展示	12/2～4/5
スワッチ「S」コレクション	3/3～29
赤井秀一&沖矢昴グッズ展示	3/30～11/29
玄関ポスター用掲示板制作・設置	
モーションコミックコンテンツ追加	
館内の壁面装飾	
螺旋階段2階手すり幕制作・設置	
「なぞの文字」付近吹抜け装飾	
スタンディ制作(赤井秀一、安室透)	

【成果】

年間を通じて数多くの集客イベント及び館内展示入れ替えを実施したことにより、有料入館者数は、開館以来過去最高となった。

会 計 名	予算現額	決算額
後期高齢者医療事業特別会計	168,985千円	167,851千円

令和元年度は、歳入総額168,262千円、支出総額167,851千円となり、収支は411千円の黒字となった。

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1 後期高齢者医療保険料の収納状況 (単位:千円・%)

区 分	H29年度		H30年度		R1年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分	106,769	99.7	117,016	99.9	122,555	122,101	99.6
過年度賦課分	-	-	-	-	-	-	-
滞納繰越分	123	29.9	346	54.5	377	100	26.5
計	106,892	99.4	117,362	99.7	122,932	122,201	99.4

2 被保険者数

※ 65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

区 分		平成30年 3月末現在(人)	平成31年 3月末現在(人)	令和2年 3月末現在(人)
被保険者数	65歳～69歳※	3人	6人	5人
	70歳～74歳※	8人	7人	8人
	75歳～79歳	742人	800人	829人
	80歳～84歳	778人	706人	668人
	85歳～89歳	563人	602人	595人
	90歳～94歳	298人	308人	312人
	95歳～99歳	91人	96人	99人
	100歳～	15人	16人	15人
	計	2,498人	2,541人	2,531人

3 療養の給付等の内訳

区 分	H29年度		H30年度		R1年度	
	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	1,306,238	522,913	1,299,975	511,600	1,390,191	549,265
入院外	507,543	203,180	548,352	215,801	600,062	237,085
歯 科	52,504	21,018	57,837	22,761	47,352	18,709
調 剤	367,498	147,117	366,532	144,247	391,403	154,643
食事療養	72,840	29,159	65,645	25,834	68,540	27,080
食事療養歯科			253	99	2	1
訪問看護	6,775	2,712	10,956	4,312	15,724	6,212
合 計	2,313,398	926,100	2,349,550	924,655	2,513,272	992,996

【成果】療養の給付等は増加傾向にあり、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図っていく必要がある。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計(収益的支出)	236,352千円	211,739千円

水道事業の概要

年間配水量は、1,756,378 m^3 で、前年度に比べ0.7%の減少、年間給水量は、1,462,867 m^3 で、前年度に比べ3.3%の減少となった。

この結果、年間有収水量率は、83.3%で、前年度に比べ2.2ポイント減少となった。

事項	令和元年度	平成30年度	比較	
			増減	比率
年度末給水人口(人)	14,751	14,960	△ 209	98.6%
年度末給水戸数(戸)	5,343	5,324	19	100.4%
年度末給水栓数(栓)	5,925	5,898	27	100.5%
年間配水量(m^3)	1,756,378	1,769,346	△ 12,968	99.3%
年間1カ月平均配水量	146,364	147,445	△ 1,081	99.3%
年間給水量(m^3)	1,462,867	1,513,424	△ 50,557	96.7%
年間1カ月平均給水量	121,905	126,118	△ 4,213	96.7%
年間有収水量率(%)	83.3	85.5	△ 2.2	97.4%

1. 収益的収入

(単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
営業収益	248,683,596	89.1%	252,391,016	88.0%	△ 3,707,420	98.53%
営業外収益	30,255,456	10.8%	33,084,167	11.5%	△ 2,828,711	91.45%
特別利益	299,900	0.1%	1,291,400	0.5%	△ 991,500	23.22%
計	279,238,952	100.0%	286,766,583	100.0%	△ 7,527,631	97.37%

2. 収益的支出

(単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
営業費用	191,921,875	90.6%	197,833,029	88.9%	△ 5,911,154	97.01%
事業外費用	19,817,314	9.4%	24,654,884	11.1%	△ 4,837,570	80.38%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	-
計	211,739,189	100.0%	222,487,913	100.0%	△ 10,748,724	95.17%

【成果】 安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。
老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計(資本的支出)	251,966千円	227,220千円

1. 資本的收入 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
工事負担金	4,477,543	5.7%	12,527,047	13.2%	△ 8,049,504	35.74%
企業債	73,900,000	94.3%	82,400,000	86.8%	△ 8,500,000	89.68%
計	78,377,543	100.0%	94,927,047	100.0%	△ 16,549,504	82.57%

2. 資本的支出 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
建設改良費	155,567,088	68.5%	164,712,932	66.4%	△ 9,145,844	94.45%
企業債償還金	71,653,246	31.5%	83,356,181	33.6%	△ 11,702,935	85.96%
計	227,220,334	100.0%	248,069,113	100.0%	△ 20,848,779	91.60%

(建設改良費内訳)

- 配水施設等改良費 153,664千円
 - 配水池改修工事、配水管改良工事等
 - ・工事請負費 139,948千円
 - ・委託料(設計業務) 5,574千円

- 営業設備費 1,903千円
 - 取替量水器購入等

会 計 名	予算現額	決算額
下水道事業会計(収益的支出)	905,774千円	883,492千円

下水道事業の概要

処理区域内人口は14,355人で、前年度に比べ178人の減少、水洗化率は90.5%で、前年度に比べ0.5ポイントの上昇となった。

この結果、年間有収水量は1,247,641m³で、前年度に比べ約1.8%の減少となった。

平成31年4月1日から地方公営企業法の適用による企業会計へ移行した。

(財務規定等の一部適用)

事項	令和元年度	平成30年度	比較	
			増減	比率
行政区域内人口(人)	14,854	15,045	△ 191	98.7%
処理区域内人口(人)	14,355	14,533	△ 178	98.8%
水洗化人口(人)	12,995	13,083	△ 88	99.3%
普及率(%)	100	100	-	100%
水洗化率(%)	90.5	90.0	0.5	100.6%
年間有収水量(m ³)	1,247,641	1,270,419	△ 22,778	98.2%
使用料単価(円/m ³)税抜	202.5	202.7	△ 0.2	99.9%

1. 収益的収入

(単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
営業収益	962,450,210	82.4%	-	-	-	-
営業外収益	205,760,828	17.6%	-	-	-	-
特別利益	100,000	0.0%	-	-	-	-
計	1,168,311,038	100.0%	-	-	-	-

2. 収益的支出

(単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
営業費用	701,874,541	79.4%	-	-	-	-
事業外費用	178,531,365	20.2%	-	-	-	-
特別損失	3,086,000	0.4%	-	-	-	-
計	883,491,906	100.0%	-	-	-	-

【成果】 下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計(資本の支出)	892,921千円	844,829千円

1. 資本の収入 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
企業債	36,800,000	11.9%	-	-	-	-
他会計出資金	226,337,000	73.0%	-	-	-	-
国庫補助金	31,245,000	10.1%	-	-	-	-
負担金等	15,756,759	5.0%	-	-	-	-
計	310,138,759	100.0%	-	-	-	-

2. 資本の支出 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
建設改良費	92,387,347	10.9%	-	-	-	-
固定資産購入費	112,860	0.0%	-	-	-	-
企業債償還金	752,328,977	89.1%	-	-	-	-
計	844,829,184	100.0%	-	-	-	-

(建設改良費内訳)

- 管路建設改良費 13,578千円
- 処理場建設改良費 76,463千円
- 流域下水道建設負担金 2,346千円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計(収益的支出)	389,161千円	324,386千円

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和元年度で15年目を迎えている。
平成31年4月1日から地方公営企業法の適用による企業会計へ移行した。

1,500kW/9基 総定格出力 13,500kW

1. 収益的収入 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
営業収益	458,239,255	90.9%	-	-	-	-
財務収益	2,018,209	0.4%	-	-	-	-
事業外収益	43,744,567	8.7%	-	-	-	-
計	504,002,031	100.0%	-	-	-	-

2. 収益的支出 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
営業費用	303,612,809	93.6%	-	-	-	-
事業外費用	20,305,000	6.3%	-	-	-	-
特別損失	468,000	0.1%	-	-	-	-
計	324,385,809	100.0%	-	-	-	-

3. 視察・見学者 185名 (9団体)

4. 年間発電量

売電実績 20,466,432kWh

(単位:kWh)

月	過去平均 売電電力量 ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量(実績) ③	過去平 均との 比較 ③/①	売電 電力量 達成率 ③/②	予想 平均 風速 m/s	平均 実績 風速 m/s
3	2,547,840	2,850,552	2,199,192	86.3%	77.1%	6.7	5.8
4	1,941,362	1,562,004	1,615,800	83.2%	103.4%	5.2	5.3
5	1,465,779	1,250,883	1,380,480	94.2%	110.4%	4.7	4.9
6	795,681	1,581,444	1,017,120	127.8%	64.3%	4.9	4.4
7	1,025,623	1,082,403	648,000	63.2%	59.9%	4.3	3.9
8	905,446	1,122,174	869,040	96.0%	77.4%	4.6	4.3
9	1,178,381	1,698,894	1,265,760	107.4%	74.5%	5.1	4.6
10	1,585,630	1,717,281	1,582,320	99.8%	92.1%	5.4	5.3
11	2,004,324	2,156,787	2,320,320	115.8%	107.6%	6.2	6.0
12	2,658,070	2,678,832	2,260,080	85.0%	84.4%	6.7	5.8
1	2,534,883	3,805,380	2,928,960	115.5%	77.0%	7.8	6.5
2	2,397,180	2,425,950	2,379,360	99.3%	98.1%	6.5	6.2
年計	21,040,200	23,932,584	20,466,432	97.3%	85.5%	5.7	5.3

【成果】 風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間11,358tのCO2を削減した。
また、純利益は169,995,442円となった。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計(資本的支出)	121,412千円	110,291千円

1. 資本的収入
なし

2. 資本的支出 (単位:円)

事項	令和元年度		平成30年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減	比率
建設改良費	4,944,873	4.5%	-	-	-	-
固定資産購入費	5,346,000	4.8%	-	-	-	-
基金積立金	100,000,000	90.7%	-	-	-	-
計	110,290,873	100.0%	-	-	-	-

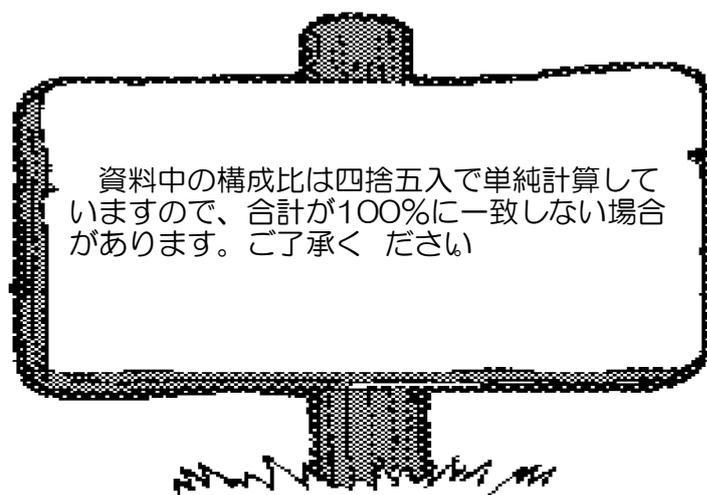
(内訳)

○電力監視システム更新	4,620千円
○検電器交換	325千円
○雷検出装置設置	5,346千円
○基金積立	100,000千円

3. 基金 (単位:円)

前年度末残高	新規積立	取り崩し	年度末現在高
578,183,392	100,000,000	0	678,183,392

資 料 編



令和元年度各会計別決算状況

(単位:千円)

会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C) (D)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 (D-E) (F)	予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)		歳入(B/A)	歳出(C/A)
一 般 会 計	10,068,749	9,276,476	9,067,493	208,983		51,097			157,886	92.1	90.1
国民健康保険事業特別会計	2,041,688	2,011,150	1,931,064	80,086		325			79,761	98.5	94.6
介護保険事業特別会計	1,625,666	1,624,943	1,590,537	34,406				0	34,406	100.0	97.8
住宅新築資金等貸付 事業特別会計	33,516	3,527	33,420	△ 29,893				0	△ 29,893	10.5	99.7
農業集落排水事業特別会計	13,915	13,538	13,538	0				0	0	97.3	97.3
栄財産区特別会計	4,443	4,447	4,195	252				0	252	100.1	94.4
合併処理浄化槽事業特別会計	7,263	7,260	7,260	0				0	0	100.0	100.0
大栄歴史文化学習館特別会計	144,281	149,723	136,115	13,608				0	13,608	103.8	94.3
後期高齢者医療事業特別会計	168,985	168,261	167,850	411				0	411	99.6	99.3
合 計	14,108,506	13,259,325	12,951,472	307,853	0	51,422	0	51,422	256,431	94.0	91.8

令和元年度一般会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町税	1,428,677	15.4	1,422,971	15.0	5,706	0.4
2 地方譲与税	89,053	1.0	88,012	0.9	1,041	1.2
3 利子割交付金	1,769	0.0	3,572	0.0	△ 1,803	△ 50.5
4 配当割交付金	6,289	0.1	5,066	0.1	1,223	24.1
5 株式等譲渡所得割交付金	4,422	0.0	3,966	0.0	456	11.5
6 地方消費税交付金	235,414	2.5	252,143	2.6	△ 16,729	△ 6.6
7 自動車取得税交付金	15,307	0.2	23,843	0.3	△ 8,536	△ 35.8
8 地方特例交付金	52,160	0.6	5,955	0.1	46,205	775.9
9 地方交付税	3,676,387	39.6	3,665,418	38.5	10,969	0.3
10 交通安全対策特別交付金	1,940	0.0	1,991	0.0	△ 51	△ 2.6
11 分担金及び負担金	45,079	0.5	62,379	0.7	△ 17,300	△ 27.7
12 使用料及び手数料	38,357	0.4	37,204	0.4	1,153	3.1
13 国庫支出金	978,429	10.5	872,827	9.2	105,602	12.1
14 県支出金	791,866	8.5	853,140	9.0	△ 61,274	△ 7.2
15 財産収入	13,799	0.1	96,585	1.0	△ 82,786	△ 85.7
16 寄附金	487,606	5.3	193,302	2.0	294,304	152.3
17 繰入金	174,978	1.9	383,435	4.0	△ 208,457	△ 54.4
18 繰越金	473,047	5.1	513,734	5.4	△ 40,687	△ 7.9
19 諸収入	227,397	2.5	234,087	2.5	△ 6,690	△ 2.9
20 町債	534,500	5.8	798,300	8.4	△ 263,800	△ 33.0
歳入合計	9,276,476	100.0	9,517,930	100.0	△ 241,454	△ 2.5

※引き上げ分の地方消費税収(106,908千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	97,884	1.1	100,170	1.1	△ 2,286	△ 2.3
2 総務費	1,589,416	17.5	1,368,342	15.1	221,074	16.2
3 民生費	2,397,936	26.5	2,375,547	26.3	22,389	0.9
4 衛生費	618,387	6.8	586,622	6.5	31,765	5.4
5 農林水産業費	543,052	6.0	694,833	7.7	△ 151,781	△ 21.8
6 商工費	215,854	2.4	200,315	2.2	15,539	7.8
7 土木費	1,526,089	16.8	1,466,151	16.2	59,938	4.1
8 消防費	264,280	2.9	252,993	2.8	11,287	4.5
9 教育費	879,441	9.7	988,466	10.9	△ 109,025	△ 11.0
10 公債費	852,131	9.4	966,724	10.7	△ 114,593	△ 11.9
11 災害復旧費	83,023	0.9	44,720	0.5	38,303	85.7
歳出合計	9,067,493	100.0	9,044,883	100.0	22,610	0.2

令和元年度国民健康保険事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 国民健康保険税	433,039	21.5	459,185	23.9	△ 26,146	△ 5.7
2 国庫支出金	962	0.0	0	0.0	962	皆増
4 県支出金	1,377,244	68.5	1,297,621	67.5	79,623	6.1
5 財産収入	12	0.0	0	0.0	12	皆増
6 繰入金	126,276	6.3	126,210	6.6	66	0.1
7 諸収入	7,979	0.4	4,474	0.2	3,505	78.3
8 繰越金	65,638	3.3	34,068	1.8	31,570	92.7
歳入合計	2,011,150	100.0	1,921,558	100.0	89,592	4.7

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	12,312	0.6	10,968	0.6	1,344	12.3
2 保険給付費	1,357,186	70.3	1,277,308	68.8	79,878	6.3
3 国民健康保険事業納付金	538,953	27.9	510,156	27.5	28,797	5.6
4 共同事業拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 保健事業費	20,036	1.1	20,529	1.1	△ 493	△ 2.4
6 基金積立金	12	0.0	0	0.0	12	皆増
7 諸支出金	2,564	0.1	36,958	2.0	△ 34,394	△ 93.1
歳出合計	1,931,064	100.0	1,855,920	100.0	75,144	4.0

令和元年度介護保険事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 介護保険料	359,416	22.1	361,653	22.0	△ 2,237	△ 0.6
2 使用料及び手数料	821	0.1	972	0.1	△ 151	△ 15.5
3 国庫支出金	368,091	22.7	372,372	22.6	△ 4,281	△ 1.1
4 支払基金交付金	411,709	25.3	416,791	25.3	△ 5,082	△ 1.2
5 県支出金	220,900	13.6	226,112	13.7	△ 5,212	△ 2.3
6 財産収入	7	0.0	6	0.0	1	16.7
7 繰入金	215,713	13.3	207,754	12.6	7,959	3.8
8 繰越金	42,782	2.6	53,598	3.3	△ 10,816	△ 20.2
9 諸収入	5,504	0.3	5,303	0.3	201	3.8
歳入合計	1,624,943	100.0	1,644,561	100.0	△ 19,618	△ 1.2

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	25,307	1.6	26,547	1.7	△ 1,240	△ 4.7
2 保険給付費	1,473,958	92.7	1,470,856	91.8	3,102	0.2
3 地域支援事業費	55,500	3.5	56,387	3.5	△ 887	△ 1.6
4 積立金	20,419	1.3	19,018	1.2	1,401	7.4
5 諸支出金	15,353	0.9	28,971	1.8	△ 13,618	△ 47.0
歳出合計	1,590,537	100.0	1,601,779	100.0	△ 11,242	△ 0.7

令和元年度住宅新築資金等貸付事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 県支出金	91	2.6	34	1.4	57	167.6
2 財産収入	1	0.0	2	0.1	△ 1	△ 50.0
3 繰入金	196	5.6	12	0.5	184	1533.3
4 諸収入	3,239	91.8	2,306	98.0	933	40.5
歳入合計	3,527	100.0	2,354	100.0	1,173	49.8

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 資金貸付事業費	145	0.4	46	0.1	99	215.2
2 諸支出金	1	0.0	34	0.1	△ 33	△ 97.1
3 公債費	1,099	3.3	1,474	4.3	△ 375	△ 25.4
4 前年度繰上充用金	32,175	96.3	32,975	95.5	△ 800	△ 2.4
歳出合計	33,420	100.0	34,529	100.0	△ 1,109	△ 3.2

令和元年度農業集落排水事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料及び手数料	4,329	32.0	4,314	29.8	15	0.3
2 繰入金	9,209	68.0	10,170	70.2	△ 961	△ 9.4
歳入合計	13,538	100.0	14,484	100.0	△ 946	△ 6.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 事業費	2,827	20.9	2,724	18.8	103	3.8
2 公債費	10,711	79.1	11,760	81.2	△ 1,049	△ 8.9
歳出合計	13,538	100.0	14,484	100.0	△ 946	△ 6.5

令和元年度栄財産区特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 財産収入	519	11.7	1,800	89.2	△ 1,281	△ 71.2
2 繰越金	1,158	26.0	219	10.8	939	428.8
3 諸収入	22	0.5	0	0.0	22	皆増
4 他会計交付金	2,748	61.8	0	0.0	2,748	皆増
歳入合計	4,447	100.0	2,019	100.0	2,428	120.3

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	4,195	100.0	861	100.0	3,334	387.2
歳出合計	4,195	100.0	861	100.0	3,334	387.2

令和元年度合併処理浄化槽事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料及び手数料	2,651	36.5	2,735	38.1	△ 84	△ 3.1
2 繰入金	4,609	63.5	4,089	57.0	520	12.7
7 繰越金	0	0.0	350	4.9	△ 350	皆減
歳入合計	7,260	100.0	7,174	100.0	86	1.2

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 浄化槽費	4,530	62.4	4,444	61.9	86	1.9
2 公債費	2,730	37.6	2,730	38.1	0	0.0
歳出合計	7,260	100.0	7,174	100.0	86	1.2

令和元年度大栄歴史文化学習館特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料	136,467	91.2	97,159	72.9	39,308	40.5
2 諸収入	1,102	0.7	791	0.6	311	39.3
3 繰入金	0	0.0	20,193	15.1	△ 20,193	皆減
4 財産収入	5	0.0	2	0.0	3	150.0
5 県支出金	4	0.0	0	0.0	4	皆増
6 繰越金	12,145	8.1	15,183	11.4	△ 3,038	△ 20.0
歳入合計	149,723	100.0	133,328	100.0	16,395	12.3

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	136,115	100.0	121,183	100.0	14,932	12.3
歳出合計	136,115	100.0	121,183	100.0	14,932	12.3

令和元年度後期高齢者医療事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	122,201	72.6	117,362	71.3	4,839	4.1
2 繰入金	41,278	24.5	43,770	26.6	△ 2,492	△ 5.7
3 繰越金	1,469	0.9	180	0.1	1,289	716.1
4 諸収入	3,313	2.0	2,571	1.6	742	28.9
5 国庫支出金	0	0.0	831	0.5	△ 831	皆減
歳入合計	168,261	100.0	164,714	100.0	3,547	2.2

(歳出)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	1,717	1.0	2,772	1.7	△ 1,055	△ 38.1
2 健診事業費	3,649	2.2	2,745	1.7	904	32.9
3 後期高齢者医療広域連合納付金	162,480	96.8	157,723	96.6	4,757	3.0
4 諸支出金	4	0.0	5	0.0	△ 5	△ 20.0
歳出合計	167,850	100.0	163,245	100.0	4,605	2.8

令和元年度普通会計決算状況

この後の資料は総務省が毎年実施している地方財政状況調査（決算統計）をもとにしています。

普通会計とは・・・

一般会計に公営企業会計以外の特別会計を合算したもので、決算統計で地方公共団体相互間の比較や時系列比較が可能となるように求めたものです。
北栄町の場合、一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計を合算したものです。

歳入

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町税	1,428,677	15.5	1,422,971	15.0	5,706	0.4
2 地方譲与税	89,053	1.0	88,012	0.9	1,041	1.2
3 利子割交付金	1,769	0.0	3,572	0.0	△ 1,803	△ 50.5
4 配当割交付金	6,289	0.1	5,066	0.1	1,223	24.1
5 株式等譲渡所得割交付金	4,422	0.0	3,966	0.0	456	11.5
6 地方消費税交付金	235,414	2.5	252,143	2.7	△ 16,729	△ 6.6
7 自動車取得税交付金	12,489	0.1	23,843	0.3	△ 11,354	△ 47.6
8 自動車税環境性能割交付金	2,818	0.0	0	0.0	2,818	皆増
9 地方特例交付金	52,160	0.6	5,955	0.1	46,205	775.9
10 地方交付税	3,676,387	39.8	3,665,418	38.7	10,969	0.3
11 交通安全対策特別交付金	1,940	0.0	1,991	0.0	△ 51	△ 2.6
12 分担金及び負担金	8,239	0.1	10,519	0.1	△ 2,280	△ 21.7
13 使用料及び手数料	80,087	0.9	96,945	1.0	△ 16,858	△ 17.4
14 国庫支出金	978,429	10.6	872,844	9.2	105,585	12.1
15 県支出金	791,957	8.6	853,175	9.0	△ 61,218	△ 7.2
16 財産収入	13,800	0.1	96,587	1.0	△ 82,787	△ 85.7
17 寄附金	487,606	5.3	193,302	2.0	294,304	152.3
18 繰入金	175,120	1.9	383,435	4.0	△ 208,315	△ 54.3
19 繰越金	440,873	4.8	480,759	5.1	△ 39,886	△ 8.3
20 諸収入	217,872	2.4	221,917	2.3	△ 4,045	△ 1.8
21 町債	534,500	5.8	798,300	8.4	△ 263,800	△ 33.0
歳入合計	9,239,901	100.0	9,480,720	100.0	△ 240,819	△ 2.5

歳入(自主・依存財源別)

(単位:千円、%)

区分	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 自主財源	2,852,274	30.9	2,906,435	30.7	△ 54,161	△ 1.9
町税	1,428,677	15.5	1,422,971	15.0	5,706	0.4
諸収入	217,872	2.4	221,917	2.3	△ 4,045	△ 1.8
使用料及び手数料	80,087	0.9	96,945	1.0	△ 16,858	△ 17.4
繰越金	440,873	4.8	480,759	5.1	△ 39,886	△ 8.3
財産収入	13,800	0.1	96,587	1.0	△ 82,787	△ 85.7
繰入金	175,120	1.9	383,435	4.0	△ 208,315	△ 54.3
分担金及び負担金	8,239	0.1	10,519	0.1	△ 2,280	△ 21.7
寄附金	487,606	5.3	193,302	2.0	294,304	152.3
2 依存財源	6,387,627	69.1	6,574,285	69.3	△ 186,658	△ 2.8
地方交付税	3,676,387	39.8	3,665,418	38.7	10,969	0.3
県支出金	791,957	8.6	853,175	9.0	△ 61,218	△ 7.2
町債	534,500	5.8	798,300	8.4	△ 263,800	△ 33.0
国庫支出金	978,429	10.6	872,844	9.2	105,585	12.1
地方譲与税	89,053	1.0	88,012	0.9	1,041	1.2
地方消費税交付金	235,414	2.5	252,143	2.7	△ 16,729	△ 6.6
自動車取得税交付金	12,489	0.1	23,843	0.3	△ 11,354	△ 47.6
自動車税環境性能割交付金	2,818	0.0	0	0.0	2,818	皆増
地方特例交付金	52,160	0.6	5,955	0.1	46,205	775.9
利子割交付金	1,769	0.0	3,572	0.0	△ 1,803	△ 50.5
株式等譲渡所得割交付金	4,422	0.0	3,966	0.0	456	11.5
配当割交付金	6,289	0.1	5,066	0.1	1,223	24.1
交通安全対策特別交付金	1,940	0.0	1,991	0.0	△ 51	△ 2.6
歳入合計	9,239,901	100.0	9,480,720	100.0	△ 240,819	△ 2.5

歳入(町税等明細書)

(単位:千円、%)

区分	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町民税	601,374	42.1	618,062	43.4	△ 16,688	△ 2.7
(1)個人	540,653	37.8	556,542	39.1	△ 15,889	△ 2.9
1 現年課税分	538,041	37.7	554,799	39.0	△ 16,758	△ 3.0
2 滞納繰越分	2,612	0.2	1,743	0.1	869	49.9
(2)法人	60,721	4.3	61,520	4.3	△ 799	△ 1.3
1 現年課税分	60,611	4.2	61,420	4.3	△ 809	△ 1.3
2 滞納繰越分	110	0.0	100	0.0	10	10.0
2 固定資産税	673,206	50.8	651,689	50.8	21,517	3.3
(1)固定資産税	672,865	47.1	651,350	45.8	21,515	3.3
1 現年課税分	670,270	46.9	648,318	45.6	21,952	3.4
2 滞納繰越分	2,595	0.2	3,032	0.2	△ 437	△ 14.4
(2)交付金	341	0.0	339	0.0	2	0.6
1 現年課税分	341	0.0	339	0.0	2	0.6
3 軽自動車税	62,845	4.4	60,456	4.2	2,389	4.0
1 現年課税分	62,649	4.4	60,222	4.2	2,427	4.0
2 滞納繰越分	196	0.0	234	0.0	△ 38	△ 16.2
4 町たばこ税	91,252	6.4	92,764	6.5	△ 1,512	△ 1.6
1 現年課税分	91,252	6.4	92,764	6.5	△ 1,512	△ 1.6
合 計	1,428,677	100.0	1,422,971	100.0	5,706	0.4

国民健康保険税	433,039	100.0	459,185	100.0	△ 26,146	△ 5.7
1 現年課税分	426,417	98.5	453,261	98.7	△ 26,844	△ 5.9
2 滞納繰越分	6,622	1.5	5,924	1.3	698	11.8

歳出(目的別)

(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	97,765	1.1	100,050	1.1	△ 2,285	△ 2.3
2 総務費	1,577,721	17.4	1,357,939	15.0	219,782	16.2
3 民生費	2,663,729	29.4	2,629,655	29.1	34,074	1.3
4 衛生費	368,875	4.1	348,466	3.9	20,409	5.9
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	-
6 農林水産業費	541,552	6.0	693,003	7.7	△ 151,451	△ 21.9
7 商工費	192,795	2.1	177,629	2.0	15,166	8.5
8 土木費	1,556,527	17.2	1,496,374	16.6	60,153	4.0
9 消防費	264,280	2.9	252,913	2.8	11,367	4.5
10 教育費	861,313	9.5	970,900	10.7	△ 109,587	△ 11.3
11 公債費	853,230	9.4	968,198	10.7	△ 114,968	△ 11.9
12 災害復旧費	83,023	0.9	44,720	0.5	38,303	85.7
歳出合計	9,060,810	100.0	9,039,847	100.0	20,963	0.2

歳出(性質別)

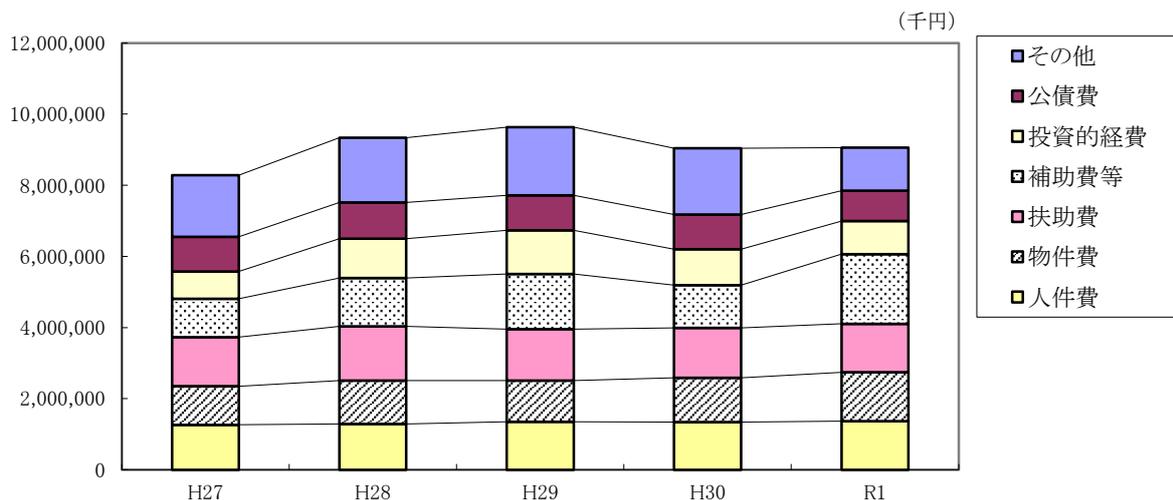
(単位:千円、%)

款	令和元年度決算額		平成30年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	1,369,277	15.1	1,344,504	14.9	24,773	1.8
2 物件費	1,371,572	15.1	1,246,669	13.8	124,903	10.0
3 維持補修費	30,386	0.3	30,630	0.3	△ 244	△ 0.8
4 扶助費	1,366,638	15.1	1,394,611	15.4	△ 27,973	△ 2.0
5 補助費等	1,957,228	21.6	1,204,653	13.3	752,575	62.5
6 普通建設事業費	844,972	9.3	969,657	10.7	△ 124,685	△ 12.9
7 災害復旧費	83,023	0.9	44,720	0.5	38,303	85.7
8 公債費	853,230	9.4	968,198	10.7	△ 114,968	△ 11.9
9 積立金	340,080	3.8	309,080	3.4	31,000	10.0
10 投資及び出資金	226,337	2.5	0	0.0	226,337	皆増
11 貸付金	1,500	0.0	14,851	0.2	△ 13,351	△ 89.9
12 繰出金	616,567	6.8	1,512,274	16.7	△ 895,707	△ 59.2
歳出合計	9,060,810	100.0	9,039,847	100.0	20,963	0.2

※下水道事業会計がR1から公営企業会計に移行したことにより、下水道事業繰出金(914,338千円)を決算統計において補助費等(688,001千円)、投資及び出資金(226,337千円)として計上しています。

財政状況・財政指標の推移

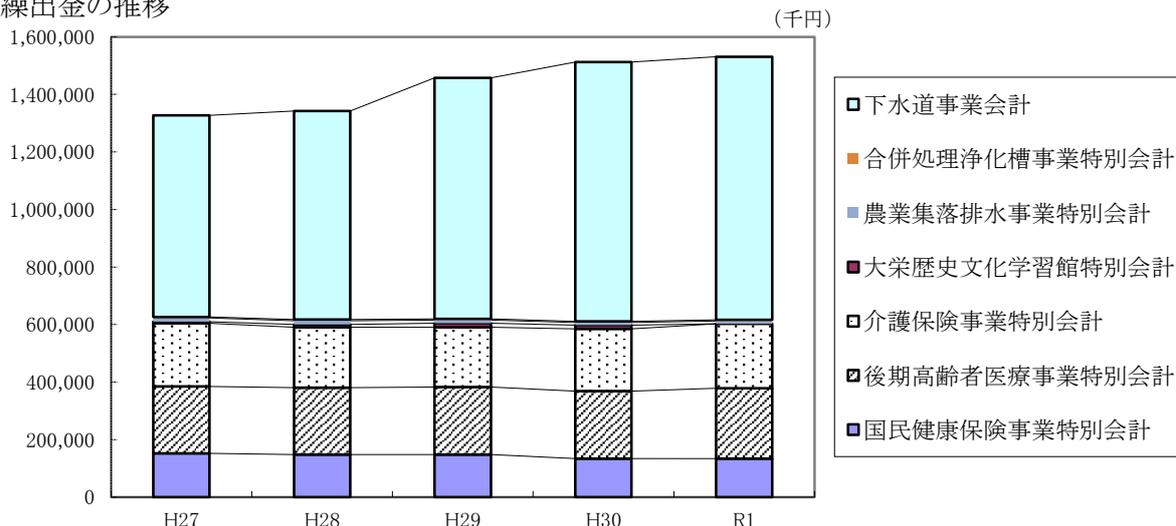
◆主な性質別歳出の推移



(単位:千円)

区 分	H27	H28	H29	H30	R1
人 件 費	1,268,753	1,293,592	1,350,103	1,344,504	1,369,277
物 件 費	1,080,596	1,219,544	1,162,642	1,246,669	1,371,572
扶 助 費	1,382,997	1,524,245	1,444,926	1,394,611	1,366,638
補 助 費 等	1,078,588	1,352,328	1,544,589	1,204,653	1,957,228
投 資 的 経 費	767,430	1,105,566	1,226,585	1,014,377	927,995
公 債 費	974,723	1,019,878	984,243	968,198	853,230
そ の 他	1,731,296	1,819,020	1,919,126	1,866,835	1,214,870
合 計	8,284,383	9,334,173	9,632,214	9,039,847	9,060,810

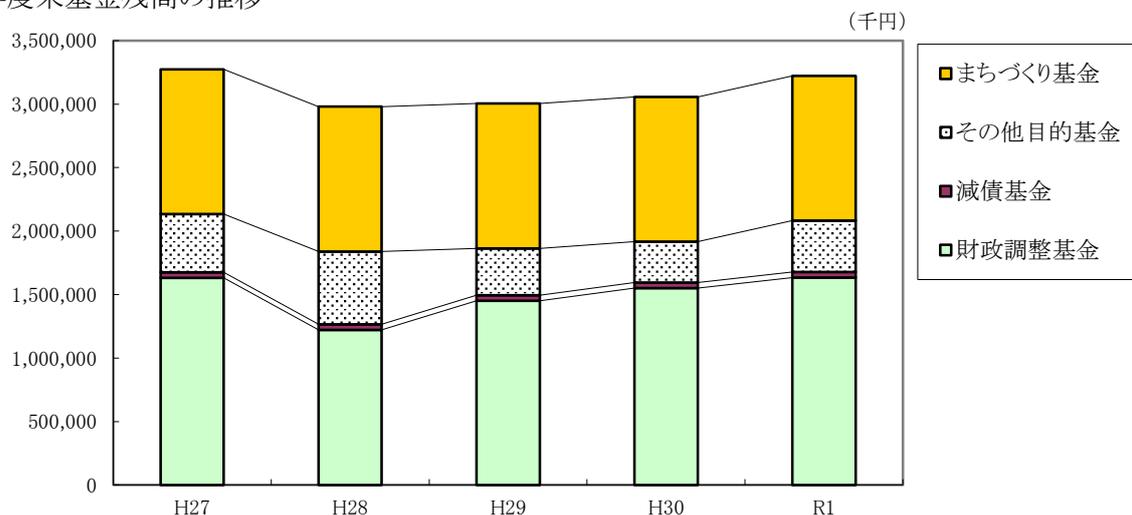
◆繰出金の推移



(単位:千円)

区 分	H27	H28	H29	H30	R1
国民健康保険事業特別会計	152,213	147,806	148,089	134,117	133,980
後期高齢者医療事業特別会計	232,479	233,159	234,233	234,429	244,212
介護保険事業特別会計	219,707	209,819	208,812	216,479	224,557
大栄歴史文化学習館特別会計	5,343	9,927	13,618	12,932	0
農業集落排水事業特別会計	13,128	12,639	10,464	9,135	9,209
合併処理浄化槽事業特別会計	3,587	3,849	4,440	3,995	4,609
下 水 道 事 業 会 計	700,719	724,891	837,466	901,187	914,338
合 計	1,327,176	1,342,090	1,457,122	1,512,274	1,530,905

◆年度末基金残高の推移

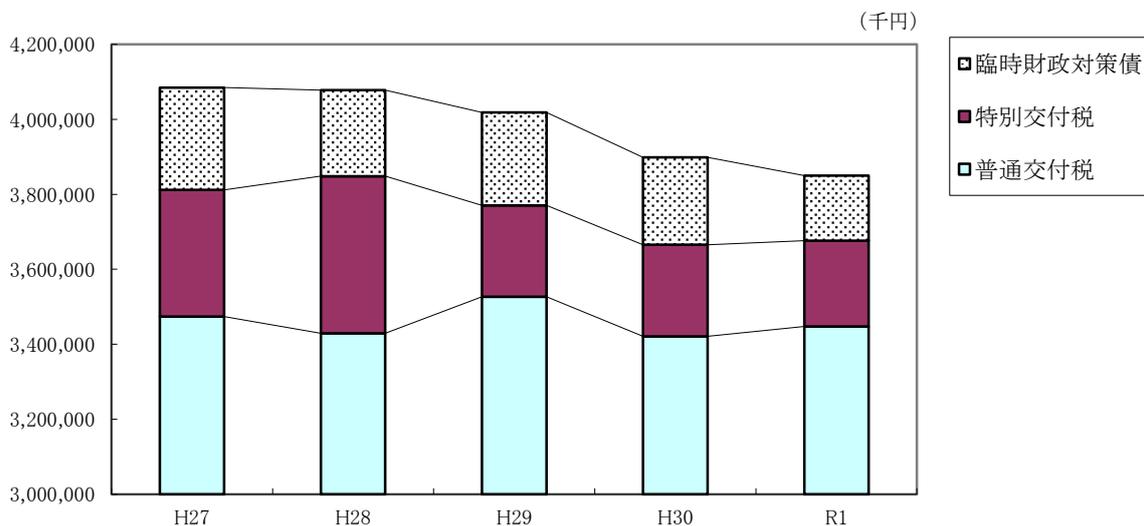


(単位:千円)

区 分	H27	H28	H29	H30	R1
財政調整基金	1,631,547	1,221,853	1,450,063	1,551,691	1,633,660
減債基金	43,987	44,023	44,036	44,049	44,058
その他目的基金	458,199	573,593	370,044	321,750	404,732
まちづくり基金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合 計	3,273,733	2,979,469	3,004,143	3,057,490	3,222,450

※目標とする積立規模＝財政調整基金＋減債基金で10億円

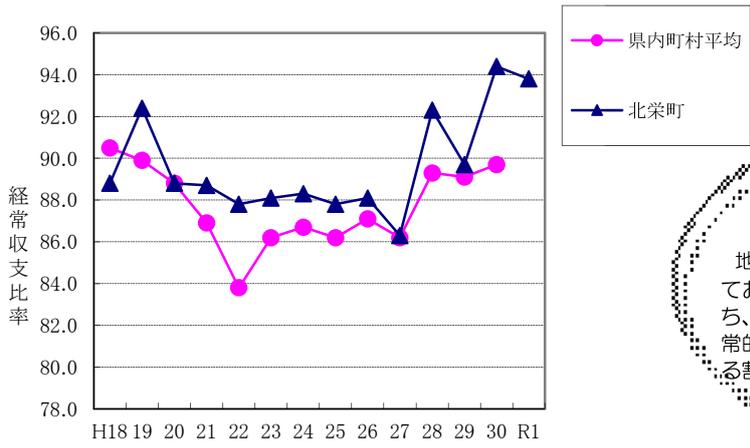
◆地方交付税・臨時財政対策債(借入額)の推移



(単位:千円)

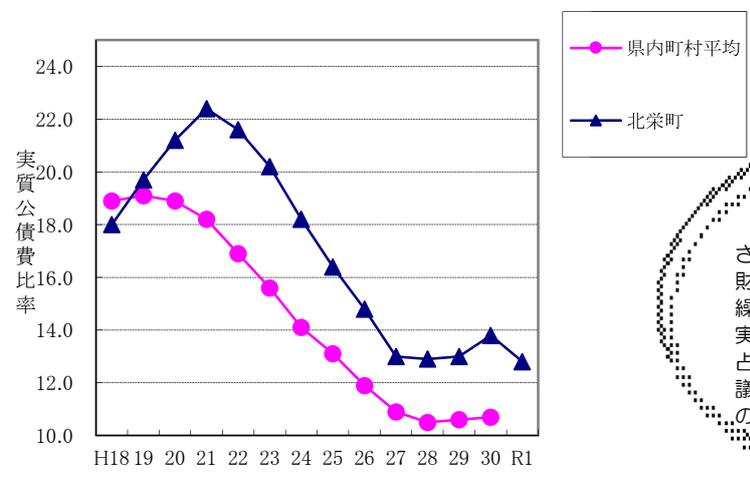
区 分	H27	H28	H29	H30	R1
普通交付税	3,473,932	3,429,190	3,526,700	3,421,290	3,447,378
特別交付税	338,027	419,463	243,909	244,128	229,009
臨時財政対策債	273,000	229,448	247,517	233,500	173,700
合 計	4,084,959	4,078,101	4,018,126	3,898,918	3,850,087

◆ 経常収支比率の推移



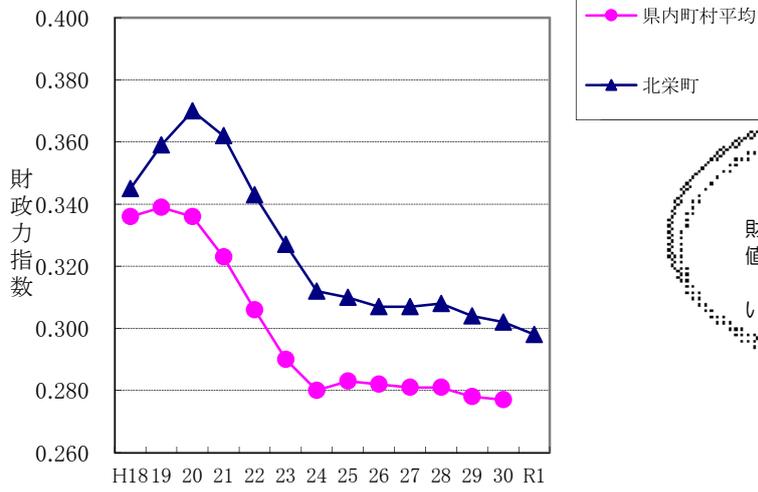
経常収支比率
 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。

◆ 実質公債費比率(3年平均)



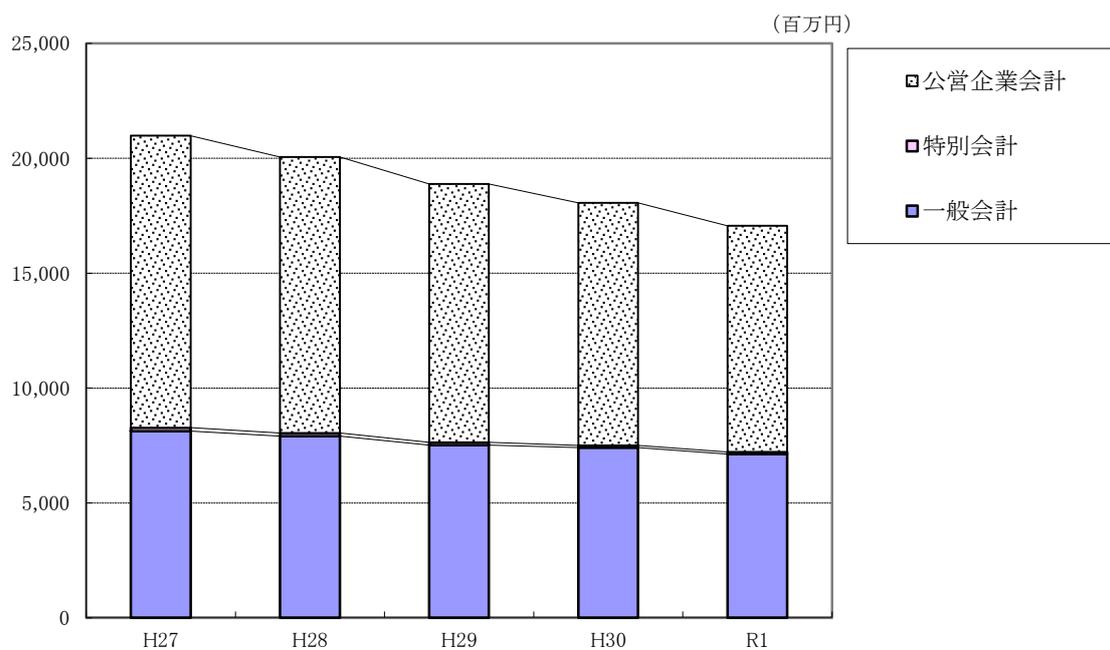
実質公債費比率
 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰入金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合の過去3年度平均値。地方債協議制度の下で、18%以上の団体は、地方債の発行に際し許可が必要となる。

◆ 財政力指数(3年平均)



財政力指数
 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年度平均値。財政力指数が高いほど財源に余裕があるといえる。

◆会計別年度末起債残高



(単位:百万円)

会計名	H27	H28	H29	H30	R1
一般会計	8,127	7,904	7,522	7,404	7,125
特別会計	150	133	116	104	92
住宅新築資金等貸付事業特別会計	13	8	3	2	1
農業集落排水事業特別会計	90	80	70	60	51
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	47	45	43	42	40
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公営企業会計	12,705	12,022	11,241	10,559	9,845
水道事業会計	1,089	1,035	990	989	991
下水道事業会計	11,248	10,773	10,191	9,570	8,854
風力発電事業会計	368	214	60	0	0
合計	20,982	20,059	18,879	18,067	17,062

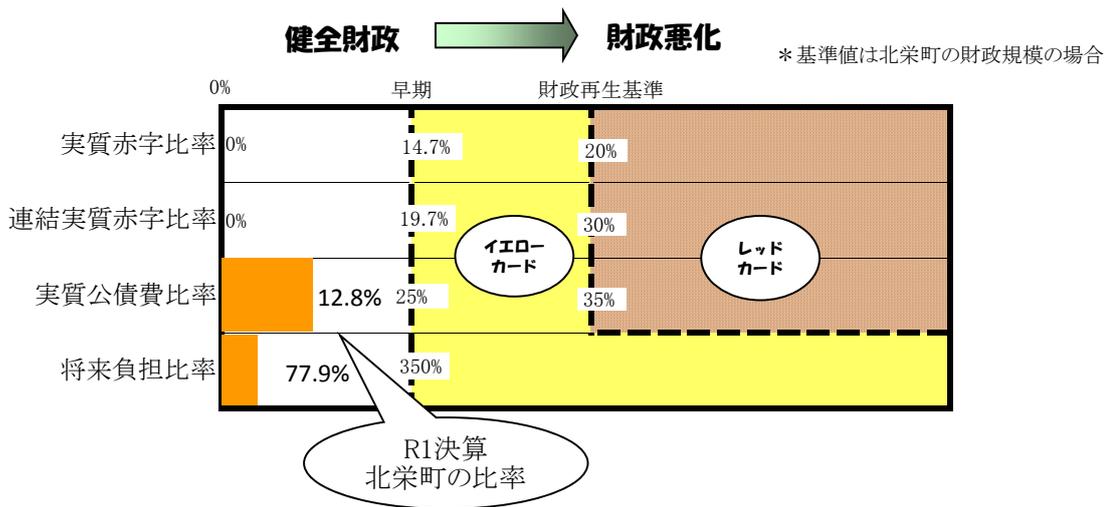
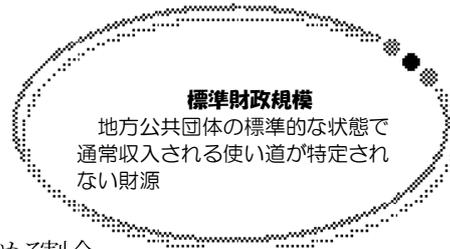
※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

※ 公営企業会計は3月末時点。(下水道事業会計、風力発電事業会計はR1から公営企業会計に移行。)

財政健全化判断比率

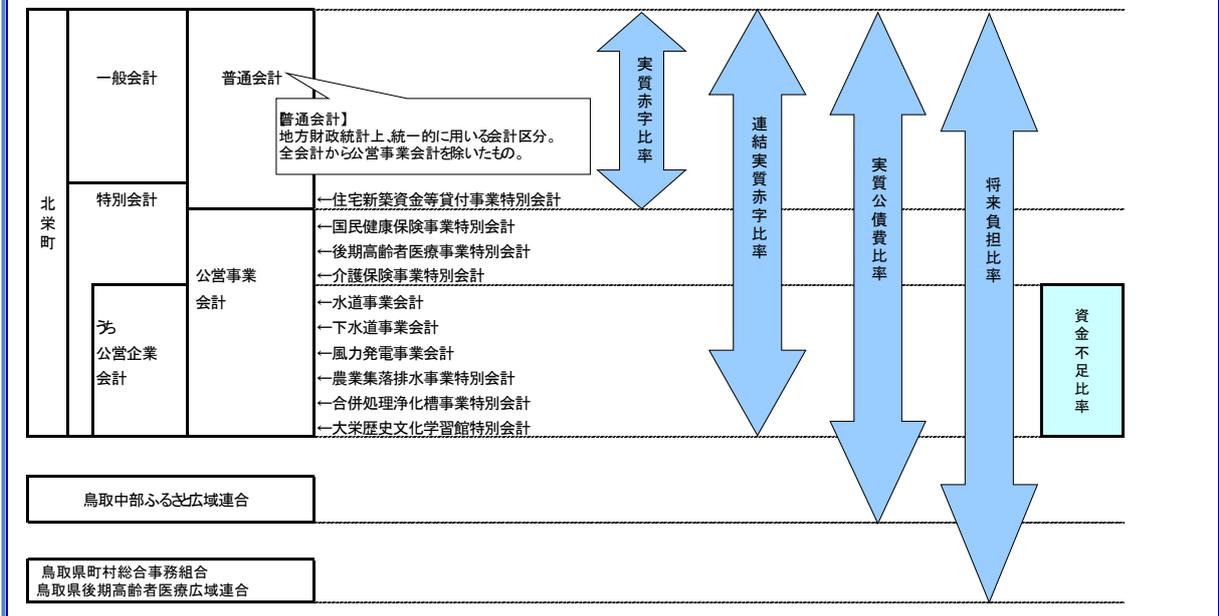
地方公共団体の財政の健全化に関する法律財政健全化法が平成19年6月に公布され、総務省から財政健全化の基準が示されました。

- ◆ 実質赤字比率
普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- ◆ 連結実質赤字比率
全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- ◆ 実質公債費比率
一般会計等が負担する公債費が標準財政規模に占める割合
- ◆ 将来負担比率
一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合



いずれかの早期健全化基準を超える早期健全化団体および、財政再生基準を超えると財政再生団体となります。

◎健全化判断比率の対象について



地方債の状況

(単位:千円)

区 分	平成30年度末 現在高	令和元年度 発行額	令和元年度 元金償還額	令和元年度末 現在高
一般会計債	7,404,470	534,500	813,614	7,125,356
1. 普通債	4,338,079	348,000	529,715	4,156,364
(1) 総務	1,346,273	18,400	234,371	1,130,302
(2) 民生	427,298	0	50,819	376,479
(3) 衛生	624,389	0	43,207	581,182
(4) 農林水産	123,412	0	39,435	83,977
(5) 土木	610,763	223,700	19,870	814,593
(6) 消防	2,741	0	2,741	0
(7) 教育	1,203,203	105,900	139,272	1,169,831
2. 災害復旧	158,652	12,800	25,997	145,455
(1) 農林水産	0	0	0	0
(2) 土木	158,652	12,800	25,997	145,455
3. その他	2,907,739	173,700	257,902	2,823,537
(1) 減収補てん債	0	0	0	0
(2) 臨時財政対策債	2,875,641	173,700	249,710	2,799,631
(3) 減税補てん債	32,098	0	8,192	23,906
(4) 臨時税収補てん債	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付 事業特別会計債	1,376	0	1,056	320
農業集落排水事業特別会計債	60,408	0	8,830	51,578
合併処理浄化槽事業特別会計債	41,469	0	1,851	39,618
水道事業会計債	988,740	73,900	71,653	990,987
下水道事業会計債	9,569,672	36,800	752,329	8,854,143
風力発電事業会計債	0	0	0	0
合 計	18,066,135	645,200	1,649,333	17,062,002



北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1

電話番号:0858-37-3111 FAX番号:0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1

電話番号:0858-36-3111 FAX番号:0858-36-4595